

平成26年度
松本市民満足度調査
報告書

平成26年度

松本市

目次

1. 調査概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の実施方法	3
(3) アンケート用紙回収結果	4
2. 回答者属性	5
(1) 回答者属性	5
① 性別	5
② 年齢	5
③ 家族構成	5
④ 職業	6
⑤ 居住年数	6
⑥ 居住地区	7
(2) 受益対象者を把握する項目	8
① 同居している子ども	8
② 同居している孫	8
③ 障害者手帳交付者/介護サービス利用者（同居家族）	8
3. 施策評価の方法	9
(1) 集計方法	9
① 平均点化の方法	9
② 単純集計	9
(2) 分析の視点	10
4. 施策に対する評価結果	11
(1) 基本目標1 だれもが健康でいきいきと暮らすまちについて	12
① 経年での比較	12
② 今年度調査結果	15
(2) 基本目標2 一人ひとりが輝き大切にされるまちについて	16
① 経年での比較	16
② 今年度調査結果	21
(3) 基本目標3 安全・安心で支えあいの心がつなぐまちについて	23
① 経年での比較	23
② 今年度調査結果	31

目次

（４）基本目標４ 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちについて	34
① 経年での比較	34
② 今年度調査結果	39
（５）基本目標５ 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちについて	41
① 経年での比較	41
② 今年度調査結果	44
（６）基本目標６ とともに学びあい人と文化を育むまちについて	45
① 経年での比較	45
② 今年度調査結果	52
（７）行政について	54
① 経年での比較	54
② 今年度調査結果	56
（８）広報について	57
① 広報まつもとについて	57
② 市公式ホームページ「くるくるねっとまつもと」について	58
③ 松本市のテレビ・ラジオの市政広報番組について	59
④ 松本市政への理解について	60
（９）出産や子育てについて	61
① 未婚/既婚の確認	61
② 未婚者の調査結果	62
③ 既婚者の調査結果	65
５．総合的な満足度と居住継続意向に対する評価結果	69
（１）松本市での暮らしに対する満足度	70
① 経年での比較	70
② 今年度調査結果	71
（２）松本市での将来的な居住継続意向	74
① 経年での比較	74
② 今年度調査結果	75
６．総括	78
（１）基本施策ごとの評価結果まとめ	79
（２）総括	81

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は「松本市総合計画(第9次基本計画[平成23～27年度])」をもとに本市が実施している各分野の施策について、市民の本市に対する認識や自身の行動について測ることによって、各施策の進捗状況を継続的に把握することを目的に実施した。なお、本調査は平成24年～平成29年まで継続的に実施する設計で、平成26年度は3年目であり、平成25年度の結果を踏まえ、集計を行う。

(2) 調査の実施方法

■調査対象者 : 松本市在住の20歳以上の男女

■対象数 : 2,400名(1,200名×2回)

■抽出方法 : 無作為抽出

■調査方法 : 返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査形式。

全国的な景気の動向など、本市の取り組み以外の外的な要因が施策評価に影響を与える可能性があるため、本調査は年間2回実施しており、本書では2回分の調査結果を合わせて分析を行う。

■実施期間 : 第1回 平成26年7月11日(金)～8月8日(金)

第2回 平成27年1月21日(水)～2月20日(金)

■調査項目 : ① 回答者属性

② 松本市での暮らしについて

③ 受益対象者を把握する項目

④ 6つの基本目標からなる基本施策の評価

- ・だれもが健康でいきいきと暮らすまち
- ・安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
- ・人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
- ・魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
- ・ともに学びあい人と文化を育むまち
- ・一人ひとりが輝き大切にされるまち

⑤ 行政に対する評価

⑥ 広報に関する項目

⑦ 出産や子育てについて ※第2回調査のみ実施

⑧ 参加したイベントとその感想 ※第2回調査のみ実施

⑨ 松本市の生活について【自由記述】

(3) アンケート用紙回収結果

	第1回	第2回	合計	備考
実配布数	1,182 件	1,181 件	2,363 件	宛先不明による不達を除いた件数
回収数	529 件	688 件	1,217 件	
回収率	44.8 %	58.2 %	51.5 %	実配布数を元にした回収率
無回答	1 件	2 件	3 件	
有効回答数	528 件	686 件	1,214 件	

※第1回の「地域住民による支え合いが行われている」のみ回収数 384件、有効回答数 383件

※本書の注意点

図表中の割合の合計は、小数点第2位を四捨五入した数値であるため、合計値が100%にならない場合がある。

【参考】

平成25年度の回収状況

- 実施期間 : 第1回 平成 25 年 7月 12日 (金) ~ 7月 31日 (水)
- 第2回 平成 25 年 10月 11日 (金) ~ 10月 31日 (木)
- 第3回 平成 26 年 1月 10日 (金) ~ 1月 31日 (金)

	第1回	第2回	第3回	合計	備考
実配布数	1,194件	1,189件	1,183件	3,566件	宛先不明による不達を除いた件数
回収数	618件	610件	651件	1,879件	
回収率	51.8%	51.3%	55.0%	52.7%	実配布数を元にした回収率
無回答	2件	0件	0件	2件	
有効回答数	616件	610件	651件	1,877件	

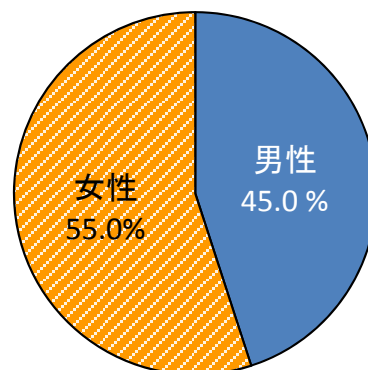
2. 回答者属性

(1) 回答者属性

※図表中の割合の合計は、小数点第2位を四捨五入した数値であるため、合計値が100%にならない場合がある。
 ※無回答は集計から外しているため、回答数の合計は設問ごとに異なる。

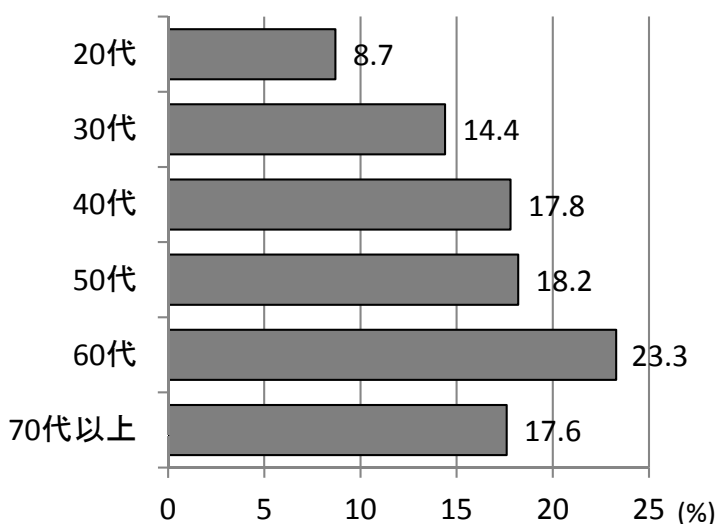
① 性別

性別	回答数	割合(%)
男性	545	45.0
女性	666	55.0
合計	1211	100.0



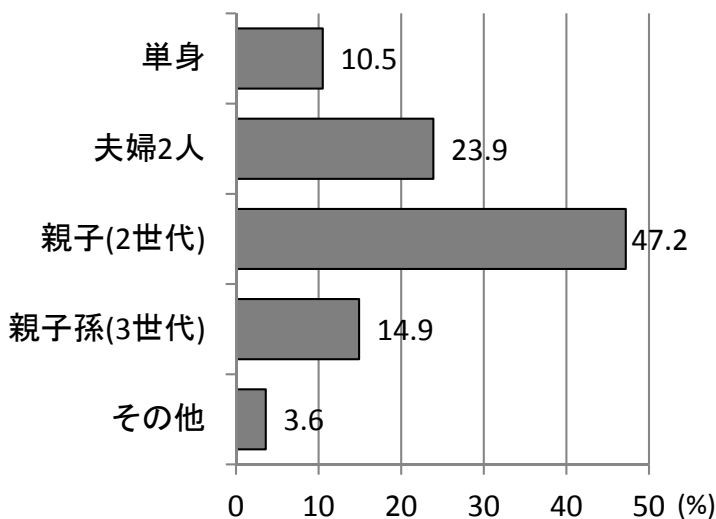
② 年齢

年代	回答数	割合(%)
20代	105	8.7
30代	174	14.4
40代	216	17.8
50代	221	18.2
60代	282	23.3
70代以上	213	17.6
合計	1211	100.0



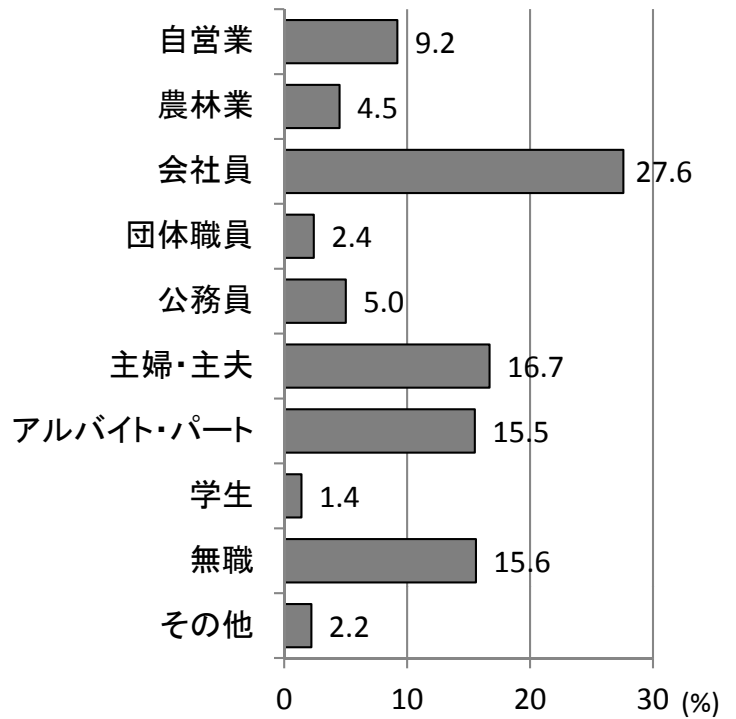
③ 家族構成

家族構成	回答数	割合(%)
単身	126	10.5
夫婦2人	287	23.9
親子(2世代)	567	47.2
親子孫(3世代)	179	14.9
その他	43	3.6
合計	1202	100.0



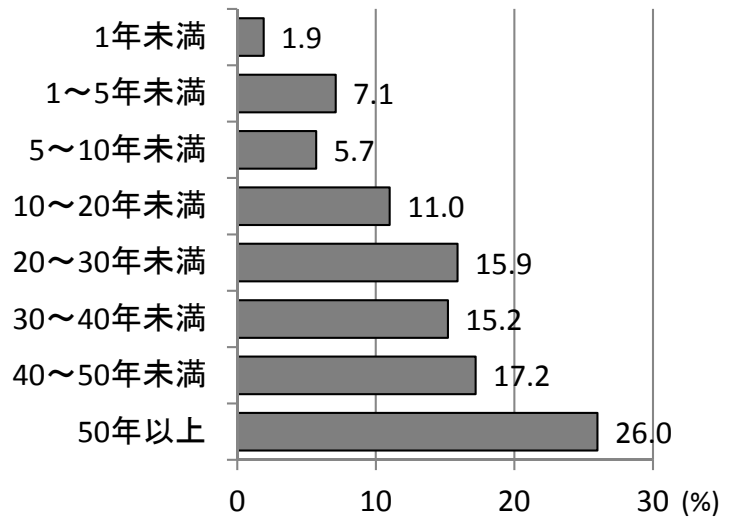
④ 職業

職業	回答数	割合(%)
自営業	110	9.2
農林業	54	4.5
会社員	332	27.6
団体職員	29	2.4
公務員	60	5.0
主婦・主夫	201	16.7
アルバイト・パート	186	15.5
学生	17	1.4
無職	187	15.6
その他	26	2.2
合計	1202	100.0



⑤ 居住年数

居住年数	回答数	割合(%)
1年未満	23	1.9
1～5年未満	86	7.1
5～10年未満	69	5.7
10～20年未満	133	11.0
20～30年未満	192	15.9
30～40年未満	184	15.2
40～50年未満	208	17.2
50年以上	314	26.0
合計	1209	100.0



⑥ 居住地区

居住地区名	回答数	割合(%)
第1地区	5	0.4
第2地区	14	1.2
第3地区	23	2.0
東部地区	14	1.2
中央地区	16	1.4
城北地区	28	2.4
安原地区	17	1.5
城東地区	13	1.1
白板地区	26	2.3
田川地区	19	1.6
庄内地区	68	5.9
鎌田地区	81	7.0
松南地区	31	2.7
島内地区	73	6.3
中山地区	23	2.0
島立地区	36	3.1
新村地区	16	1.4
和田地区	17	1.5

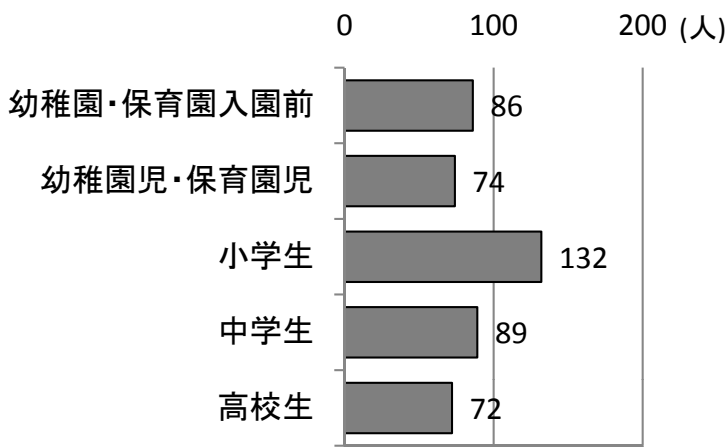
居住地区名	回答数	割合(%)
神林地区	21	1.8
笹賀地区	60	5.2
芳川地区	80	6.9
寿地区	83	7.2
松原地区	10	0.9
寿台地区	8	0.7
岡田地区	37	3.2
入山辺地区	11	1.0
里山辺地区	58	5.0
今井地区	31	2.7
内田地区	12	1.0
本郷地区	67	5.8
安曇地区	12	1.0
奈川地区	7	0.6
梓川地区	57	4.9
四賀地区	24	2.1
波田地区	54	4.7
合計	1152	100.0

(2) 受益対象者を把握する項目

この項目は「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定的な施策の対象者を把握するために設定した。

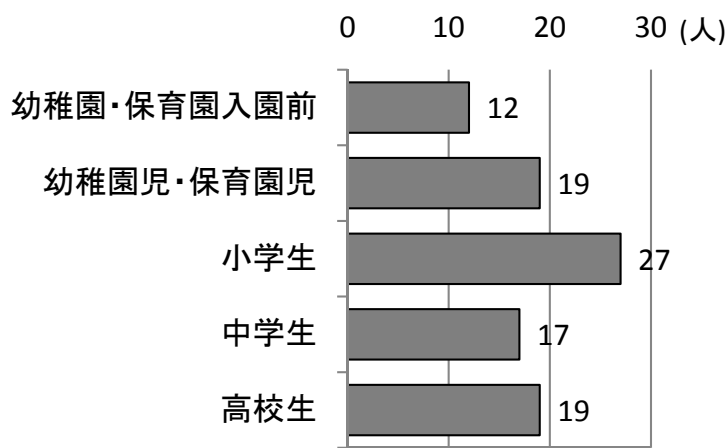
① 同居している子ども

	回答数
幼稚園・保育園入園前	86
幼稚園児・保育園児	74
小学生	132
中学生	89
高校生	72



② 同居している孫

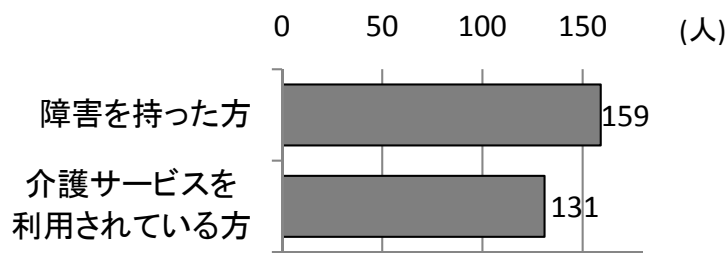
	回答数
幼稚園・保育園入園前	12
幼稚園児・保育園児	19
小学生	27
中学生	17
高校生	19



③ 障害者手帳交付者／介護サービス利用者(同居家族)

※施設に入居している家族を含む

	回答数
障害を持った方	159
介護サービスを利用している方	131



3. 施策評価の方法

(1) 集計方法

集計方法は、各施策の評価結果を「平均点化」する集計を中心に行う。これによって、調査結果を単純化するとともに、経年変化の把握を行えるようにする。また、補足的に選択肢ごとの回答数を示す「単純集計」を行うことで、回答の分布状況を明らかにする。

「平均点化」と「単純集計」の算出方法は以下のとおりである。

① 平均点化の方法

平均点は、「そう思う」～「そう思わない」にそれぞれ4点～1点の点数を与え、その点数の総和を回答数で除すことによって算出した。その際、判断の保留を意味する「わからない」や「無回答」が評価に影響を与えないように、計算式からは除外した。

1) アンケート回答の得点化

「松本市の現状」に関する設問の場合

そう思う	→ 4点
ややそう思う	→ 3点
あまりそう思わない	→ 2点
そう思わない	→ 1点

「市民の行動」に関する設問の場合

当てはまる	→ 4点
やや当てはまる	→ 3点
あまり当てはまらない	→ 2点
当てはまらない	→ 1点

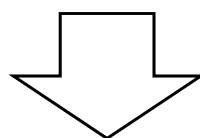
得点化により中央値は2.5となる。中央値は、平均点の高低を判断する際の基準値とする。中央値より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多いとみることができる。

2) 平均値の算出方法

回答者A 4点
回答者B 3点
回答者C 2点
回答者D 3点
回答者E 2点
……
回答者X X点

4点+3点+2点+3点+2点+……+X点

回答者の人数



平均値

平均値は回答の「中心傾向」を表す。中心傾向とは、回答者の多くがどのような評価に集中していたかを意味する。

本書では、市民の意見をよりわかりやすい形で確認できるよう、平均値を用いる。

② 単純集計

単純集計では、「当てはまる」～「当てはまらない」「わからない」等の各選択肢に対する回答者数をカウントし、その比率を算出する。単純集計からは当該施策に対する市民の評価の分布を把握することが可能である。

(2) 分析の視点

本調査は、2つの視点で分析を行った。ひとつは、施策に対する評価や市民の行動の変化を経年で把握することである。もうひとつは、今年度における評価結果および今年度内での評価の差を把握することである。以下に、それぞれの分析の視点をまとめる。

視点1:経年での比較

平成25年度と平成26年度の調査結果を比較し、その評価の変化を把握する。経年での比較にあたっては、以下の4つの視点から分析を行う。

①平均点化による経年比較

施策ごとに平均点を出し、年度ごとにその変化を比較する。平均点が大きく変化しているような場合は、施策のプラスもしくは、マイナスのアウトカムが発生しているといえる。

②評価保留の割合の経年比較

施策ごとに評価保留の割合(「わからない」と回答した場合)を出し、年度ごとにその変化を比較する。評価保留の割合が大きく変化しているような場合は、施策の周知が進んだか、もしくは対象者が増加したが周知されていないことを示している。

③市民全体と受益者の評価の経年比較

「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定される施策については、受益者と市民全体の評価をそれぞれ示し、その経年変化を把握する。

④「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

本調査では、各施策について、「市の現状」評価と「市民の行動」変化について、可能なものについては両方の設問を設けている。「市の現状」と「市民の行動」の差をそれぞれ示し、その経年変化を把握する。

視点2:今年度の調査結果

①評価施策別度数分布

各施策の評価分布の把握を行う。

②今年度を実施した調査間の差

本調査では、調査時期による評価結果のブレを確認するため、年度内に同じ項目を用いて、複数回調査を実施している。調査結果にブレ(差)があるかについては、統計的検定を行うことにより、明らかにしている。

ここでいう「統計的検定」とは、調査間において、統計的に有意な差があるかを検定することで、有意な差があると判断された場合は、調査間において母集団に影響を及ぼす何かが発生したと推測される。

4. 施策に対する評価結果

(1) 基本目標1 だれもが健康でいきいきと暮らすまちについて

本市では、だれもが心も体も健康で、住み慣れた地域で心豊かに暮らすことができるよう、安らぎと潤いのあるまちづくりを進めている。

① 経年での比較

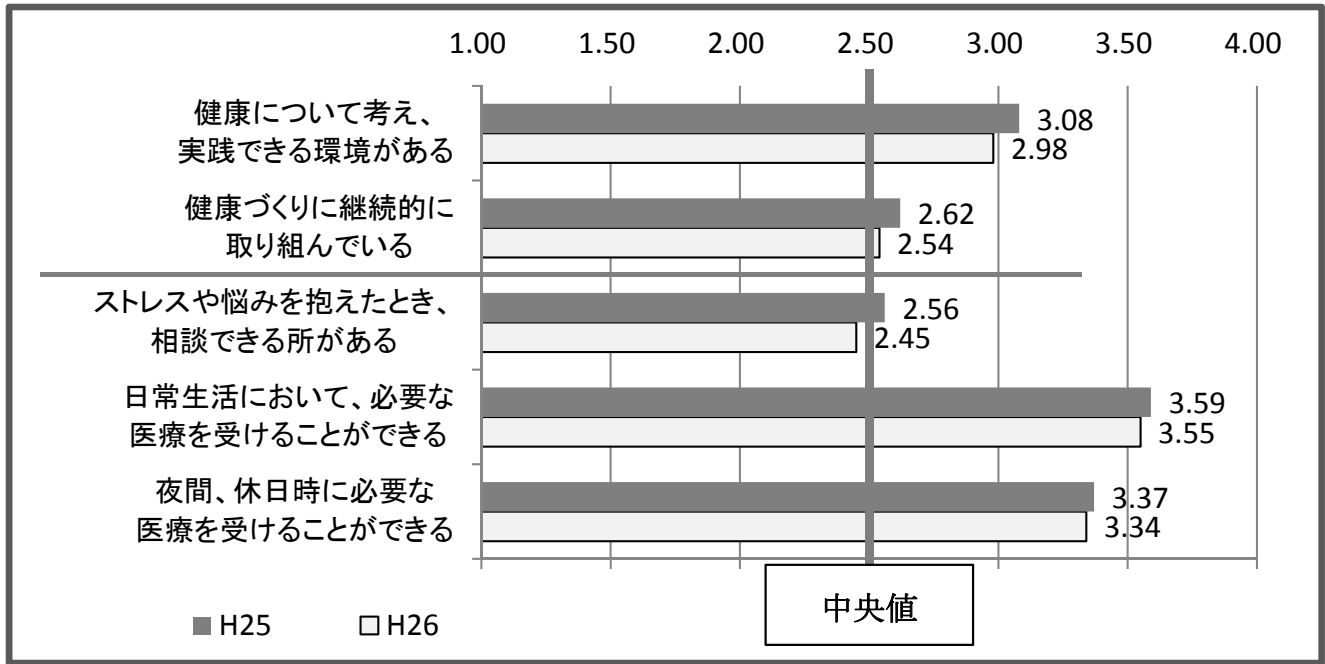
1) 平均点による経年比較

■評価結果■

- ・すべての項目で平成25年度とほぼ同様の数値となった。
- ・「日常生活において、必要な医療～」は依然として高評価であり、平成25年度に引き続き、平成26年度ももっとも評価の高い項目となった。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点		
			H26年	H25年	差 H26-H25
1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 健康づくりの推進	【市】健康について考え、実践できる環境がある	2.98	3.08	-0.10
		【市民】健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.54	2.62	-0.08
	1-1-2 心の健康、生きがいつくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.45	2.56	-0.11
1-2 いつでも医療 が受けられる まち	1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.55	3.59	-0.04
	1-2-2 救急医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.34	3.37	-0.03
	1-2-3 国民健康保険の安定運営	サービスに差がない項目であるため、調査項目を設定しなかった			

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目



2) 評価保留の割合の経年比較

■ 評価結果 ■

・「ストレス」は、依然として約30%の市民が「わからない」と回答しており、評価できる人が少ない状況にある。ストレスや悩みを相談できる場所の周知や別の方法を考慮することが求められる。

・「健康について考え、実践できる」も「わからない」の回答が約15%であり、比較的高い。健康づくりに取り組みやすい環境を周知することで、行動を促すことができる可能性があるため、環境についても更に広報していく必要がある。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合 (%)		
			H26年	H25年	差 H26-H25
1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 健康づくりの推進	【市】健康について考え、実践できる環境がある	15.60	14.76	0.84
		【市民】健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.87	2.77	0.10
	1-1-2 心の健康、生きがいつくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	27.64	27.23	0.41
1-2 いつでも医療 が受けられる まち	1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.46	2.90	0.56
	1-2-2 救急医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	7.21	6.95	0.26
	1-2-3 国民健康保険の安定運営	サービスに差がない項目であるため、調査項目を設定しなかった			

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標1「だれもが健康でいきいきと暮らすまち」では、受益者を限定する施策はない。

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

基本目標1「だれもが健康でいきいきと暮らすまち」の中で、「市の現状」と「市民の行動」の両方を設定している項目は、「1-1-1 健康づくりの推進」であり、結果は以下のとおりである。

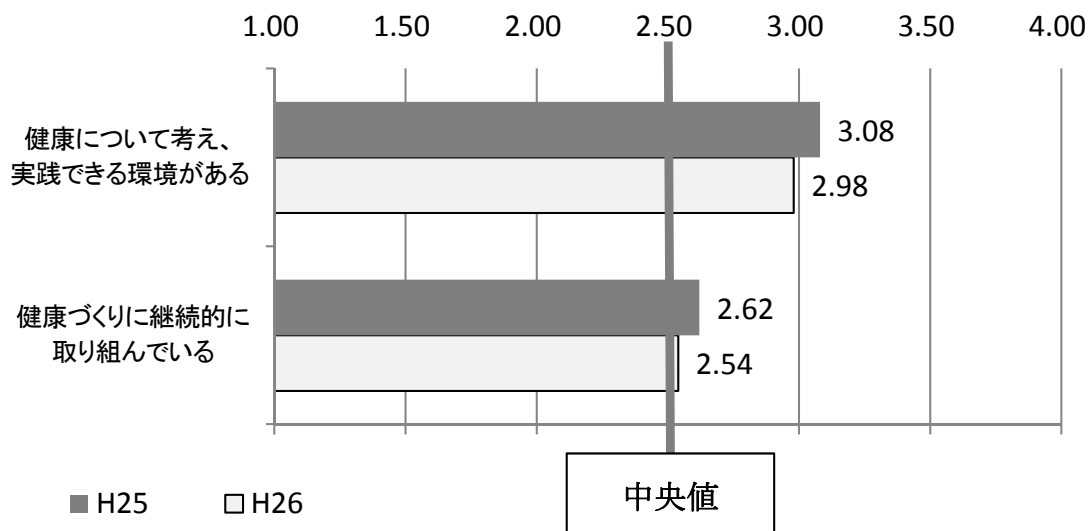
■ 評価結果 ■

- ・「市の現状」評価は平均点2.98と高い一方、「市民の行動」は2.54となっており、健康づくりに関する環境整備に関しては評価されているものの、市民の行動が伴っていない状況である。
- ・平成25年度と比較して、若干であるが、「市の現状」と「市民の行動」の差が縮まっている。

1-1-1 健康づくりの推進

		H26年	H25年
市の現状	健康について考え、実践できる環境がある	2.98	3.08
市民の行動	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.54	2.62
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.44	0.46

【市の現状と市民の行動の比較】

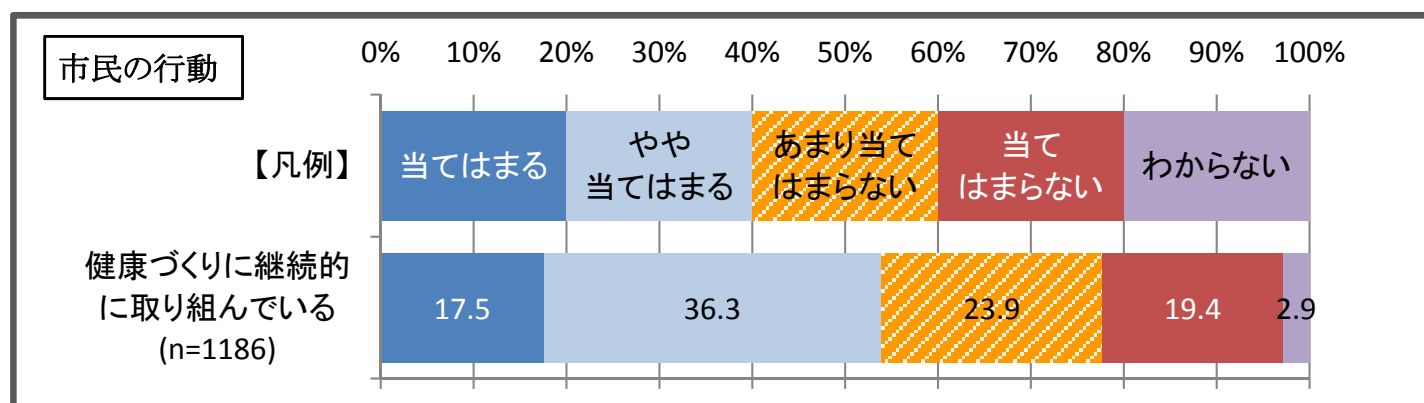
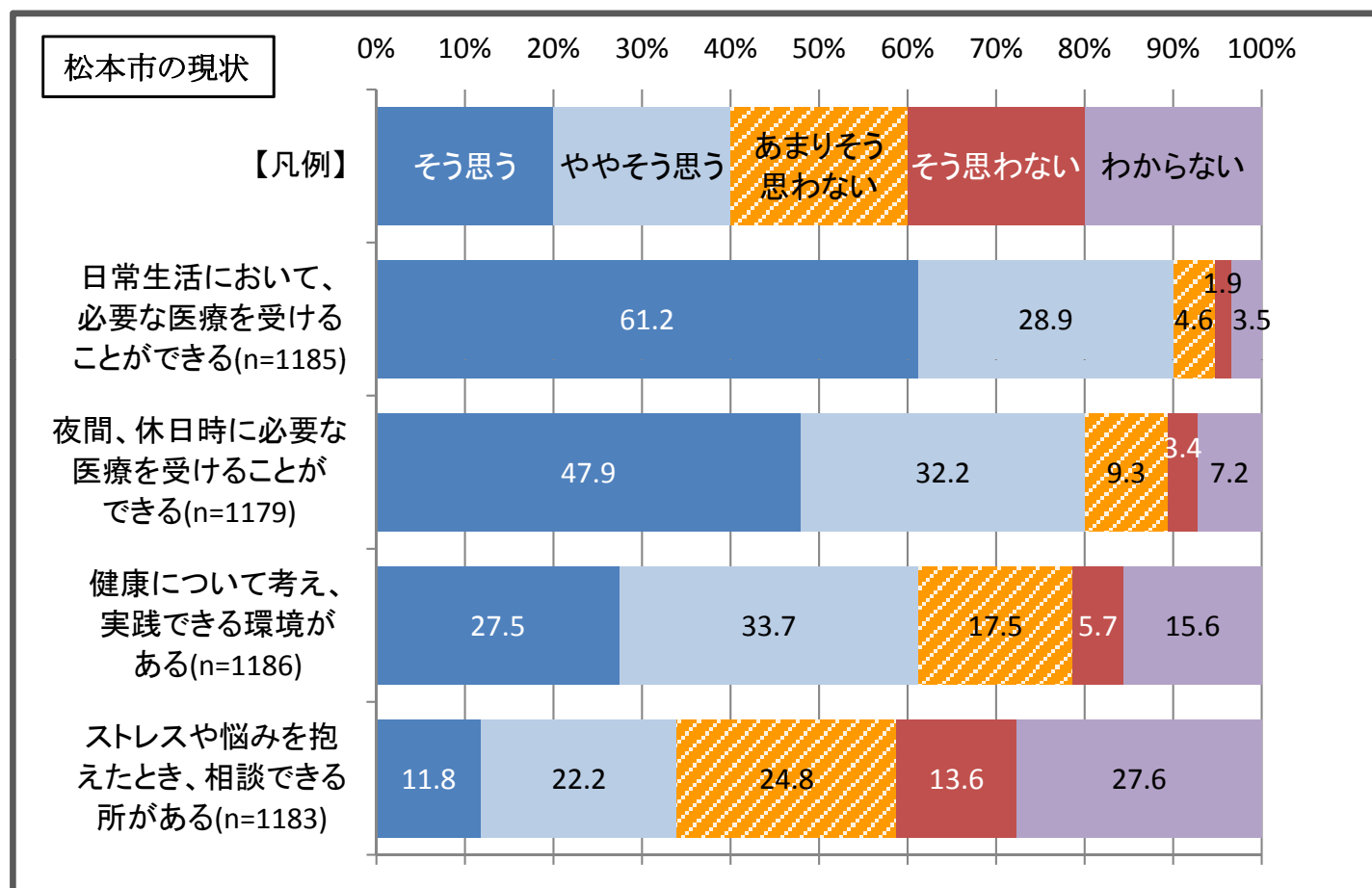


② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

■評価結果■

- ・「日常生活において、必要な医療—」、「夜間、休日時に必要な医療—」は80%以上の市民が肯定的な評価をしている。
- ・「ストレス—」に関しては、肯定的な評価をした市民は40%以下である。



2) 今年度実施した調査問の差

基本目標1「だれもが健康でいきいきと暮らすまち」において、第1回、第2回調査で、統計的有意差がみられた項目はなかった。

(2)基本目標2 一人ひとりが輝き大切にされるまちについて

本市では、一人ひとりが人として尊重され、質の高い暮らしを続けることができるよう、自助、共助、公助が調和するまちづくりを進めている。

① 経年での比較

1) 平均点による経年比較

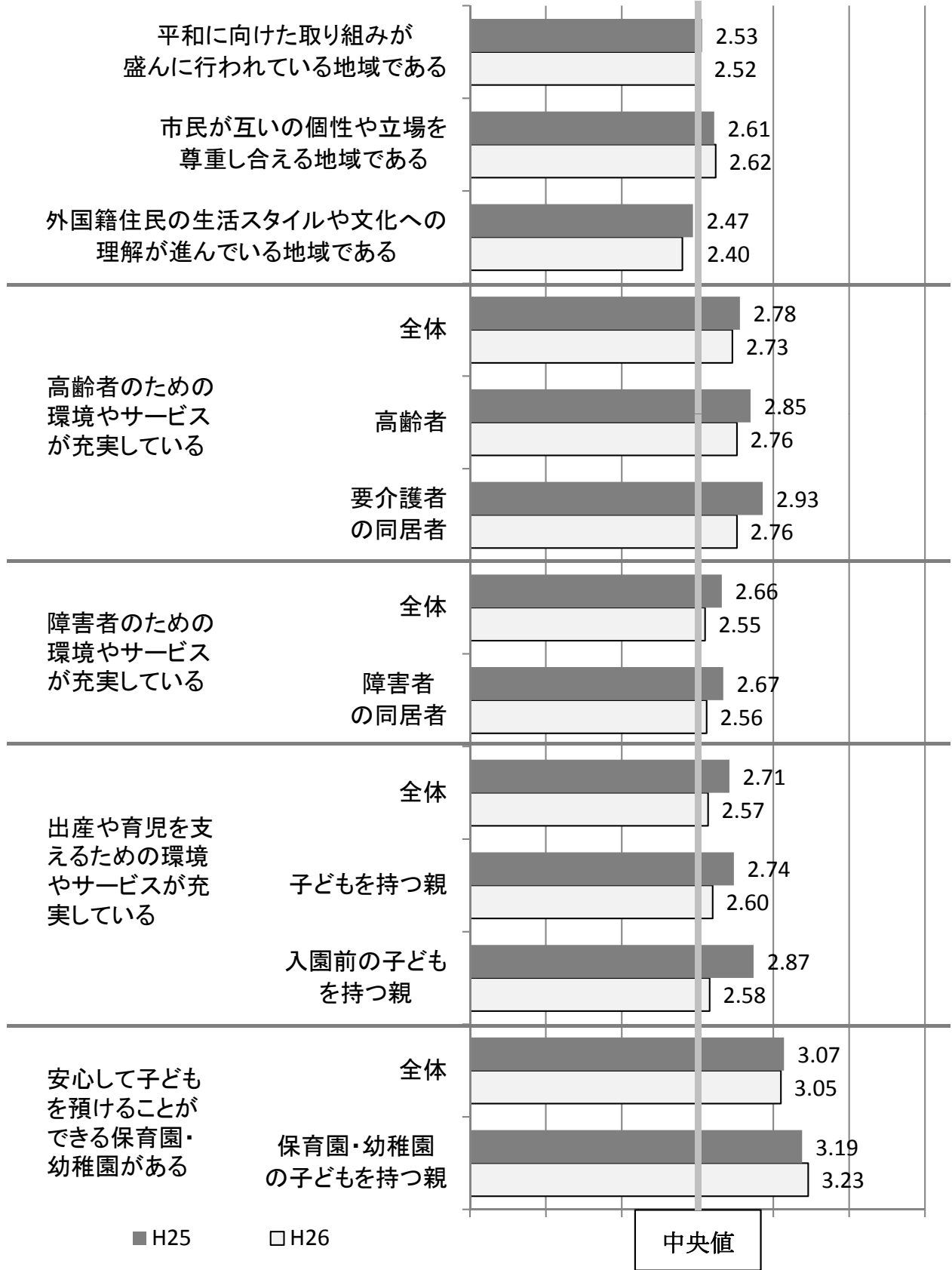
■評価結果■

- ・中央値2.5未満の項目は「外国籍住民－」のみであった。この傾向は平成24年度調査から続くものである。
- ・平成25年度から継続して評価が高いのは、保育園・幼稚園の子どもを持つ親が評価した「安心して子どもを－」であった。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目		平均点		
				H26年	H25年	差 H26-H25
2-1 平和、人権 を尊重する まち	2-1-1 平和意識の向上	平和に向けた取り組みが盛んに行われている地域である		2.52	2.53	-0.01
	2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である		2.62	2.61	0.01
	2-1-3 多文化共生の推進	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である		2.40	2.47	-0.07
2-2 安定した暮 らしを続けら れるまち	2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者のための環境 やサービスが充実して いる	(全体)	2.73	2.78	-0.05
			高齢者	2.76	2.85	-0.09
			要介護者の同居者	2.76	2.93	-0.17
	2-2-2 障害者(児)福祉の 充実	障害者のための環境 やサービスが充実して いる	(全体)	2.55	2.66	-0.11
			障害者の同居者	2.56	2.67	-0.11
2-2-3 生活福祉の充実	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった					
2-3 子育てを応 援するまち	2-3-1 出産・育児支援の 充実	出産や育児を支えるた めの環境やサービスが 充実している	(全体)	2.57	2.71	-0.14
			子どもを持つ親	2.60	2.74	-0.14
	2-3-2 子育て環境の充実		入園前の子どもを 持つ親	2.58	2.87	-0.29
			(全体)	3.05	3.07	-0.02
	2-3-3 保育環境の充実		安心して子どもを預け ることができる保育園・ 幼稚園がある	保育園・幼稚園の 子どもを持つ親	3.23	3.19
2-3-4 青少年の健全育成	施策 6-1-3 と統合					

(点)

1.00 1.50 2.00 2.50 3.00 3.50 4.00



2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

- ・「平和に向けた取り組み」、「外国籍住民」は30%以上の市民が「わからない」と回答している。これらの項目は平成25年度と比較して、評価保留の割合が微減しているが、さらなる周知が必要と考えられる。
- ・高齢者が評価した「高齢者のための」や子どもを持つ親が評価した「出産や育児を」は、評価保留の割合がやや高く、微増している。
- ・入園前の子どもを持つ親が評価した「出産や育児を」や、保育園・幼稚園の子どもを持つ親が評価した「安心して子どもを」は評価保留の割合が平成25年度から継続して低くなっている。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)			
			H26年	H25年	差 H26-H25	
2-1 平和、人権を尊重するまち	2-1-1 平和意識の向上	平和に向けた取り組みが盛んに行われている地域である	30.93	31.47	-0.54	
	2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	25.86	26.34	-0.48	
	2-1-3 多文化共生の推進	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である	36.59	38.21	-1.62	
2-2 安定した暮らしを続けられるまち	2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者のための環境やサービスが充実している	(全体)	24.83	24.58	0.25
			高齢者	17.29	15.30	1.99
			要介護者の同居者	10.16	11.45	-1.29
	2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害者のための環境やサービスが充実している	(全体)	31.15	32.33	-1.18
			障害者の同居者	13.64	15.38	-1.74
2-2-3 生活福祉の充実	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった					
2-3 子育てを応援するまち	2-3-1 出産・育児支援の充実	出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	(全体)	35.02	36.00	-0.98
			子どもを持つ親	14.24	14.16	0.08
	入園前の子どもを持つ親		3.49	3.68	-0.19	
	2-3-2 子育て環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	(全体)	30.50	29.68	0.82
			保育園・幼稚園の子どもを持つ親	1.35	0.00	1.35
2-3-4 青少年の健全育成	施策 6-1-3 と統合					

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標2「一人ひとりが輝き大切にされるまち」では、受益者を限定する施策は、「2-2-1 高齢者福祉の充実」「2-2-2 障害者(児)福祉の充実」「2-3-1 出産・育児支援の充実 / 2-3-2 子育て環境の充実」「2-3-3 保育環境の充実」である。

■評価結果■

- ・今年度も4項目すべてにおいて、受益者の評価の方が市民全体の評価に比べて高くなっており、取組みが効果的に行われていると考えられる。しかし、市民全体に対しては、未だ評価されていない状況であり、双方に対し、施策の必要性や有効性など、適切に運用されていることを周知する事で安心感を与えられると考えられる。
- ・入園前の子どもを持つ親が評価した「安心して子どもをー」を除く項目で受益者と市民全体との差が縮まっており、「安心して子どもをー」についても平成25年度より差が広がっているものの、平成24年度より差が縮まっているため、市民全体への周知が進んできていると考えられる。

【市民全体と受益者の比較】

2-2-1 高齢者福祉の充実 「高齢者のための環境やサービスが充実している」

	H26年	H25年		H26年	H25年
市民全体	2.73	2.78	市民全体	2.73	2.78
高齢者	2.76	2.85	要介護者の同居者	2.76	2.93
【市民全体】-【高齢者】の差	-0.03	-0.07	【市民全体】-【要介護者の同居者】の差	-0.03	-0.14

2-2-2 障害者(児)福祉の充実 「障害者のための環境やサービスが充実している」

	H26年	H25年
市民全体	2.55	2.66
障害者の同居者	2.56	2.67
【市民全体】-【要介護者の同居者】の差	-0.01	-0.02

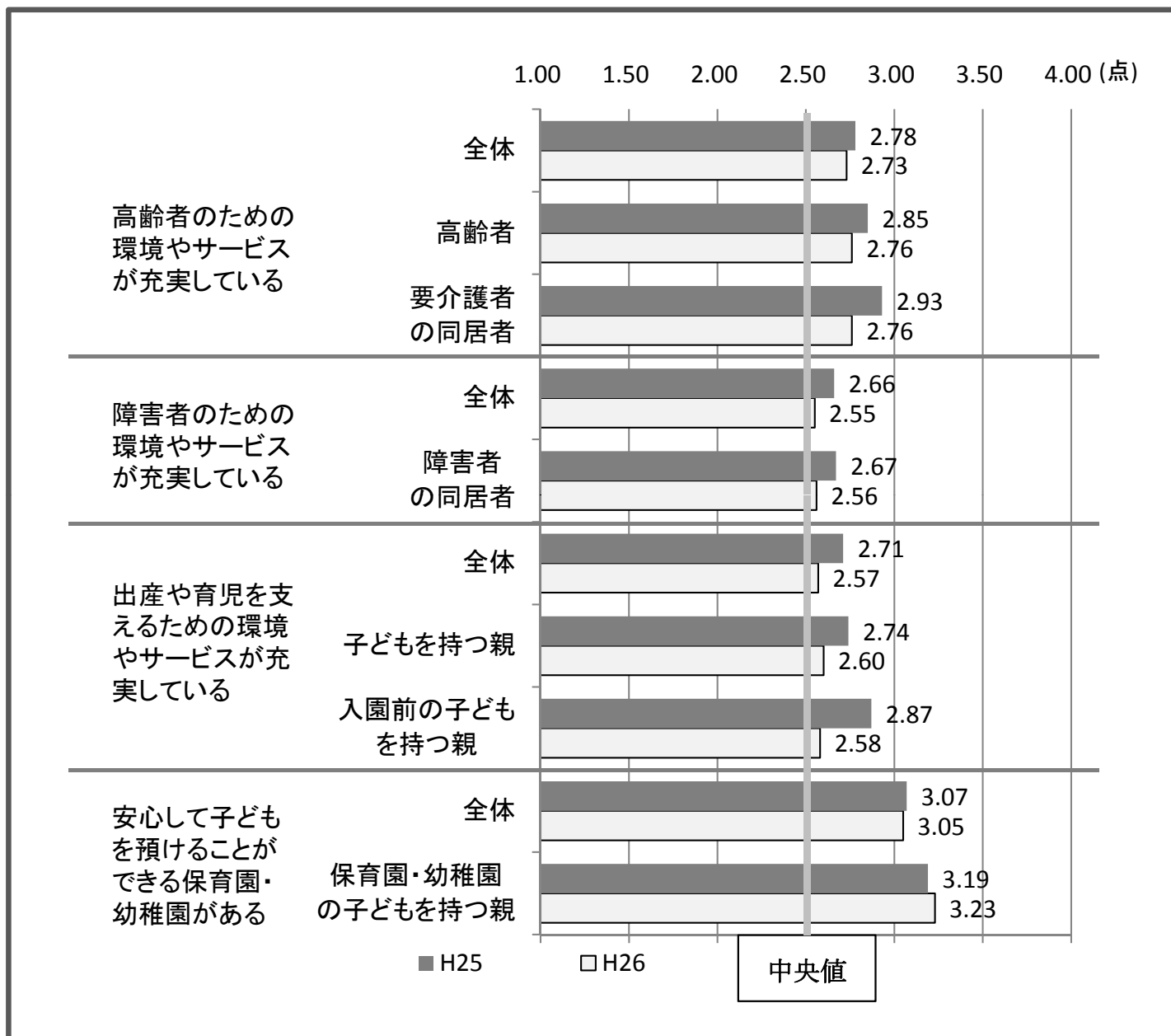
2-3-1 出産・育児支援の充実 / 2-3-2 子育て環境の充実

「出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している」

	H26年	H25年		H26年	H25年
市民全体	2.57	2.71	市民全体	2.57	2.71
子どもを持つ親	2.60	2.74	入園前の子どもを持つ親	2.58	2.87
【市民全体】-【子どもを持つ親】の差	-0.03	-0.03	【市民全体】-【入園前の子どもを持つ親】の差	-0.01	-0.16

2-3-3 保育環境の充実 「安心して子どもを預けることのできる保育園・幼稚園がある」

	H26年	H25年
市民全体	3.05	3.07
幼稚園・保育園の子どもを持つ親	3.23	3.19
【市民全体】-【幼稚園・保育園の子どもを持つ親】の差	-0.18	-0.12



4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

基本目標2「一人ひとりが輝き大切にされるまち」では、「市の現状」と「市民の行動」の両方を設定した項目はない。

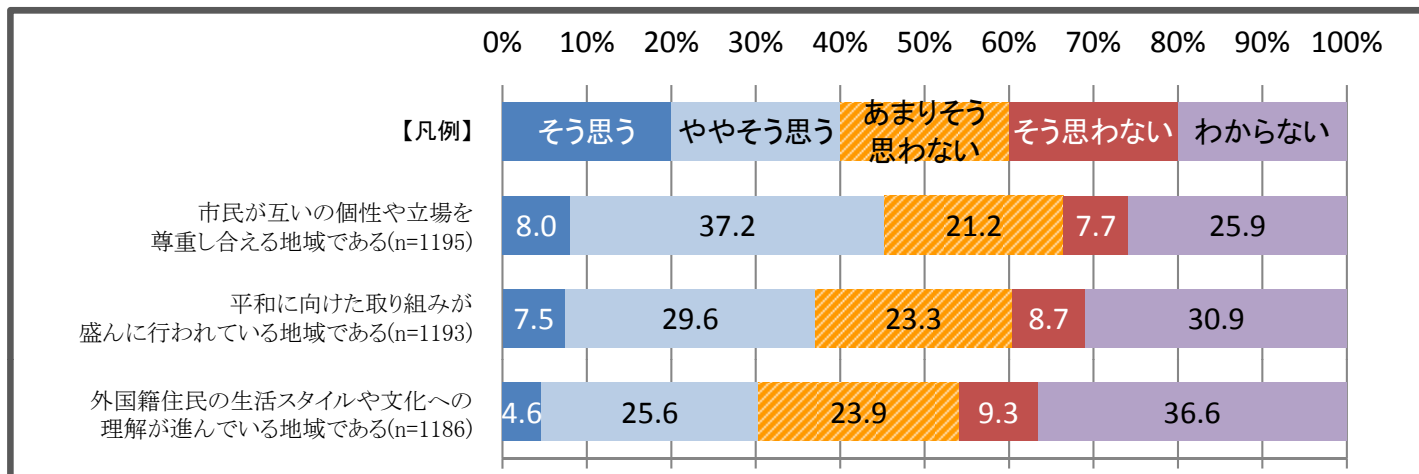
② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

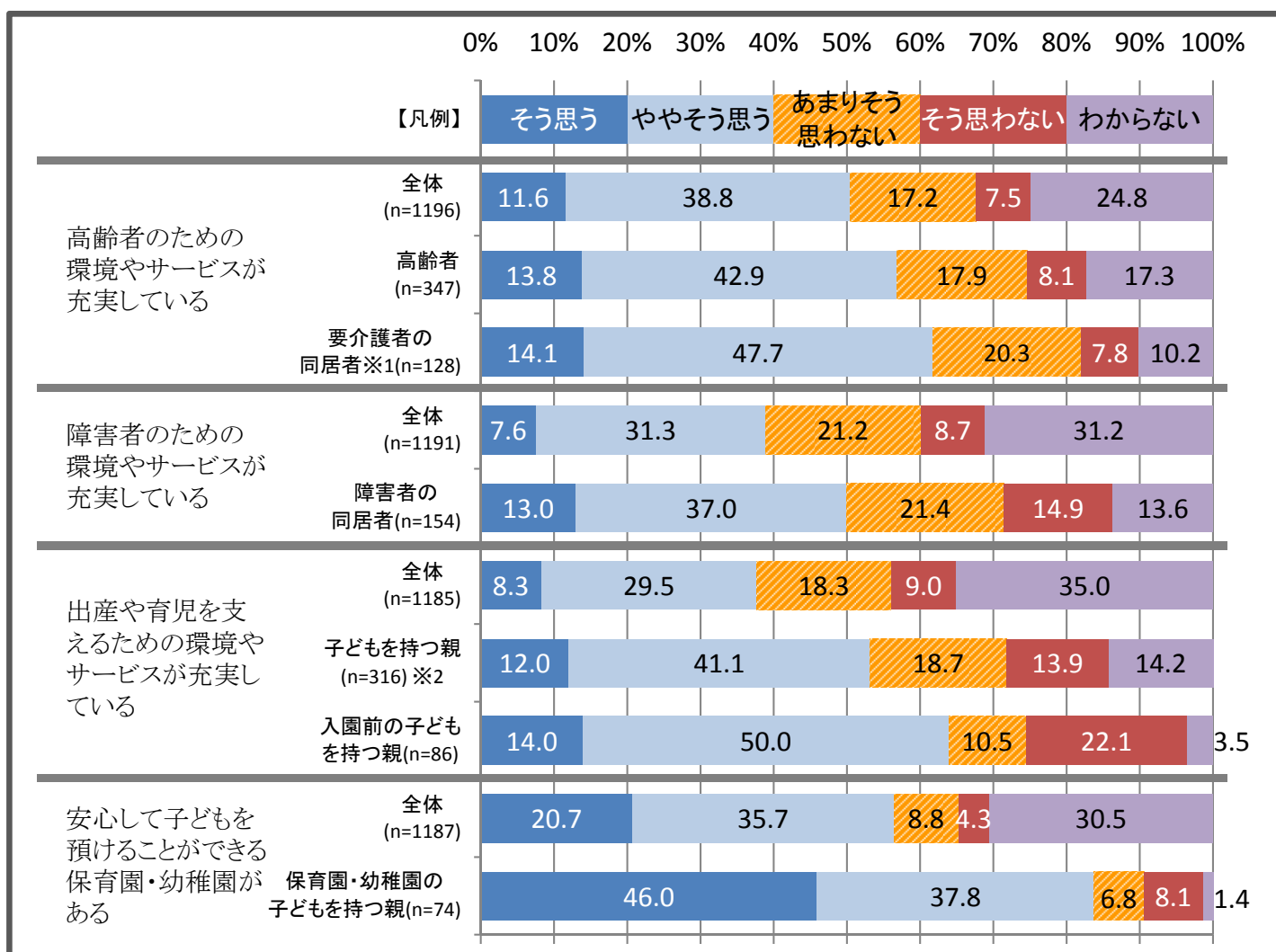
■ 評価結果 ■

- ・「市民が互いのー」「平和に向けたー」「外国籍住民ー」は、肯定的な評価をした人は30～45%にとどまる。
- ・受益者を限定した項目では、どの項目でも50%以上の方が肯定的な評価をしており、中でも保育園・幼稚園の子どもを持つ親が評価した「安心して子どもをー」では80%を超えている。

【松本市の現状】



【松本市の現状(受益者が限定される項目)】



2) 今年度に実施した調査間の差

基本目標2「一人ひとりが輝き大切にされるまち」において、第1回、第2回調査で、統計的有意差がみられた項目はなかった。

(3)基本目標3 安全・安心で支えあいの心がつなぐまちについて

本市では、暮らしを支える社会基盤の充実と、防災・防犯対策により、快適でゆとりある日々を実感できるよう、地域ぐるみで助けあいまちづくりを進めている。

① 経年での比較

1) 平均点による経年比較

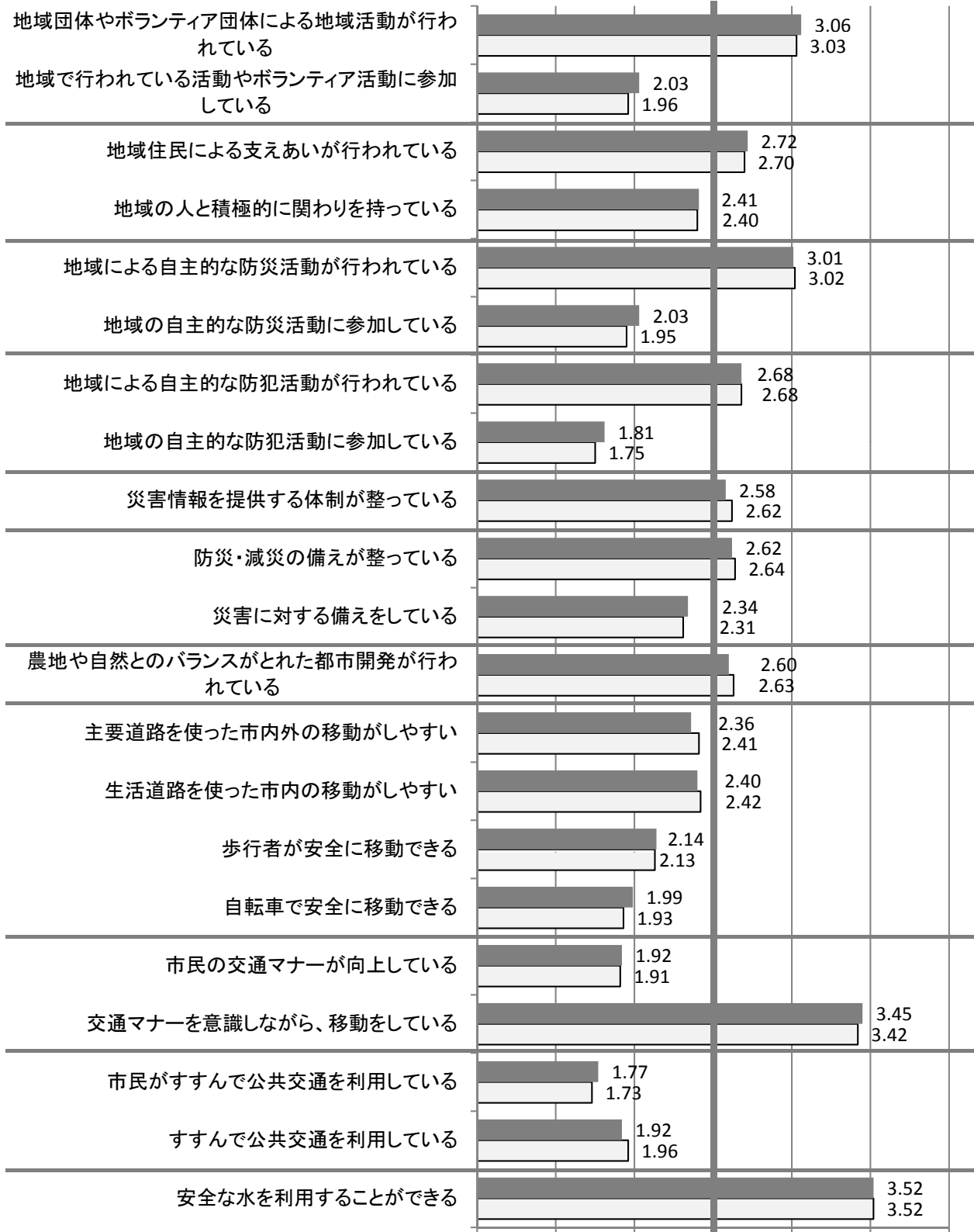
■ 評価結果 ■

- ・平均点が3以上の評価が高い項目は「【市】地域団体やボランティア団体ー」「【市】地域による自主的な防災活動ー」「【市民】交通マナーを意識ー」「安全な水ー」である。
- ・中央値2.5未満の項目は、「【市民】地域で行われている活動やボランティア活動に参加ー」「【市民】地域の人と積極的にー」「【市民】地域の自主的な防災活動に参加ー」「【市民】地域の自主的な防犯活動に参加ー」「【市民】災害に対する備えー」「主要道路ー」「生活道路ー」「歩行者が安全にー」「自転車で安全にー」「市民の交通マナーー」「【市】市民がすすんで公共交通ー」「【市民】すすんで公共交通ー」である。これらの項目は平成25年度も中央値2.5より低い評価である。道路整備や交通安全のほか、市民の行動に関する設問で評価が低くなっている。
- ・いずれの項目においても、平成25年度との差が大きく現れる項目はなかった。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点		
			H26年	H25年	差 H26-H25
3-1 地域の支え 合いを育む まち	3-1-1 地域コミュニティ づくりの推進	【市】地域団体やボランティア団体による地域活動 が行われている	3.03	3.06	-0.03
		【市民】地域で行われている活動やボランティア活 動に参加している	1.96	2.03	-0.07
	3-1-2 地域福祉活動 の推進	【市】地域住民による支えあいが行われている	2.70	2.72	-0.02
		【市民】地域の人と積極的に関わりを持っている	2.40	2.41	-0.01
	3-1-3 地域防災活動 の推進	【市】地域による自主的な防災活動が行われてい る	3.02	3.01	0.01
		【市民】地域の自主的な防災活動に参加している	1.95	2.03	-0.08
	3-1-4 地域防犯活動 の推進	【市】地域による自主的な防犯活動が行われてい る	2.68	2.68	0
		【市民】地域の自主的な防犯活動に参加している	1.75	1.81	-0.06
3-2 災害を最小 限に抑える まち	3-2-1 危機管理体制 の強化	災害情報を提供する体制が整っている	2.62	2.58	0.04
	3-2-2 防災機能の充実	【市】防災・減災の備えが整っている	2.64	2.62	0.02
		【市民】災害に対する備えをしている	2.31	2.34	-0.03
3-3 住みやすさ を感じるま ち	3-3-1 調和した土地利 用の推進	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行わ れている	2.63	2.60	0.03
	3-3-2 道路整備の推進	主要道路を使った市内外の移動がしやすい	2.41	2.36	0.05
		生活道路を使った市内の移動がしやすい	2.42	2.40	0.02
	3-3-3 交通安全対策 の充実	【市】歩行者が安全に移動できる	2.13	2.14	-0.01
		【市】自転車で安全に移動できる	1.93	1.99	-0.06
		【市】市民の交通マナーが向上している	1.91	1.92	-0.01
		【市民】交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.42	3.45	-0.03
	3-3-4 公共交通ネットワ ークの充実	【市】市民がすすんで公共交通を利用している	1.73	1.77	-0.04
【市民】すすんで公共交通を利用している		1.96	1.92	0.04	
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	3.52	3.52	0	

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

1.00 1.50 2.00 2.50 3.00 3.50 4.00 (点)



■ H25 □ H26

中央値

2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

・【市】地域団体やボランティア団体による地域活動」「【市】地域による自主的な防犯活動」「災害情報」「【市】防災・減災」「農地や自然とのバランス」では、15%以上の人が「わからない」と回答している。また、これらの項目は微増傾向にあり、地域の取組みが伝わっていない状況であると言える。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)		
			H26年	H25年	差 H26-H25
3-1 地域の支え 合いを育む まち	3-1-1 地域コミュニティ づくりの推進	【市】地域団体やボランティア団体による地域活動 が行われている	22.37	19.80	2.57
		【市民】地域で行われている活動やボランティア活 動に参加している	3.56	3.29	0.27
	3-1-2 地域福祉活動 の推進	【市】地域住民による支えあいが行われている	13.60	15.15	-1.55
		【市民】地域のひと積極的に関わりを持っている	2.29	2.43	-0.14
	3-1-3 地域防災活動 の推進	【市】地域による自主的な防災活動が行われてい る	13.46	11.41	2.05
		【市民】地域の自主的な防災活動に参加している	3.48	3.94	-0.46
	3-1-4 地域防犯活動 の推進	【市】地域による自主的な防犯活動が行われてい る	16.99	16.32	0.67
		【市民】地域の自主的な防犯活動に参加している	5.02	5.36	-0.34
3-2 災害を最小 限に抑える まち	3-2-1 危機管理体制 の強化	災害情報を提供する体制が整っている	21.16	21.18	-0.02
	3-2-2 防災機能の充実	【市】防災・減災の備えが整っている	22.07	19.89	2.18
		【市民】災害に対する備えをしている	1.95	2.49	-0.54

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)		
			H26年	H25年	差 H26-H25
3-3 住みやすさ を感じるまち	3-3-1 調和した土地利用 の推進	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	18.99	17.39	1.60
	3-3-2 道路整備の推進	主要道路を使った市内外の移動がしやすい	4.23	2.81	1.42
		生活道路を使った市内の移動がしやすい	3.57	2.55	1.02
	3-3-3 交通安全対策 の充実	【市】歩行者が安全に移動できる	3.98	3.41	0.57
		【市】自転車で安全に移動できる	7.46	6.50	0.96
		【市】市民の交通マナーが向上している	8.00	8.46	-0.46
		【市民】交通マナーを意識しながら、移動をしている	0.59	1.67	-1.08
	3-3-4 公共交通ネットワークの充実	【市】市民がすすんで公共交通を利用している	14.18	13.59	0.59
		【市民】すすんで公共交通を利用している	1.87	2.11	-0.24
	3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	3.28	2.65	0.63

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標3「安全・安心で支えあいの心がつなぐまち」では、受益者を限定する施策はない。

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

基本目標3「安全・安心で支えあいの心がつなぐまち」の中で、「市の現状」と「市民の行動」を設定した項目は以下である。

「3-1-1 地域コミュニティづくりの推進」／「3-1-2 地域福祉活動の推進」／「3-1-3 地域防災活動の推進」／「3-1-4 地域防犯活動の推進」／「3-2-2 防災機能の充実」／「3-3-3 交通安全対策の充実」／「3-3-4 公共交通ネットワークの充実」

■評価結果■

- ・地域活動や防犯・防災活動においては「市の現状」の評価が高く、「市民の行動」の評価が低くなっている。特に「市の現状」と「市民の行動」の差が大きいのは、地域コミュニティづくりや地域防災活動、地域防犯活動である。これらは、地域において周囲で行われていると感じているものの、自身の活動には繋がっていない状況といえる。活動への参加を促すような取組みが必要であると考えられる。
- ・地域福祉活動と防災・減災に関しては「市の現状」と「市民の行動」の差が小さい。この項目はまだ評価が低いいため、市全体としての取組み及び市民自身の活動への参加を促し、底上げを図っていくことが求められる。
- ・交通マナーに関しては、依然として「市の現状」に比べ「市民の行動」の評価が突出して高くなっている。一人ひとり交通マナーに気をつけているものの、総体としては交通マナーが向上しているとは言い難い状況が続いている。
- ・公共交通利用については「市の現状」「市民の行動」の両方とも評価が低く、市の取組みの更なる充実、市民の行動を促すような取組みが必要である。

3-1-1 地域コミュニティづくりの推進

		H26年	H25年
市の現状	地域団体やボランティア団体による地域活動が行われている	3.03	3.06
市民の行動	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	1.96	2.03
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	1.07	1.03

3-1-2 地域福祉活動の推進

		H26年	H25年
市の現状	地域住民による支えあいが行われている	2.70	2.72
市民の行動	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.40	2.41
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.30	0.30

3-1-3 地域防災活動の推進

		H26年	H25年
市の現状	地域による自主的な防災活動が行われている	3.02	3.01
市民の行動	地域の自主的な防災活動に参加している	1.95	2.03
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	1.07	0.98

3-1-4 地域防犯活動の推進

		H26年	H25年
市の現状	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	2.68
市民の行動	地域の自主的な防犯活動に参加している	1.75	1.81
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.93	0.87

3-2-2 防災機能の充実

		H26年	H25年
市の現状	防災・減災の備えが整っている	2.64	2.62
市民の行動	災害に対する備えをしている	2.31	2.34
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.33	0.27

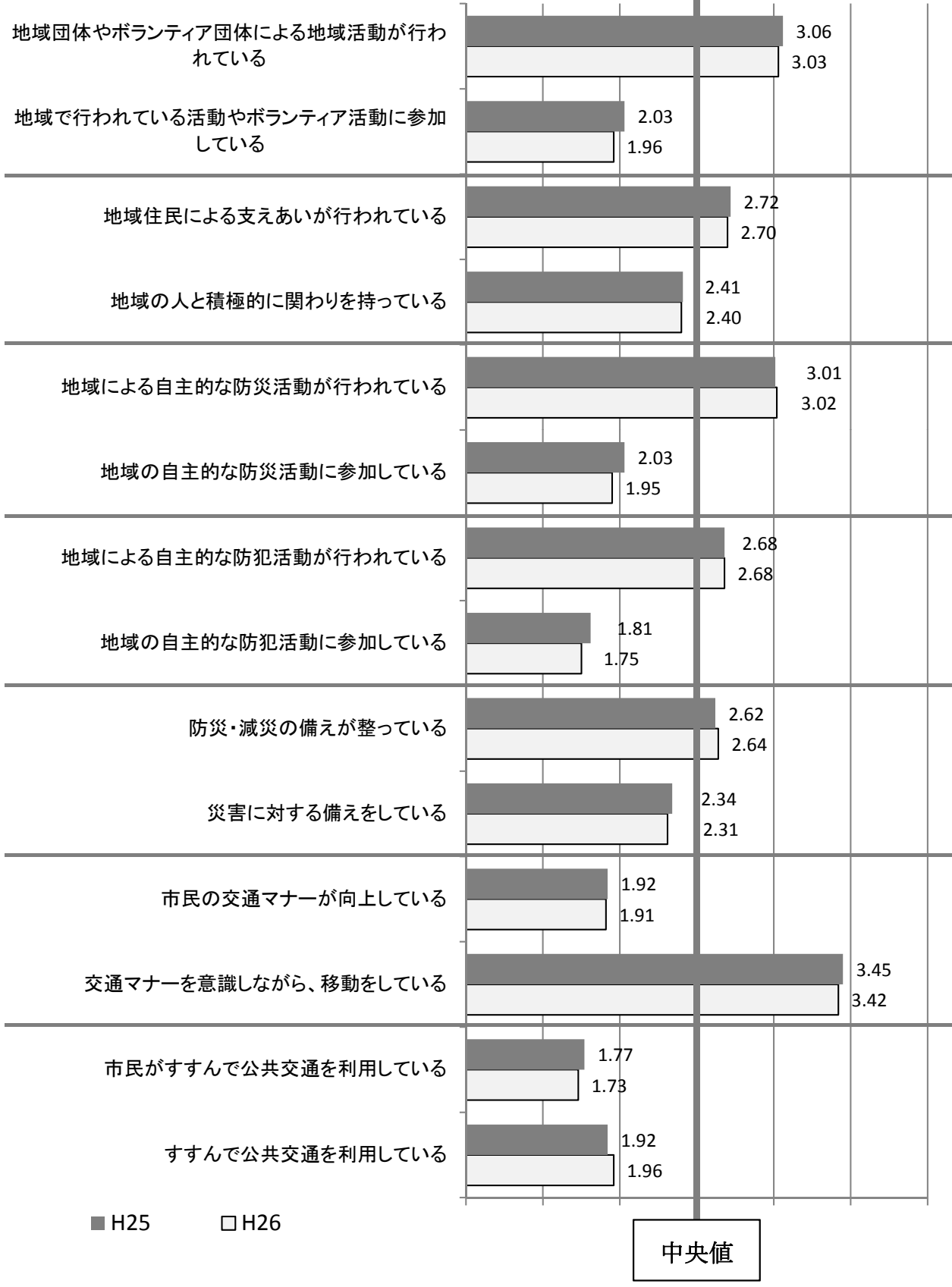
3-3-3 交通安全対策の充実

		H26年	H25年
市の現状	市民の交通マナーが向上している	1.91	1.92
市民の行動	交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.42	3.45
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	-1.51	-1.53

3-3-4 公共交通ネットワークの充実

		H26年	H25年
市の現状	市民がすすんで公共交通を利用している	1.73	1.77
市民の行動	すすんで公共交通を利用している	1.96	1.92
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	-0.23	-0.16

1.00 1.50 2.00 2.50 3.00 3.50 4.00 (点)



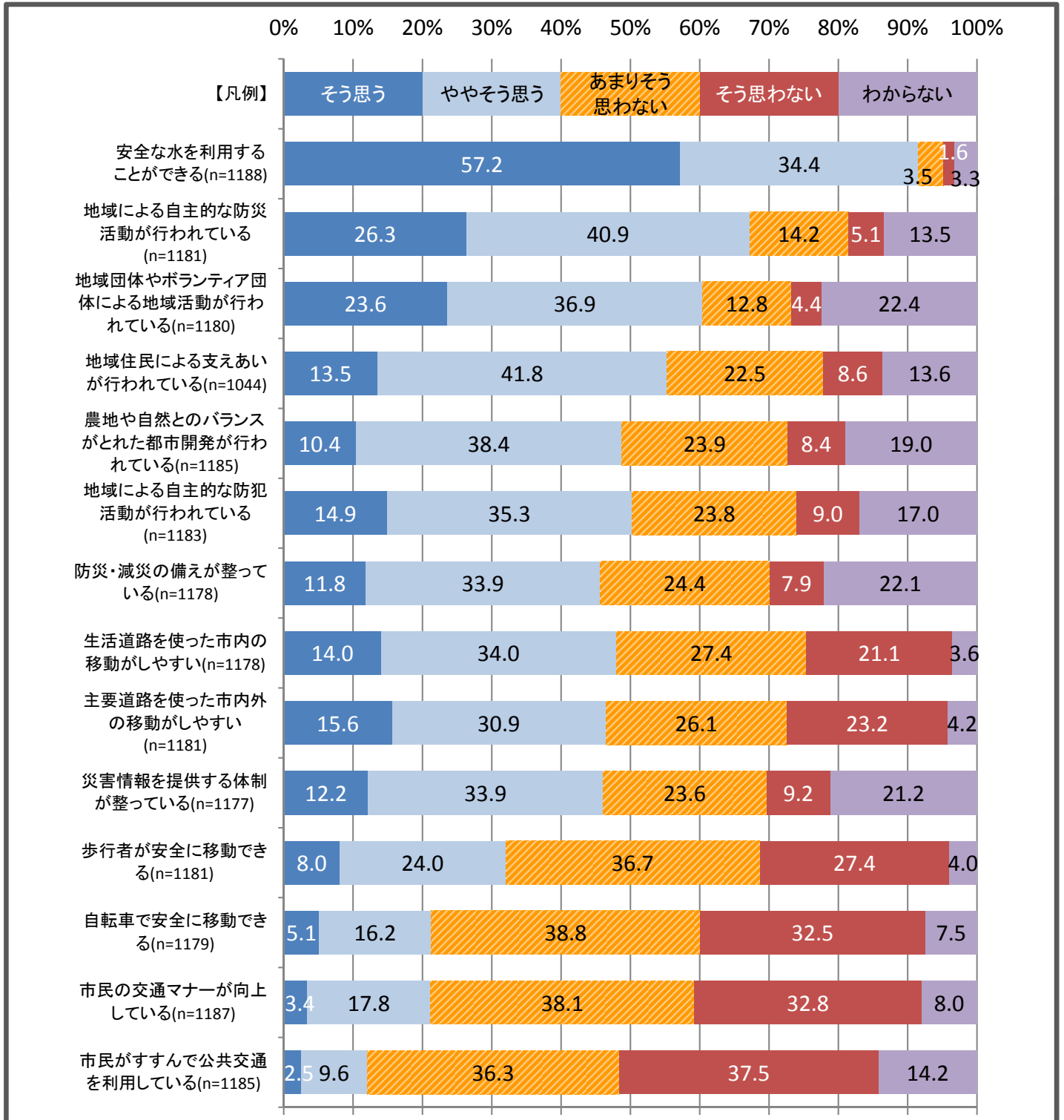
② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

■評価結果■

- ・「安全な水をー」は90%以上の方が肯定的な評価をしており、非常に評価が高い。
- ・交通安全・公共交通に関しては自身の交通マナーの項目以外が肯定的な評価をしている人が50%以下であり、特に「歩行者がー」「自転車でー」「市民の交通マナーー」「市民が進んで公共交通ー」に関して肯定的な評価をした人は35%以下と低くなっている。
- ・市民自身の防災・防犯活動への参加に関しても肯定的な意見をした人は35%以下であり、参加の意識が低いと考えられる。

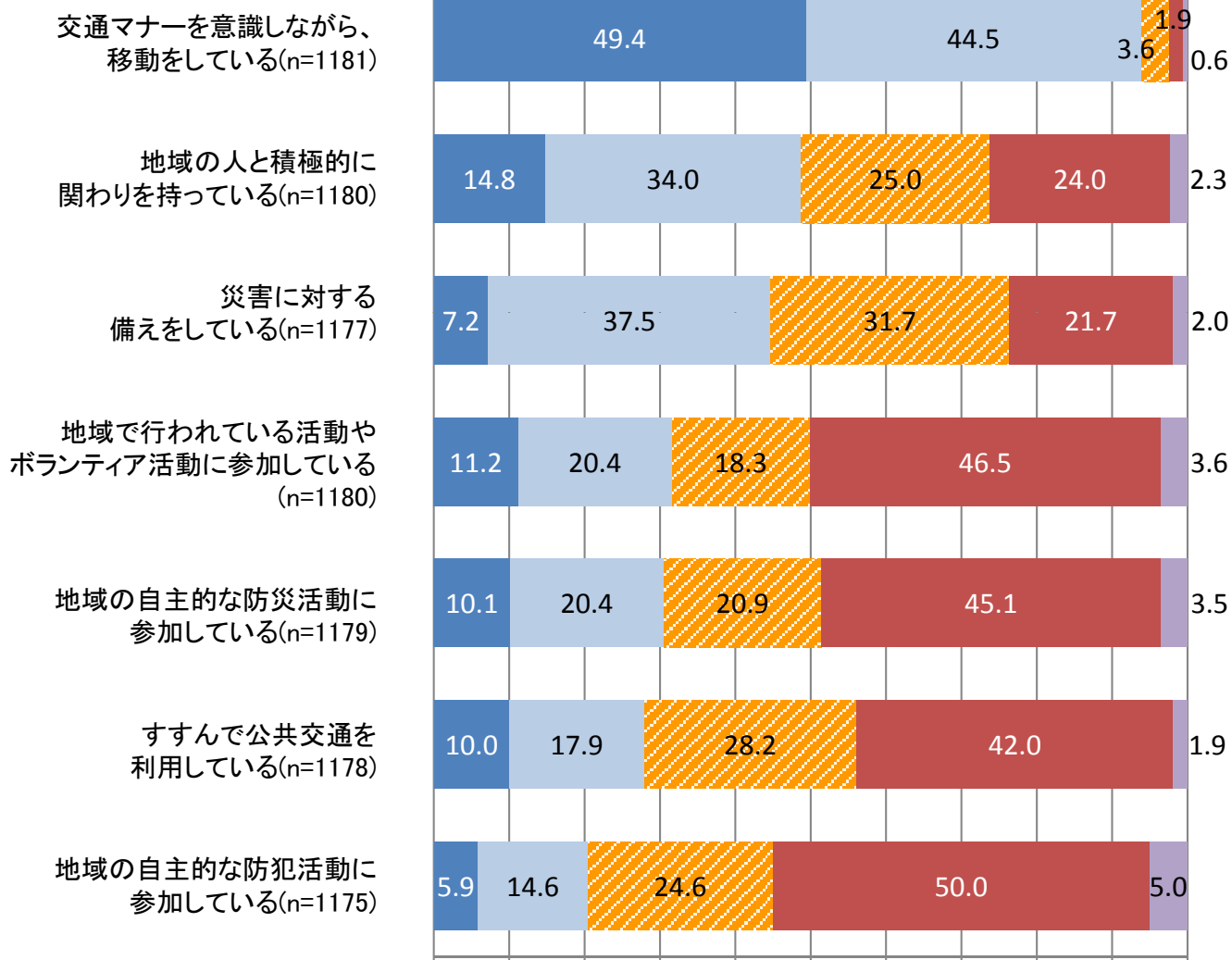
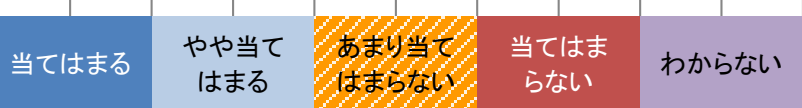
【松本市の現状】



【市民の行動】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【凡例】



2) 今年度に実施した調査間の差

基本目標3「安全・安心で支えあいの心がつなぐまち」における、第1回、第2回調査の差があった項目は「生活道路を使った市内の移動がしやすい」「主要道路を使った市内外の移動がしやすい」「地域の人と積極的に関わりを持っている」「地域で行われている活動やボランティア活動に参加している」「すすんで公共交通を利用している」である。

■ 評価結果 ■

- ・「生活道路ー」「主要道路ー」の評価が第2回調査の評価が高いのは前年の大雪に比べて、今年は雪が少なく、また除雪などの対策が取られていた事が要因と推測できる。
- ・「地域の人と積極的な関わりー」に関しては、平成24・25年度の調査でも冬季時に実施した調査が下がっていることから、外出機会の減少や屋外でのコミュニケーションを図りにくかったことが評価した要因と推測できる。
- ・「地域で行われている活動やボランティア活動に参加している」に関しては、冬季時は上記項目と同様に外出機会の減少に加え、春～秋は「まつもと大歌舞伎」「サイトウ・キネン・フェスティバル」「松本山雅FCのホームゲーム」などのイベント・ボランティアなどにて活動をしやすい事も要因と推測できる。
- ・「すすんで公共交通を利用している」に関しても、冬季時は外出機会の減少に加え、自家用車での移動が多くなるためと推測できる。

調査項目	調査時期		平均点差
	1回	2回	
生活道路を使った市内の移動がしやすい	2.34	2.50	0.16
主要道路を使った市内外の移動がしやすい	2.32	2.48	0.16
地域の人と積極的な関わりを持っている	2.49	2.34	-0.15
地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	2.05	1.88	-0.17
すすんで公共交通を利用している	2.06	1.88	-0.18

(4) 基本目標4 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちについて

本市では松本の豊かな自然環境を守り、快適な生活環境を整え、持続可能な循環型の社会が構築できるよう、市民、事業者などと行政が連携するまちづくりを進めている。

① 経年での比較

1) 平均点による経年比較

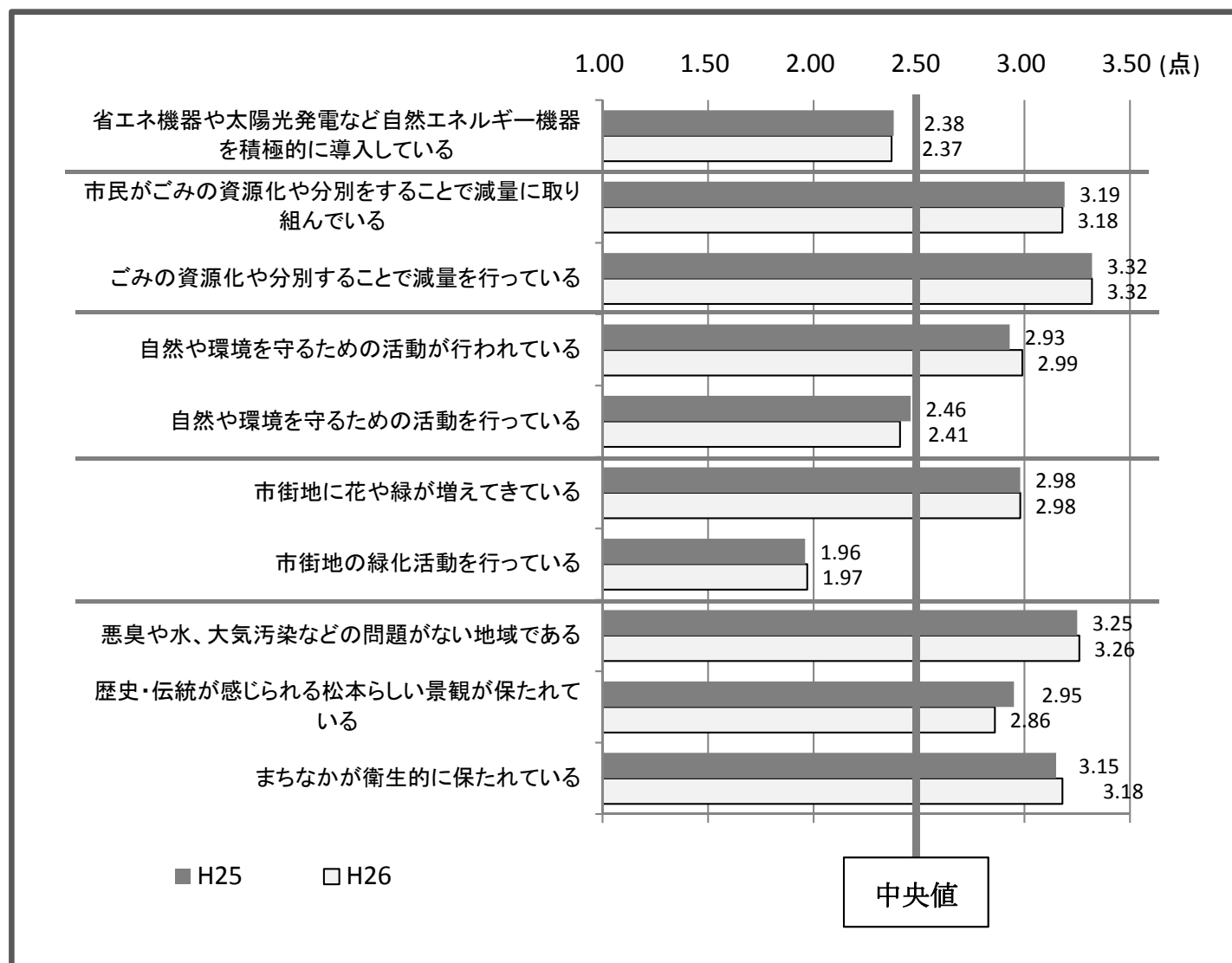
■評価結果■

- ・平成25・26年度ともに中央値2.5以上の項目は、「【市】市民がごみの資源化や分別をー」「【市民】ごみの資源化や分別をー」「【市】自然や環境を守るー」「【市】市街地に花や緑ー」「悪臭や水、大気汚染ー」「歴史・伝統が感じられるー」「まちなかが衛生的にー」である。特に「【市】市民がごみの資源化や分別をー」「【市民】ごみの資源化や分別をー」「悪臭や水、大気汚染ー」「まちなかが衛生的にー」などの生活衛生に関わる項目の評価が高い。
- ・平成25・26年度ともに中央値2.5以下の項目は、「省エネ機器や太陽光発電などー」「【市民】自然や環境を守るためー」「【市民】市街地の緑化活動ー」であり、環境保全に関する市民の行動に改善が必要と見られる。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点		
			H26年	H25年	差 H26-H25
4-1 環境負荷軽減に取り組むまち	4-1-1 新エネルギー活用の推進	省エネ機器や太陽光発電など自然エネルギー機器を積極的に導入している	2.37	2.38	-0.01
	4-1-2 車優先社会からの転換	施策3-3-4と統合			
	4-1-3 廃棄物発生抑制の推進	【市】市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.18	3.19	-0.01
		【市民】ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている	3.32	3.32	0
	4-1-4 環境教育の充実	【市】自然や環境を守るための活動が行われている	2.99	2.93	0.06
		【市民】自然や環境を守るための活動を行っている	2.41	2.46	-0.05
4-2 自然を守り、育むまち	4-2-1 森林環境整備の推進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	4-2-2 緑化の推進	【市】市街地に花や緑が増えてきている	2.98	2.98	0
		【市民】市街地の緑化活動を行っている	1.97	1.96	0.01

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点		
			H26年	H25年	差 H26-H25
4-3 快適な生活 環境を育む まち	4-3-1 水、大気環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.26	3.25	0.01
	4-3-2 下水道整備の推進	サービスに差がない項目のため、調査項目を設定しなかった			
	4-3-3 景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.86	2.95	-0.09
	4-3-4 公衆衛生環境の向上	まちなかが衛生的に保たれている	3.18	3.15	0.03

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目



2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

- ・「わからない」という回答が多いのは平成25・26年度ともに「【市】自然や環境を守る」で、環境保全に関する取組みが市民にあまり伝わっていないと考えられる。
- ・「【市】市街地に花や緑が」「【市】歴史・伝統が感じられる」の「わからない」の回答が平成25年度に比べて増えているため、更なる広報が必要と考えられる。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)		
			H26年	H25年	差 H26-H25
4-1 環境負荷軽減に取り組むまち	4-1-1 新エネルギー活用の推進	省エネ機器や太陽光発電など自然エネルギー機器を積極的に導入している	4.54	4.05	0.49
	4-1-2 車優先社会からの転換	施策3-3-4と統合			
	4-1-3 廃棄物発生抑制の推進	【市】市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	7.48	5.49	1.99
		【市民】ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている	1.76	1.13	0.63
	4-1-4 環境教育の充実	【市】自然や環境を守るための活動が行われている	19.02	18.79	0.23
		【市民】自然や環境を守るための活動を行っている	7.69	6.35	1.34
4-2 自然を守り、育むまち	4-2-1 森林環境整備の推進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	4-2-2 緑化の推進	【市】市街地に花や緑が増えてきている	11.20	9.80	1.40
		【市民】市街地の緑化活動を行っている	8.09	7.83	0.26
4-3 快適な生活環境を育むまち	4-3-1 水、大気環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	5.13	4.37	0.76
	4-3-2 下水道整備の推進	サービスに差がない項目のため、調査項目を設定しなかった			
	4-3-3 景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	9.02	6.59	2.43
	4-3-4 公衆衛生環境の向上	まちなかが衛生的に保たれている	6.74	5.87	0.87

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標4「人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち」では、受益者を限定する施策はない。

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

基本目標4「人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち」の中で、「市の現状」と「市民の行動」を設定した項目は、「4-1-3 廃棄物発生抑制の推進」「4-1-4 環境教育の充実」「4-2-2 緑化の推進」であり、結果は以下のとおりである。

■ 評価結果 ■

- ・ゴミの減量・分別に関しては「市民の行動」の評価が高く、自然・環境保全、市街地の緑化では「市の現状」の評価が高い状態が続いている。
- ・市街地の緑化活動については、依然として「市の現状」と「市民の行動」の差が大きい。市街地の緑化活動は高く評価されてきているが、一人ひとりの活動には至っていない現状となっている。

4-1-3 廃棄物発生抑制の推進

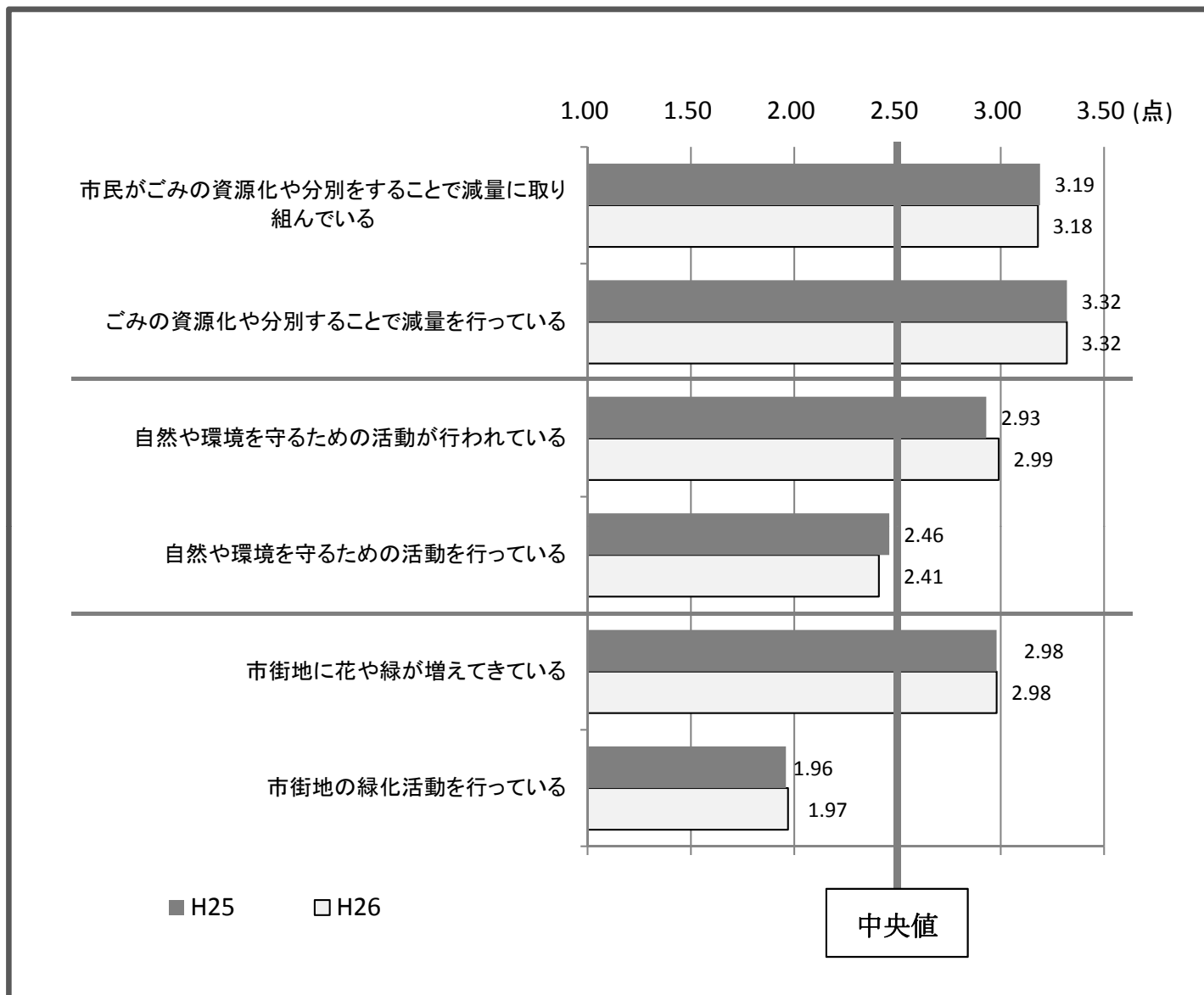
		H26年	H25年
市の現状	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.18	3.19
市民の行動	ごみの資源化や分別することで減量を行っている	3.32	3.32
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	-0.14	-0.13

4-1-4 環境教育の充実

		H26年	H25年
市の現状	自然や環境を守るための活動が行われている	2.99	2.93
市民の行動	自然や環境を守るための活動を行っている	2.41	2.46
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.58	0.48

4-2-2 緑化の推進

		H26年	H25年
市の現状	市街地に花や緑が増えてきている	2.98	2.98
市民の行動	市街地の緑化活動を行っている	1.97	1.96
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	1.01	1.02

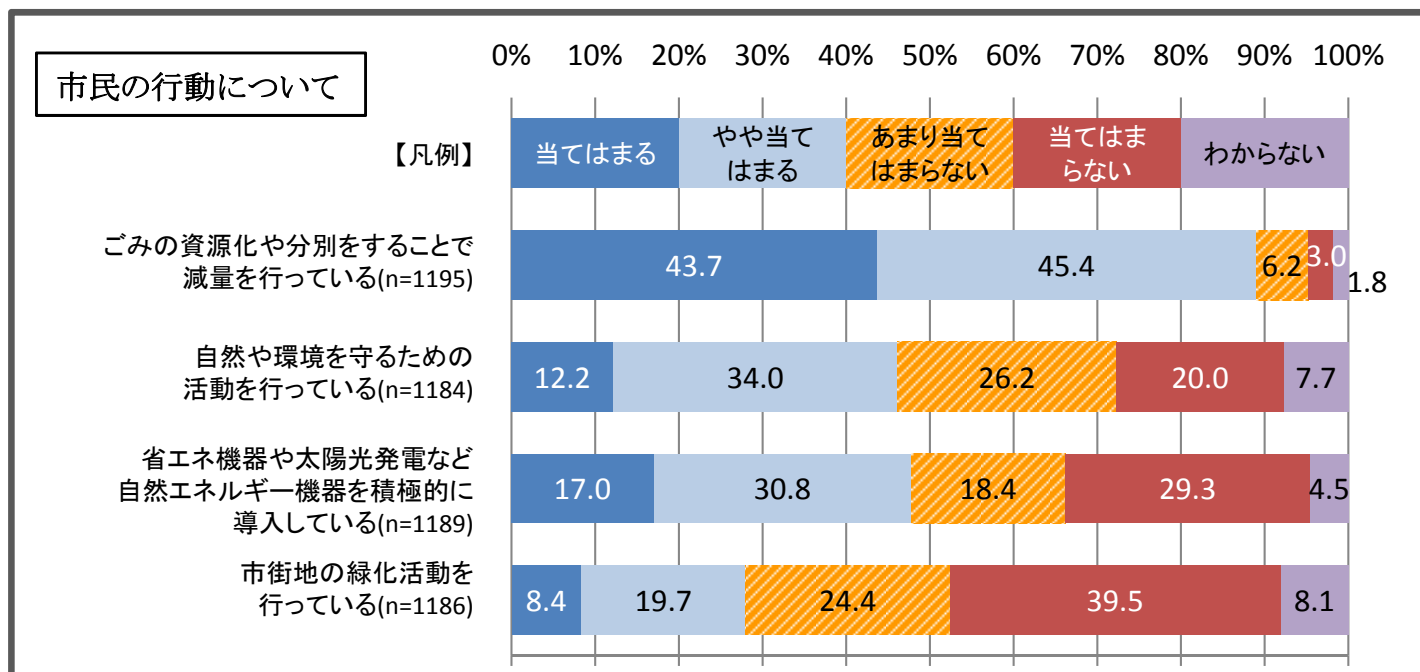
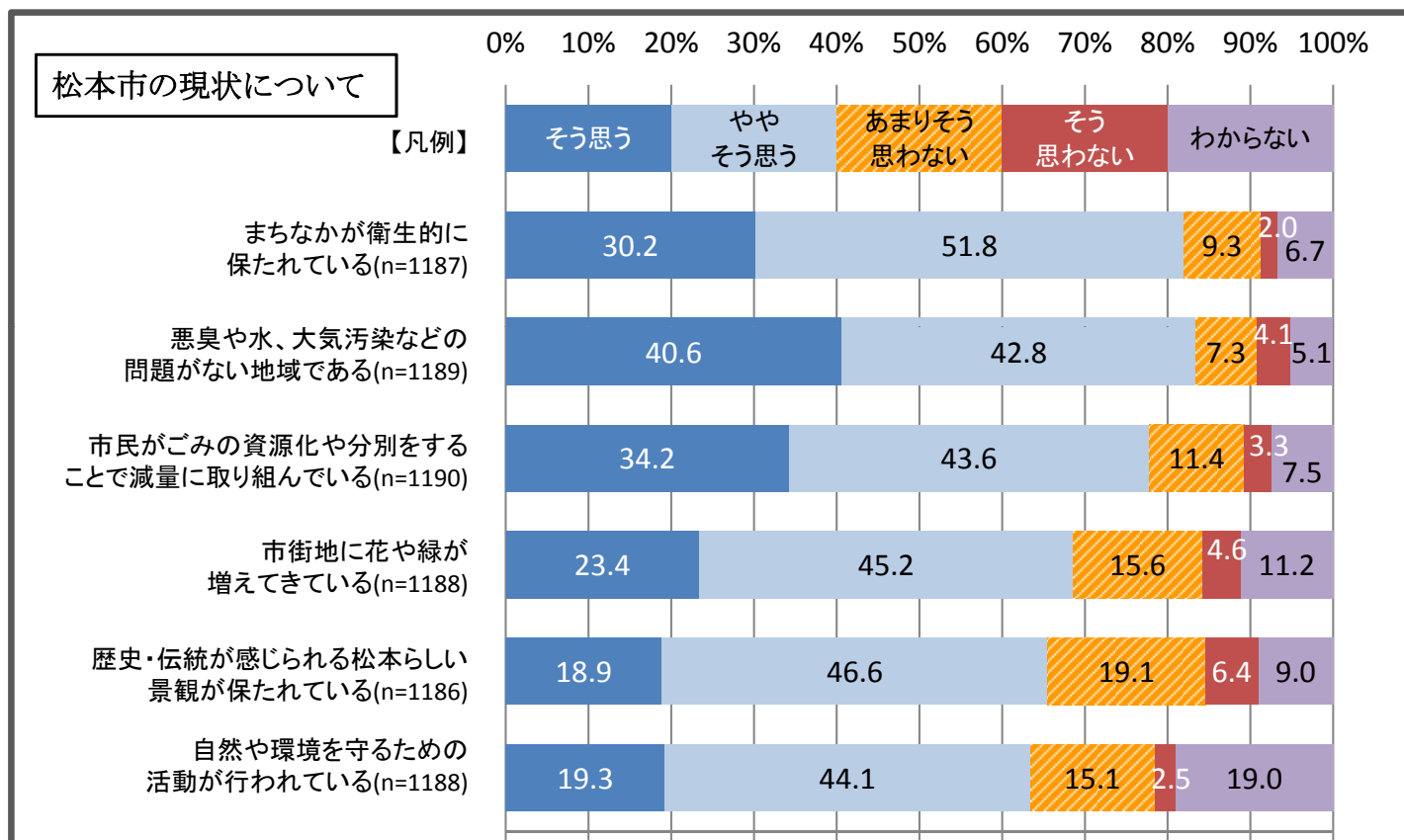


② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

■ 評価結果 ■

・「まちなかが衛生的にー」「悪臭や水、大気汚染ー」「【市】市民がごみの資源化や分別をー」「【市民】ごみの資源化や分別をー」は、非常に評価が高く、約80%の市民が肯定的な評価をしている。
 ・「省エネ機器や太陽光発電ー」「自然や環境を守るための活動ー」「【市民】市街地の緑化活動ー」の市民の行動を聞いた項目で肯定的な評価をした人は50%以下である。



2) 今年度に実施した調査間の差

基本目標4「人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち」における、第1回、第2回調査の差があった項目は「市街地に花や緑が増えてきている」である。

■評価結果■

・「市街地に花や緑が増えてきている」の第2回調査の評価が下がっている。この項目は平成24・25年度調査ともに冬季時の調査で評価が下がっており、冬季時は市街地で花や緑を見る機会が減ったことにより、評価が下がったものと考えられる。

調査項目	調査時期		平均点差
	1回	2回	
市街地に花や緑が増えてきている	3.07	2.92	-0.15

(5)基本目標5 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちについて

本市では松本の資源と人材を活かして、産業基盤を強化し、地域のブランド力を高め、地域経済がさらに力強く発展するよう、人が行きかうまちづくりを進めている。

① 経年での比較

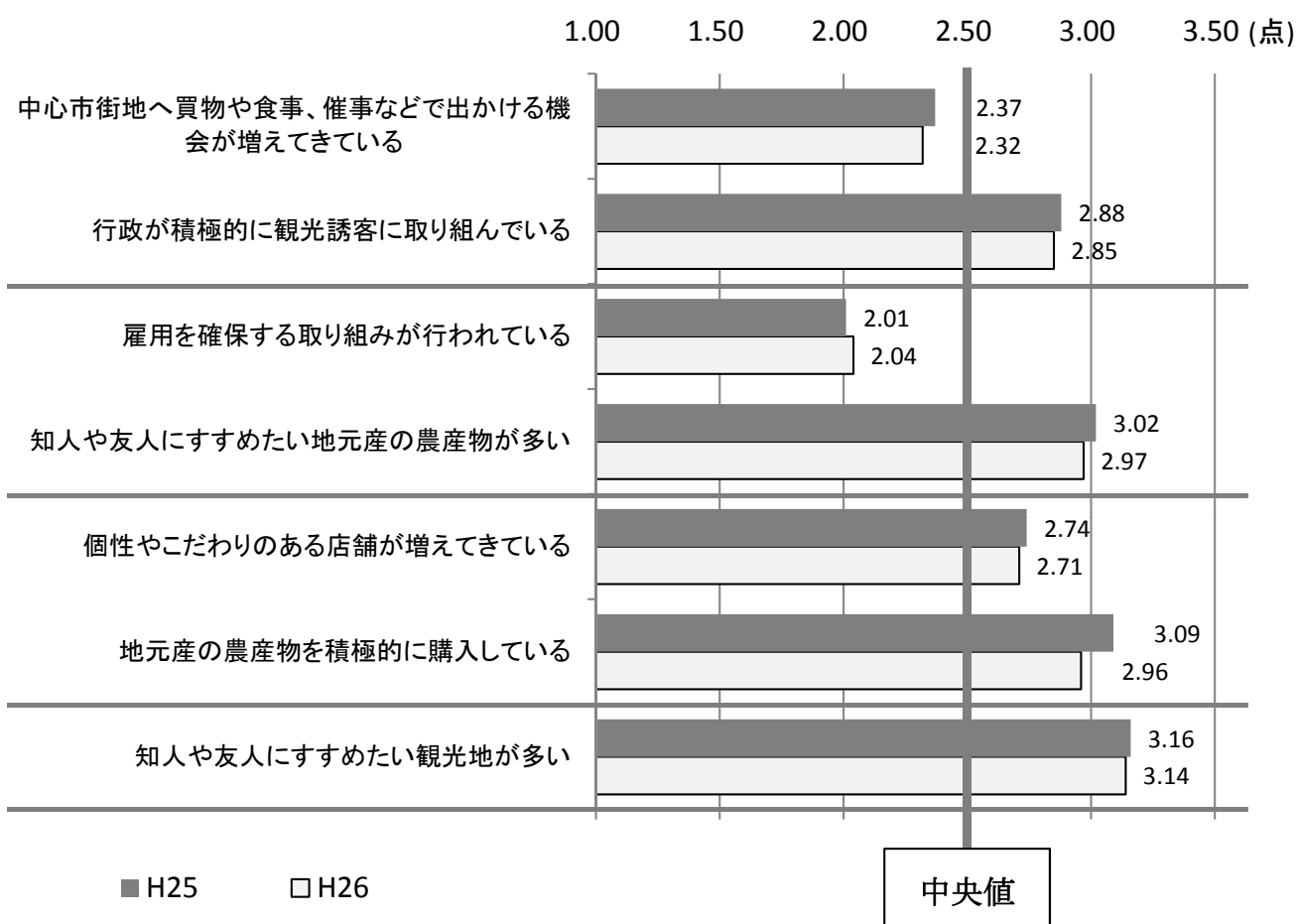
1) 平均点による経年比較

■評価結果■

・中央値2.5以上の項目は「行政が積極的に観光誘客ー」「知人や友人に進めたい地元産の農産物ー」「個性やこだわりのある店舗ー」「地元産の農産物を積極的に購入ー」「知人や友人にすすめたい観光地ー」である。

・中央値が2.5以下の項目は「中心市街地へー」「雇用を確保する取り組みー」である。これらは、平成24・25年度とほぼ同じ数値であり、評価は上がっていない。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点		
			H26年	H25年	差 H26-H25
5-1 地域資源と 人材を活か すまち	5-1-1 人材育成・組織づくりの推 進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	5-1-2 中心市街地活性化の推 進	中心市街地へ買物や食事、催事などで出 かける機会が増えてきている	2.32	2.37	-0.05
	5-1-3 観光資源整備の推 進	行政が積極的に観光誘客に取り組んで いる	2.85	2.88	-0.03
	5-1-4 労働、雇用対策の推 進	雇用を確保する取り組みが行われている	2.04	2.01	0.03
5-2 産業の活力 を生み、伸 ばすまち	5-2-1 農林業の振興	知人や友人にすすめたい地元産の農産 物が多い	2.97	3.02	-0.05
	5-2-2 商業の振興	個性やこだわりのある店舗が増えてきて いる	2.71	2.74	-0.03
	5-2-3 工業の振興	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
5-3 松本ブランド を発信する まち	5-3-1 農産物高付加価値化の推 進	地元産の農産物を積極的に購入している	2.96	3.09	-0.13
	5-3-2 新産業の創出	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	5-3-3 戦略的な観光施策、交流 の推 進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.14	3.16	-0.02



2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

- ・「わからない」という回答が多いのは「雇用を確保する取り組み」であり、30%以上の市民が評価できない状況にある。
- ・「行政が積極的に観光誘客に」「個性やこだわりのある店舗が」は「わからない」という回答が約15%であり、更なる広報が必要と考えられる。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)		
			H26年	H25年	差 H26-H25
5-1 地域資源と 人材を活か すまち	5-1-1 人材育成・組織づくりの推 進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	5-1-2 中心市街地活性化の推進	中心市街地へ買物や食事、催事などで出 かける機会が増えてきている	1.59	1.94	-0.35
	5-1-3 観光資源整備の推進	行政が積極的に観光誘客に取り組んで いる	14.60	15.52	-0.92
	5-1-4 労働、雇用対策の推進	雇用を確保する取り組みが行われている	32.41	31.64	0.77
5-2 産業の活力 を生み、伸 ばすまち	5-2-1 農林業の振興	知人や友人にすすめたい地元産の農産 物が多い	8.88	5.87	3.01
	5-2-2 商業の振興	個性やこだわりのある店舗が増えてきて いる	15.09	15.15	-0.06
	5-2-3 工業の振興	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
5-3 松本ブランド を発信する まち	5-3-1 農産物高付加価値化の推 進	地元産の農産物を積極的に購入している	1.67	3.02	-1.35
	5-3-2 新産業の創出	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
	5-3-3 戦略的な観光施策、交流 の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	4.27	3.92	0.35

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標5「魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち」では、受益者を限定する施策はない。

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

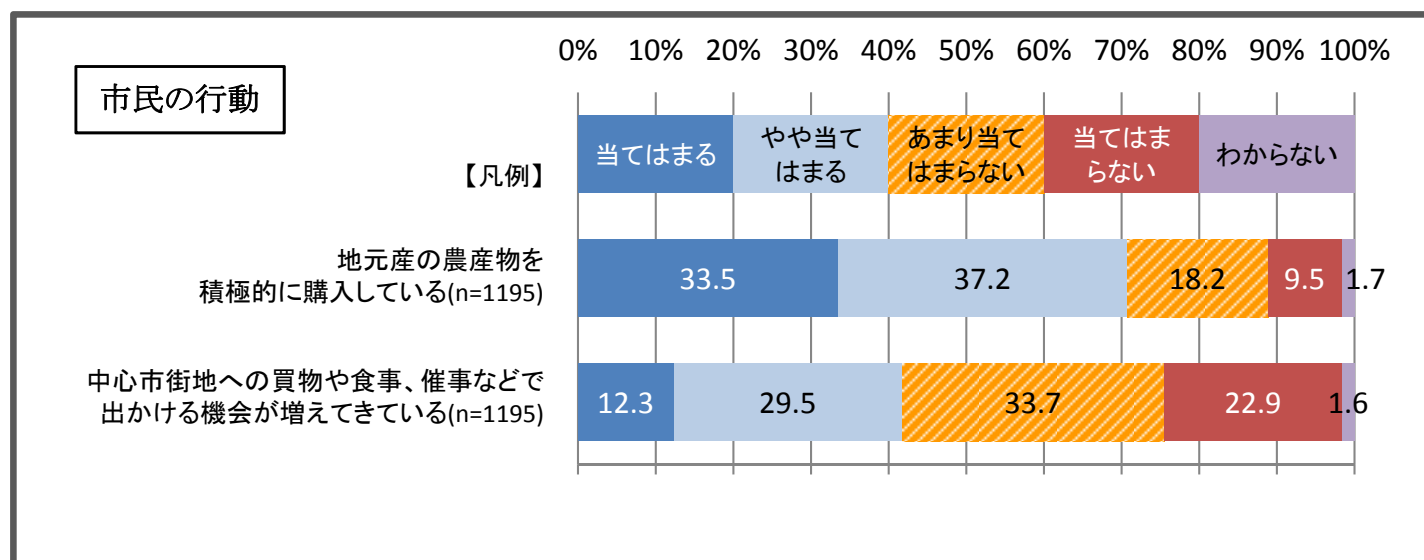
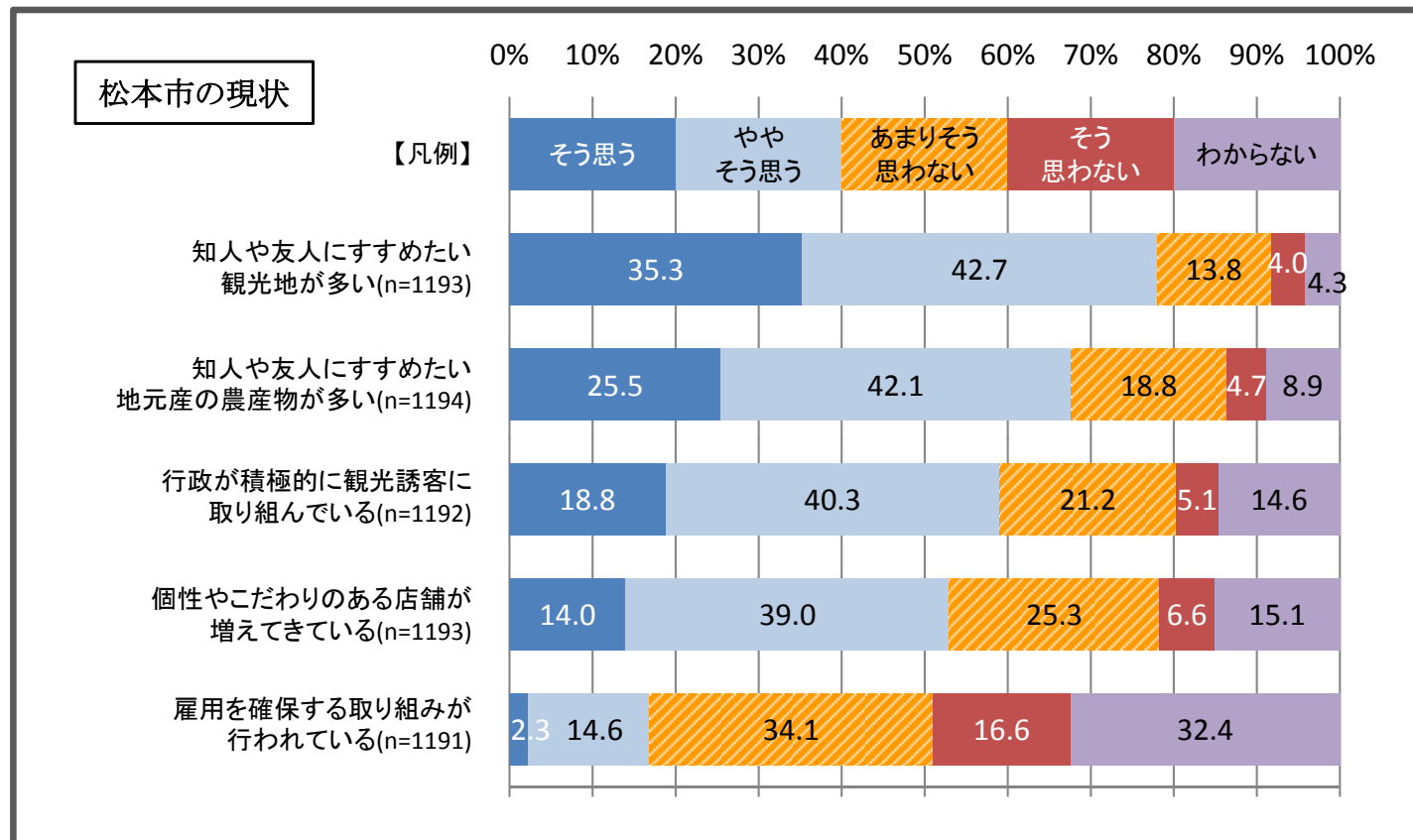
基本目標5「魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち」の中で、「市の現状」と「市民の行動」とともに設定した施策はない。

② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

■ 評価結果 ■

- ・「知人や友人にすすめたい観光地が多い」は肯定的評価が約80%と依然として高い。
- ・「中心市街地」は肯定的評価が50%を下回っており、更なる施策が必要と考えられる。
- ・「雇用を確保する」は肯定的評価が20%を下回っており、更なる施策および広報が必要である。



2) 今年度実施した調査間の差

基本目標5「魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち」において、第1回、第2回調査で、統計的有意差がみられた項目はなかった。

(6)基本目標6 とともに学びあい人と文化を育むまちについて

本市では薫り高い松本の文化を礎に、人と人とのつながりが深まり、自ら行動する未来の担い手が育つよう、豊かな人間性を育むまちづくりを進めている。

① 経年での比較

1) 平均点による経年比較

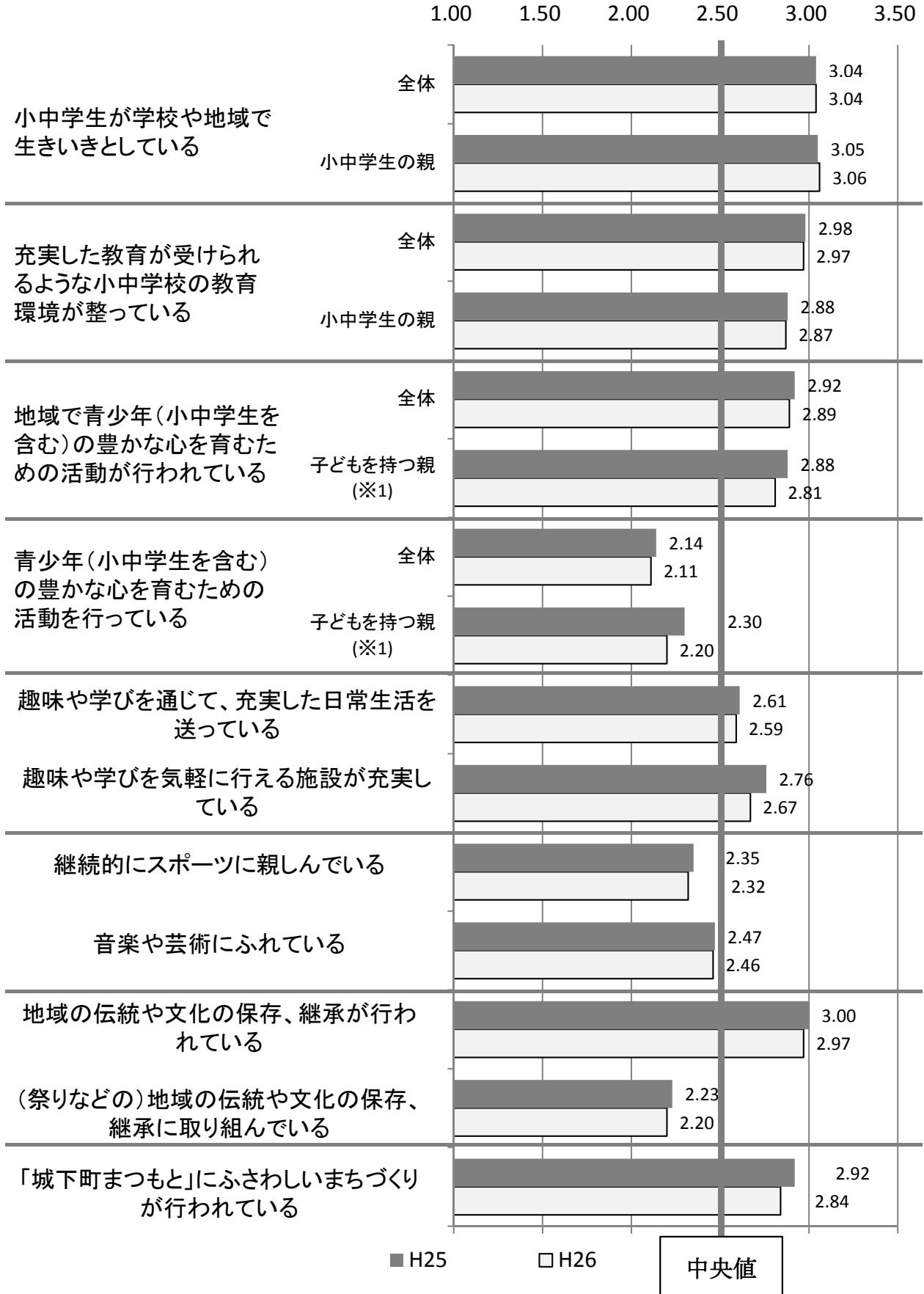
■評価結果■

・すべての項目で平成25年度とほぼ同様の数値であり、中央値以上の項目、未満の項目ともに変動は見られなかった。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	平均点			
			H26年	H25年	差 H26-H25	
6-1 子どもの可能性が広がるまち	6-1-1 学校教育の充実	小中学生が学校や地域で生きいきとしている	(全体)	3.04	3.04	0
			小中学生の親	3.06	3.05	0.01
	6-1-2 学校環境整備の推進	充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている	(全体)	2.97	2.98	-0.01
			小中学生の親	2.87	2.88	-0.01
	6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化	【市】地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	(全体)	2.89	2.92	-0.03
			子どもを持つ親	2.81	2.88	-0.07
【市民】青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている		(全体)	2.11	2.14	-0.03	
		子どもを持つ親	2.20	2.30	-0.10	
6-2 生涯学習が地域に活かされるまち	6-2-1 生涯学習機会の充実	【市民】趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている		2.59	2.61	-0.02
	6-2-2 生涯学習施設整備の推進	【市】趣味や学びを気軽に行える施設が充実している		2.67	2.76	-0.09
	6-2-3 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)		2.32	2.35	-0.03
6-3 文化芸術を創り、育むまち	6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)		2.46	2.47	-0.01
	6-3-2 文化資産保護と活用の推進	【市】地域の伝統や文化の保存、継承が行われている		2.97	3.00	-0.03
		【市民】(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる		2.20	2.23	-0.03
	6-3-3 城下町まつもとの再生	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている		2.84	2.92	-0.08

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

(点)



(※1) 高校生以下の子ども

2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

- ・「【市】地域の伝統や文化の保存、継承がー」「『城下町まつもと』にー」「趣味や学びを気軽にー」「【市】地域で青少年ー」については、平成24年度から引き続き評価保留を示す「わからない」の回答が15%を超えており、市民全体への周知が不足している状況が続いている。
- ・「小中学生がー」「充実した教育がー」の項目では、評価保留の割合が大幅に上がっており、判断できるほどに子どもたちとの関わりをもてていない可能性がある。

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価保留の割合(%)			
			H26年	H25年	差 H26-H25	
6-1 子どもの可能性が広がるまち	6-1-1 学校教育の充実	(全体)	29.91	25.07	4.84	
		小中学生の親	6.49	1.61	4.88	
	6-1-2 学校環境整備の推進	(全体)	35.15	30.96	4.19	
		小中学生の親	8.15	5.65	2.50	
	6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化	【市】地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	(全体)	36.30	32.91	3.39
			子どもを持つ親	26.27	23.70	2.57
【市民】青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている		(全体)	20.85	20.11	0.74	
		子どもを持つ親	11.99	11.09	0.90	
6-2 生涯学習が地域に活かされるまち	6-2-1 生涯学習機会の充実	【市民】趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている	8.16	6.57	1.59	
	6-2-2 生涯学習施設整備の推進	【市】趣味や学びを気軽に行える施設が充実している	21.99	22.15	-0.16	
	6-2-3 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)	6.73	4.77	1.96	
6-3 文化芸術を創り、育むまち	6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	5.44	4.27	1.17	
	6-3-2 文化資産保護と活用の推進	【市】地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	18.37	16.29	2.08	
		【市民】(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	8.96	6.97	1.99	
	6-3-3 城下町まつもとの再生	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	17.61	16.72	0.89	

※【市】は松本市の現状を聞いた項目、【市民】は市民の行動を聞いた項目

3) 市民全体と受益者の評価の経年比較

基本目標6「ともに学びあい人と文化を育むまち」では、受益者を限定する施策は、「6-1-1 学校教育の充実」「6-1-2 学校環境整備の推進」「6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化」である。

■評価結果■

- ・「【市民】青少年の豊かな心ー」を除く3項目については、ともに高い評価となっている。当事者と非当事者の間で認識にギャップがさほど無いことから、子どもを持たない人にも、子どもの学習や成長を周知できていると推測できる。
- ・「【市民】青少年の豊かな心ー」については、平成24年度の差(-0.28)、平成25年度の差(-0.16)から差が詰まってきてはいるが、評価は中央値未満であることから、更なる施策ならびに周知活動が必要と考えられる。

【市民全体と受益者の比較】

6-1-1 学校教育の充実 「小中学生が学校や地域で生き生きとしている」

	H26年	H25年
市民全体	3.04	3.04
小中学生の親	3.06	3.05
【市民全体】-【小中学生の親】の差	-0.02	-0.01

6-1-2 学校環境整備の推進 「充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている」

	H26年	H25年
市民全体	2.97	2.98
小中学生の親	2.87	2.88
【市民全体】-【小中学生の親】の差	0.10	0.10

6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化

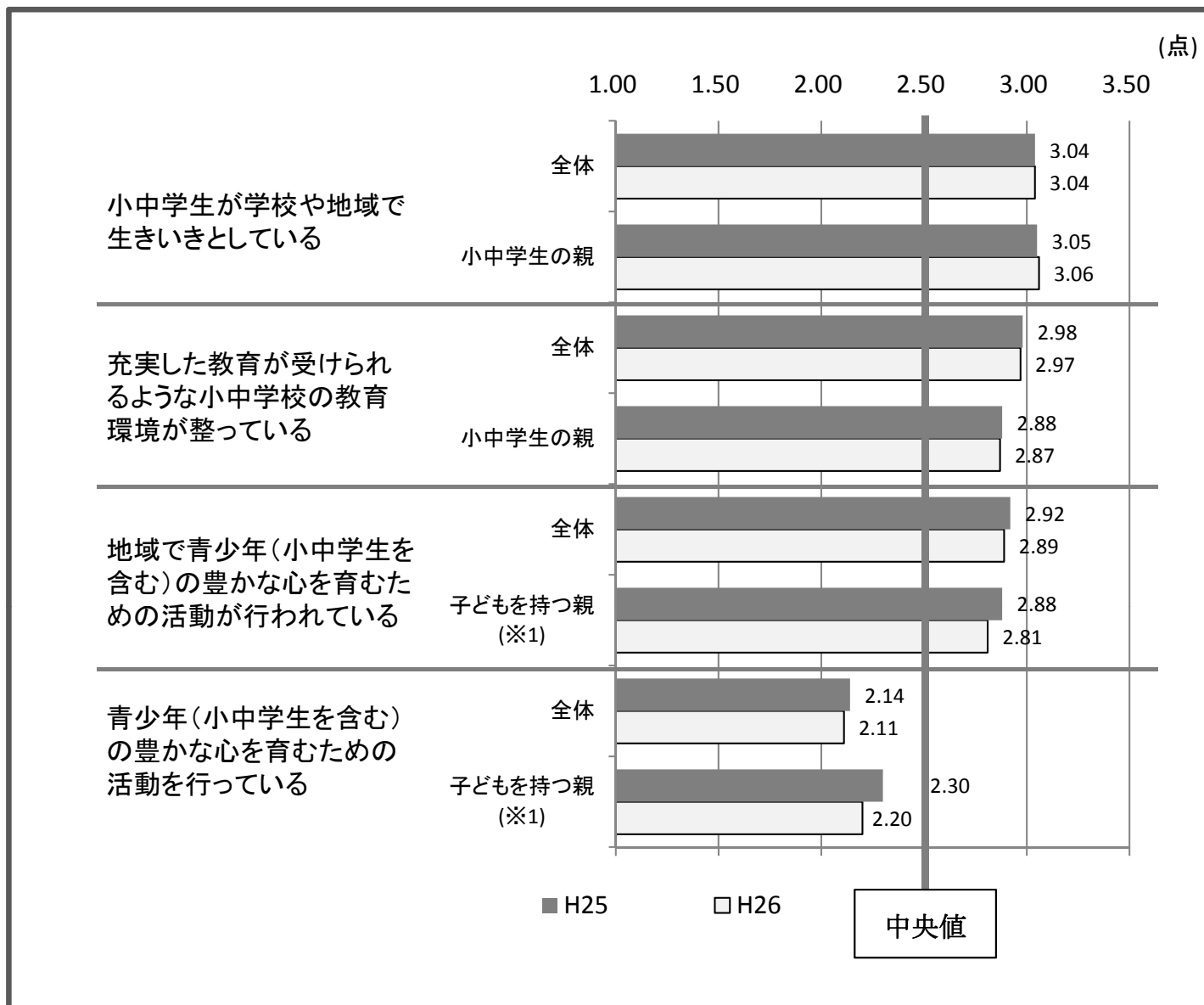
【市】地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている

	H26年	H25年
市民全体	2.89	2.92
子どもを持つ親(※1)	2.81	2.88
【市民全体】-【子どもを持つ親】の差	0.08	0.04

【市民】青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている

	H26年	H25年
市民全体	2.11	2.14
子どもを持つ親(※1)	2.20	2.30
【市民全体】-【子どもを持つ親】の差	-0.09	-0.16

(※1) 高校生以下の子ども



(※1) 高校生以下の子ども

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

基本目標6「ともに学びあい人と文化を育むまち」の中で、「市の現状」と「市民の行動」を設定した項目は、「6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化」「6-2-1 生涯学習機会の充実 / 6-2-2 生涯学習施設整備の推進」「6-3-2 文化資産保護と活用の推進」であり、結果は以下のとおりである。

■評価結果■

- ・全体的に「市の現状」に比べ「市民の行動」が低い評価になっており、市民の行動が追いついていない状況にある。
- ・「家庭、地域と学校の連携強化」「文化資産保護と活用の推進」については、「市の現状」と「市民の行動」の差が大きく、市民の行動を促す取組みが特に必要であると考えられる。

6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化

		H26年	H25年
市の現状	地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	2.89	2.88
市民の行動	青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.11	2.30
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.78	0.58

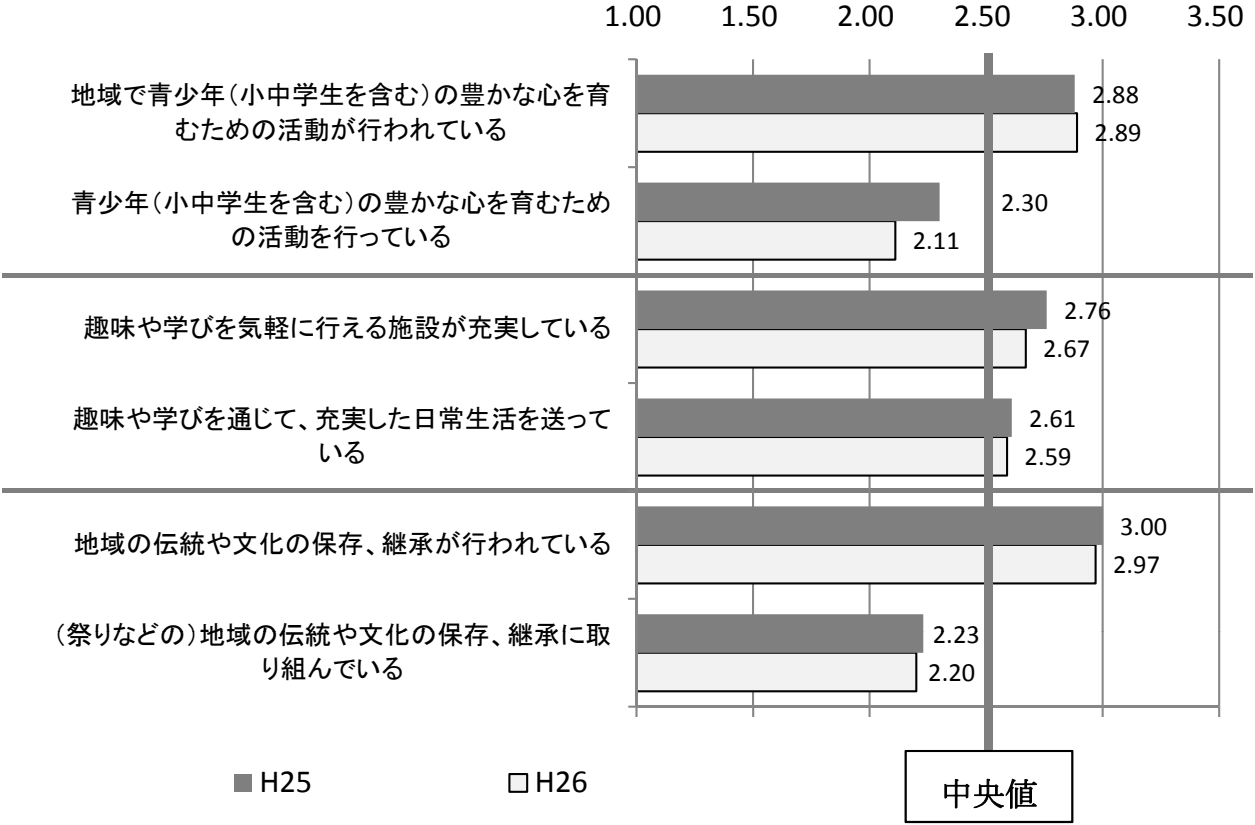
6-2-1 生涯学習機会の充実 / 6-2-2 生涯学習施設整備の推進

		H26年	H25年
市の現状	趣味や学びを気軽に行える施設が充実している	2.67	2.76
市民の行動	趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている	2.59	2.61
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.08	0.15

6-3-2 文化資産保護と活用の推進

		H26年	H25年
市の現状	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	2.97	3.00
市民の行動	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.20	2.23
差	【市の現状】－【市民の行動】の差	0.77	0.77

(点)

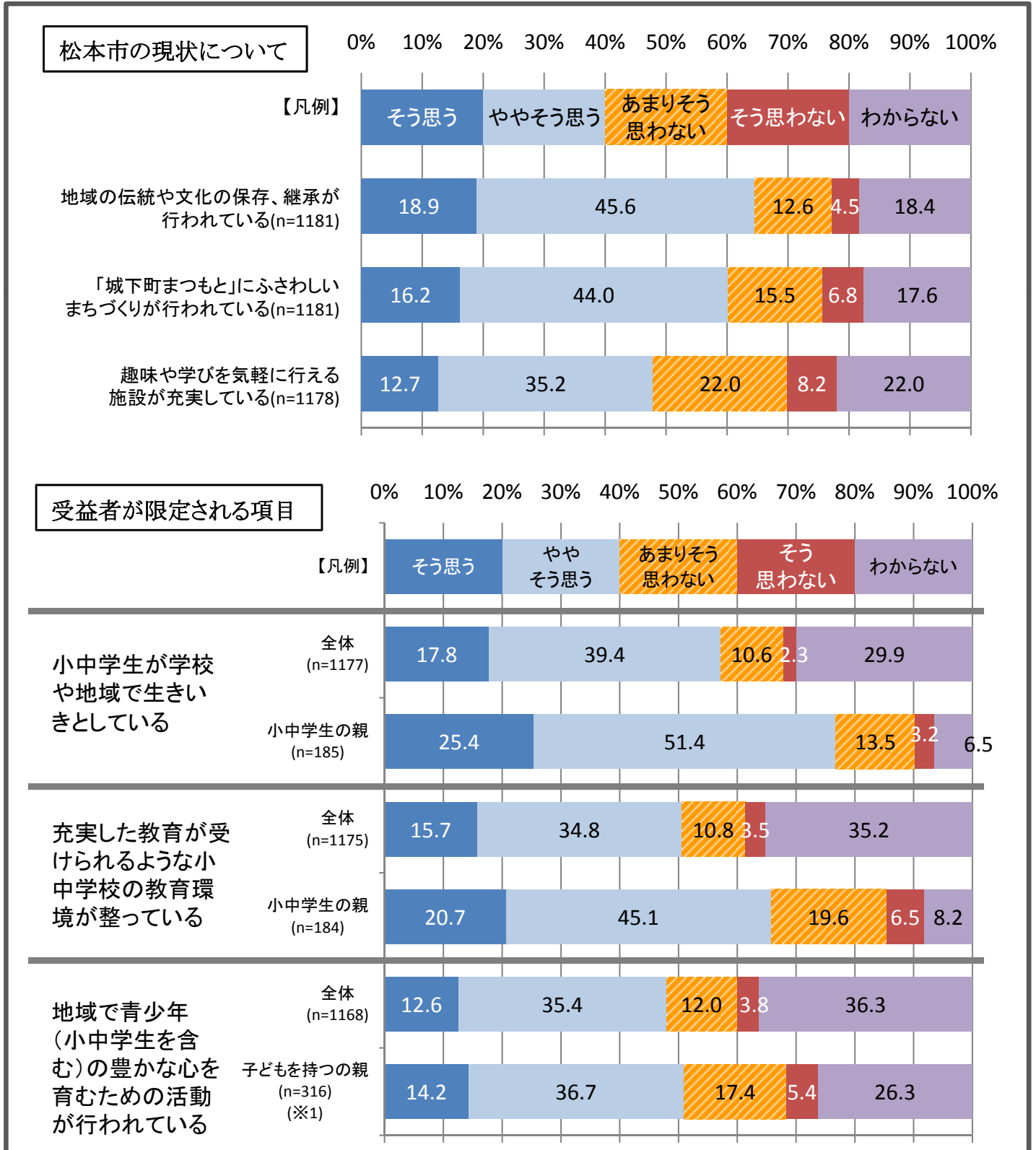


② 今年度調査結果

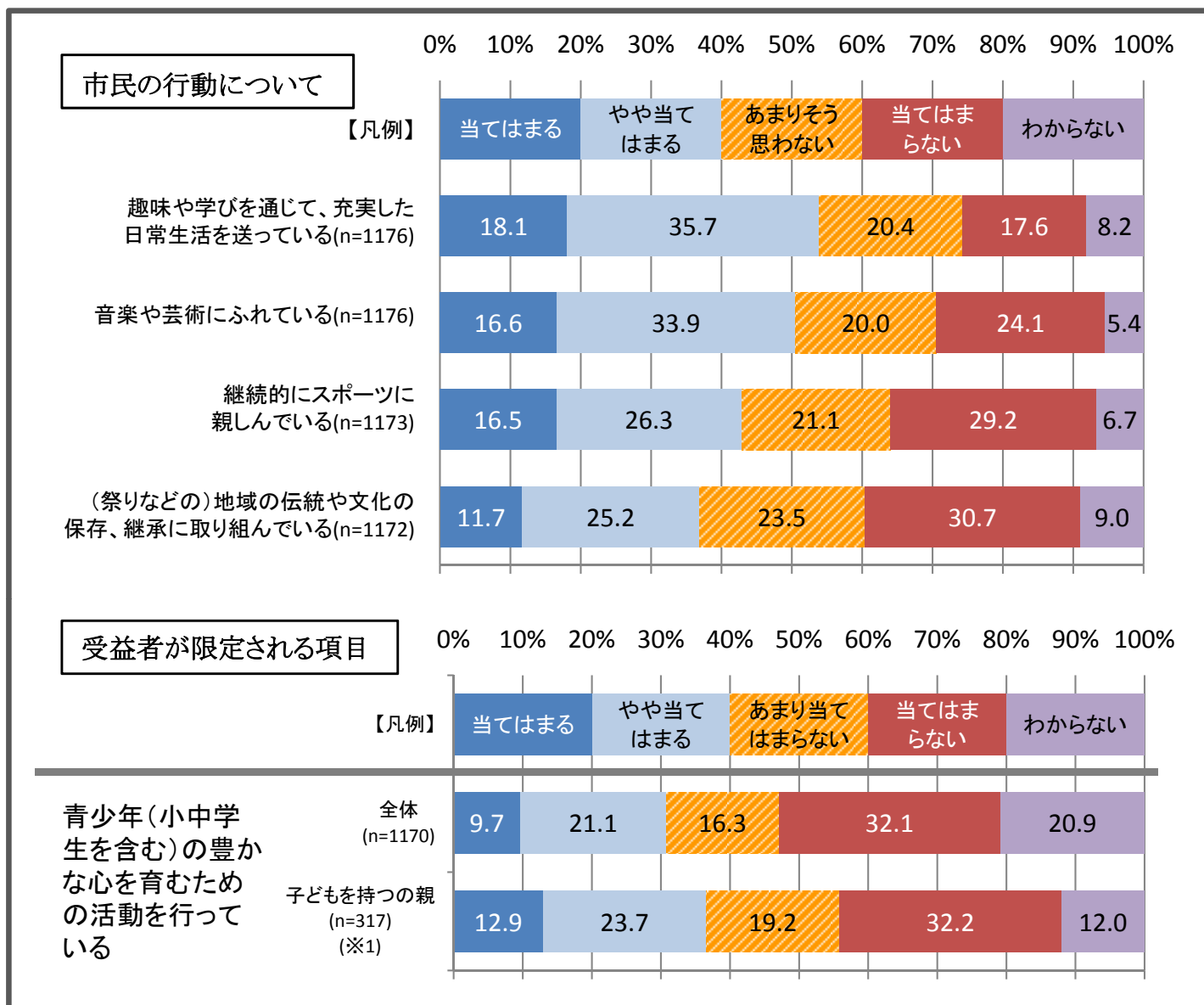
1) 評価施策別度数分布

■ 評価結果 ■

- ・小中学生の親が評価する「小中学生が学校や地域ー」は肯定的評価が70%以上となっている。また「充実した教育が受けられるような小中学校ー」も肯定的評価が60%以上と高い評価である。
- ・市民の行動を聞く項目では「趣味や学びを通じてー」「音楽や芸術にー」以外は肯定的意見が50%以下である。



(※1) 高校生以下の子ども



(※1) 高校生以下の子ども

2) 今年度実施した調査間の差

基本目標6「ともに学びあい人と文化を育むまち」における、第1回、第2回調査の差があった項目は「趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている」「音楽や芸術にふれている」「継続的にスポーツに親しんでいる」である。

■ 評価結果 ■

・下記3項目とも第2回調査の評価が下がっている。この項目は冬季時は外出する機会が減ったことにより、評価が下がったものと考えられる。

調査項目	調査時期		平均点差
	1回	2回	
趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている	2.69	2.52	-0.17
音楽や芸術にふれている	2.54	2.39	-0.15
継続的にスポーツに親しんでいる	2.42	2.25	-0.17

(7) 行政について

本市では選択と集中による事業の効率化、重点化を進めるとともに、顧客主義や成果主義など市民の目線に立って、市民の負託に的確に応えられる行政をめざし、5つの方針のもと行政運営に取り組んでいる。

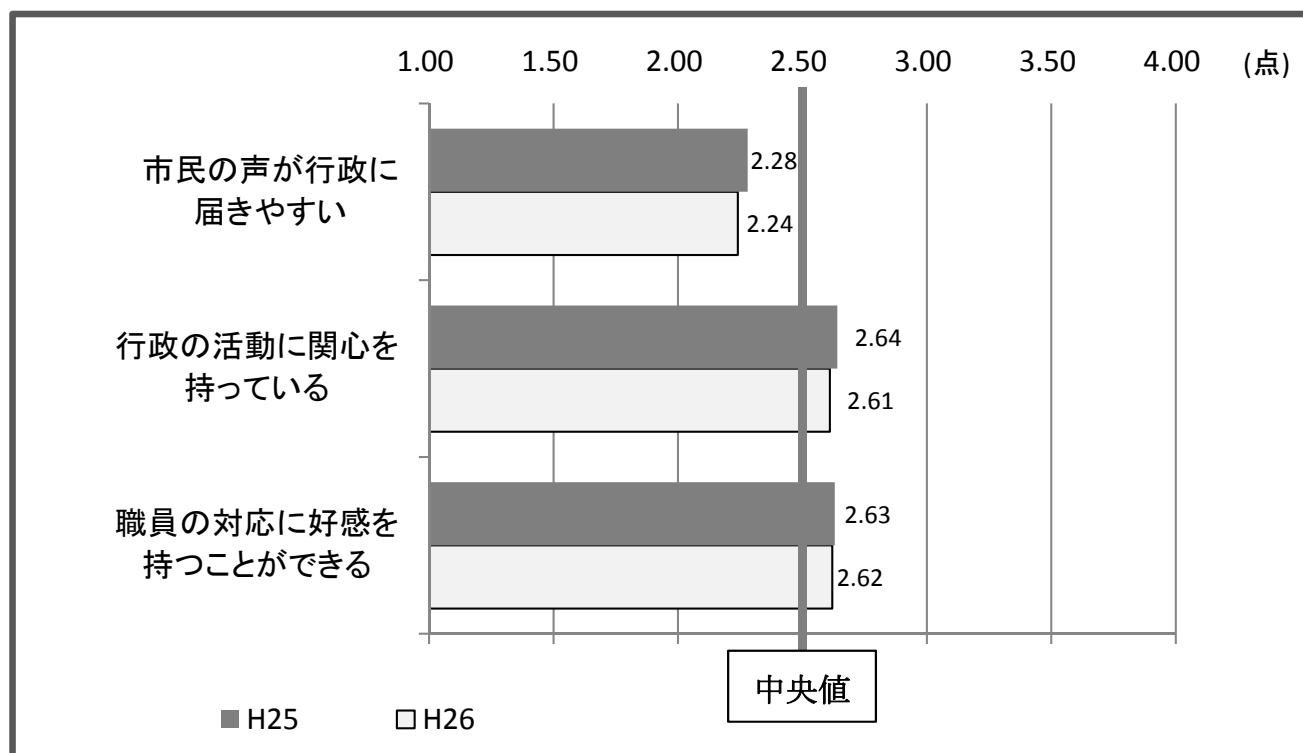
① 経年での比較

1) 平均点による経年比較

■ 評価結果 ■

・中央値2.5以上の項目は「行政の活動に－」「職員の対応に－」であり、2.5未満の項目は「市民の声が－」である。

方針	調査項目	平均点		
		H26年	H25年	差 H26-H25
方針1 質の高い行政経営の実現	市民の声が行政に届きやすい	2.24	2.28	-0.04
	行政の活動に関心を持っている	2.61	2.64	-0.03
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
方針3 窓口サービスの充実	職員の対応に好感を持つことができる	2.62	2.63	-0.01
方針4 広報・広聴の充実	「(8)広報について」に記載			
方針5 人材育成の推進	方針3に含む			



2) 評価保留の割合の経年比較

■評価結果■

・評価保留を示す「わからない」は、「市民の声が行政に－」では30%、「職員の対応に－」では15%を超えている。平成24・25年度も高い数値のため、市民が判断できるほどの水準で周知されていないなどの可能性がある。市民意見の反映状況の周知が求められる。

方針	調査項目	評価保留の割合(%)		
		H26年	H25年	差 H26-H25
方針1 質の高い行政経営の実現	市民の声が行政に届きやすい	30.78	28.25	2.53
	行政の活動に関心を持っている	9.44	8.65	0.79
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった			
方針3 窓口サービスの充実	職員の対応に好感を持つことができる	18.02	15.57	2.45
方針4 広報・広聴の充実	「(8)広報について」に記載			
方針5 人材育成の推進	方針3に含む			

3) 市民全体と受益者の経年比較

「行政について」では、受益者を限定する施策はない。

4) 「市の現状」と「市民の行動」の経年比較

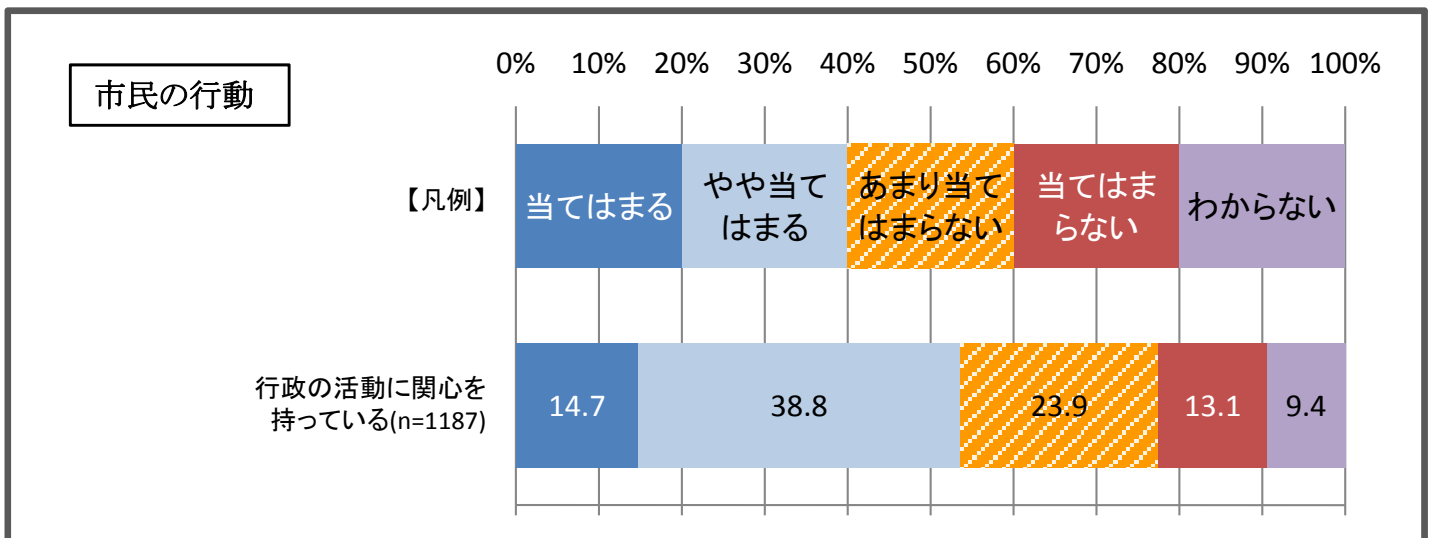
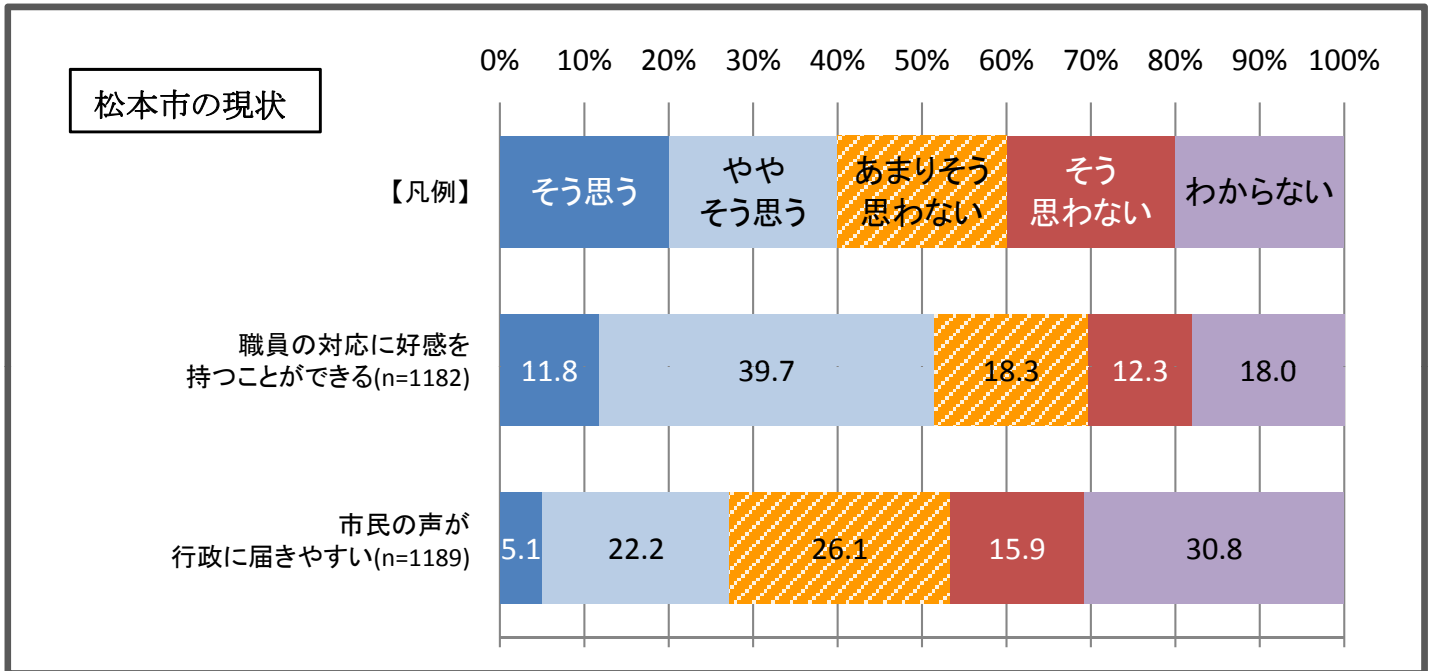
「行政について」では、「市の現状」と「市民の行動」をともに設定した施策はない。

② 今年度調査結果

1) 評価施策別度数分布

■ 評価結果 ■

- ・「職員の対応」「行政の活動に感心」で肯定的評価をしている市民は約半数である。
- ・「市民の声が行政に」は、40%強の市民が否定的、30%強の市民が評価保留という状態であり、市民の声が行政に届きやすいと感じている人は少ない状況である。



2) 今年度実施した調査間の差

「行政について」における、第1回、第2回調査で、統計的有意差がみられた項目はなかった。

(8) 広報について

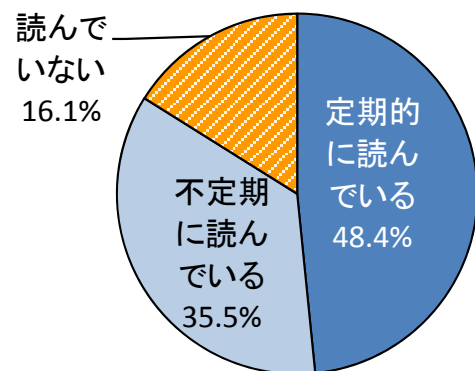
① 広報まつもについて

■ 評価結果 ■

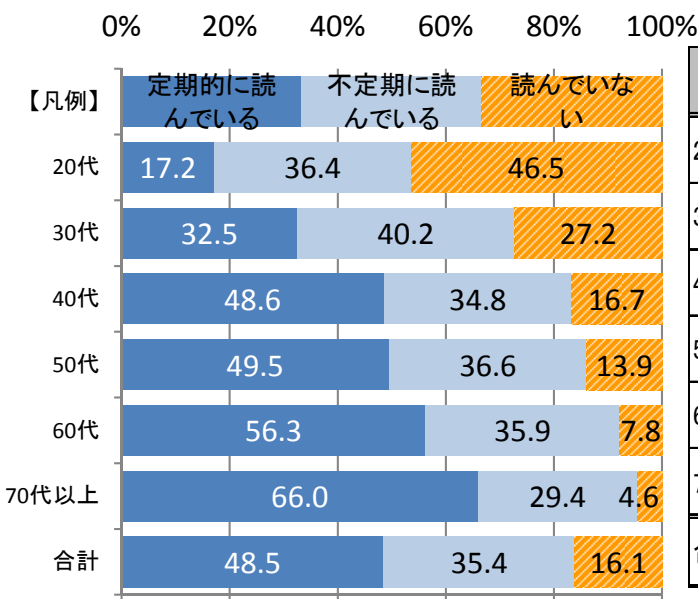
- ・「広報まつも」を定期的に読んでいる人は平成25年度(52.5%)と比較して微減となっているが、市民の約半数が定期的に読み、不定期の人を加えると、市民の80%強が広報まつもを読んでいる状況である。
- ・年代別に見ると、年代が高くなるにつれて読んでいる人が増えている。若年層に関しては、20代で約半数、30代で約30%の人が広報まつもを読んでいる。若年層への効果的な広報活動を検討する必要がある。
- ・「広報まつも」を読んだことがきっかけで、イベントなどに参加したことがある人は約40%で平成25年度とほぼ同等の数値であった。

1) 市の広報紙「広報まつも」を読んでいますか

	回答数	割合(%)
定期的に読んでいる	563	48.4
不定期に読んでいる	413	35.5
読んでいない	187	16.1
合計	1163	100.0



【年代別の状況】

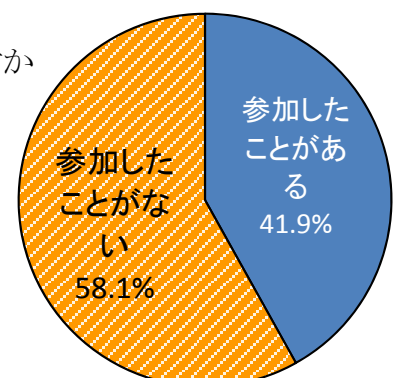


		定期的に読んでいる	不定期に読んでいる	読んでいない	合計
20代	回答数	17	36	46	99
	割合(%)	17.2	36.4	46.5	100.0
30代	回答数	55	68	46	169
	割合(%)	32.5	40.2	27.2	100.0
40代	回答数	102	73	35	210
	割合(%)	48.6	34.8	16.7	100.0
50代	回答数	107	79	30	216
	割合(%)	49.5	36.6	13.9	100.0
60代	回答数	152	97	21	270
	割合(%)	56.3	35.9	7.8	100.0
70代以上	回答数	130	58	9	197
	割合(%)	66.0	29.4	4.6	100.0
合計	回答数	563	411	187	1161
	割合(%)	48.5	35.4	16.1	100.0

2) 「広報まつも」を定期的・不定期に読んでいると回答した方

「広報まつも」をきっかけに、イベントや講座等に参加したことがありますか

	回答数	割合(%)
参加したことがある	403	41.9
参加したことはない	559	58.1
合計	962	100.0



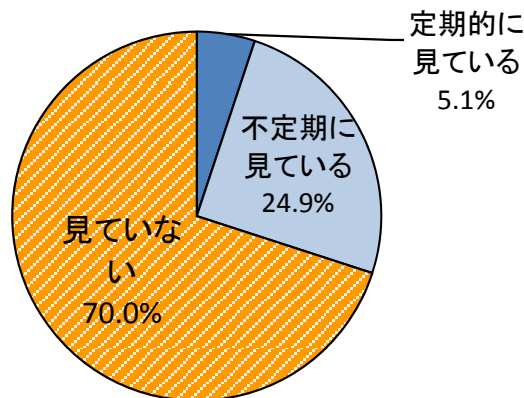
② 市公式ホームページ「くるくるねっとまつもと」とについて

■評価結果■

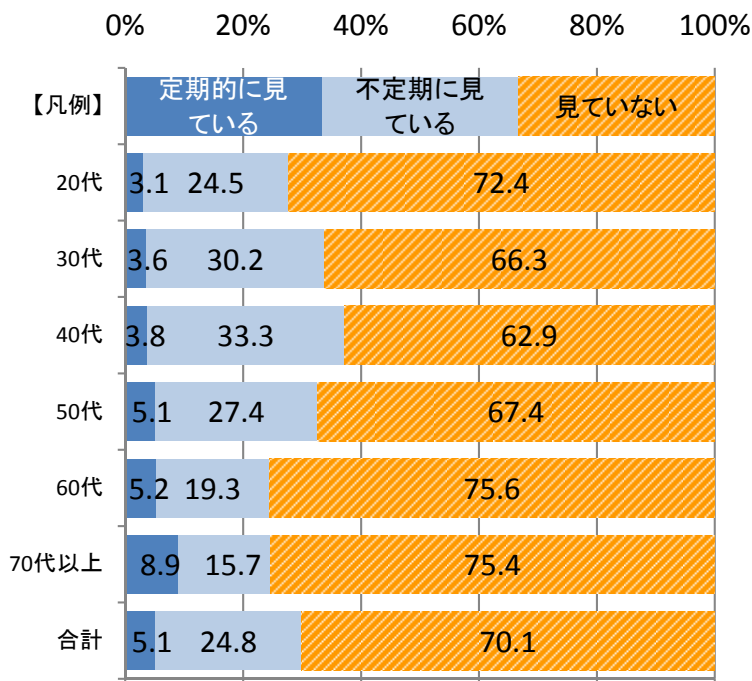
- ・「くるくるねっとまつもと」を定期的に見ている人は約5%であり、見ていない人は約70%を占める。
- ・年代別に見ると、30～50代で閲覧している人が比較的多い。
- ・「くるくるねっとまつもと」を見たことがきっかけで、イベント等に参加したことがある人は約20%であった。

1) 市公式ホームページ「くるくるねっとまつもと」を見ていますか

	回答数	割合(%)
定期的に見ている	59	5.1
不定期に見ている	288	24.9
見ていない	809	70.0
合計	1156	100.0



【年代別の状況】

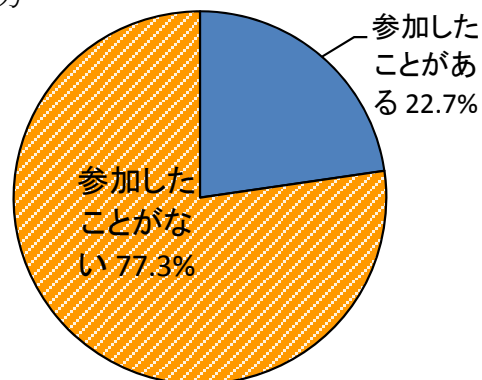


		定期的に見ている	不定期に見ている	見ていない	合計
20代	回答数	3	24	71	98
	割合(%)	3.1	24.5	72.4	100.0
30代	回答数	6	51	112	169
	割合(%)	3.6	30.2	66.3	100.0
40代	回答数	8	70	132	210
	割合(%)	3.8	33.3	62.9	100.0
50代	回答数	11	59	145	215
	割合(%)	5.1	27.4	67.4	100.0
60代	回答数	14	52	204	270
	割合(%)	5.2	19.3	75.6	100.0
70代以上	回答数	17	30	144	191
	割合(%)	8.9	15.7	75.4	100.0
合計	回答数	59	286	808	1153
	割合(%)	5.1	24.8	70.1	100.0

2) 「くるくるねっとまつもと」を定期的・不定期に見ていると回答した方

「くるくるねっとまつもと」をきっかけに、イベントや講座等に参加したことがありますか

	回答数	割合(%)
参加したことがある	77	22.7
参加したことはない	262	77.3
合計	339	100.0



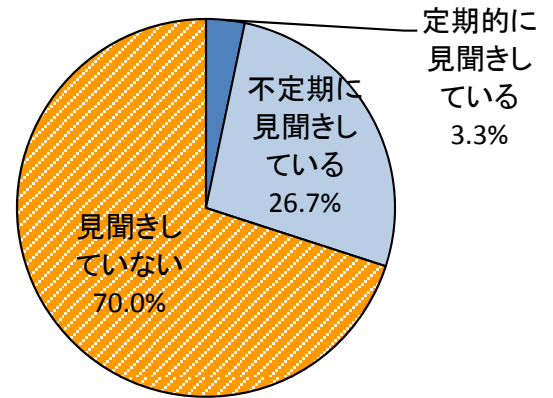
③ 松本市のテレビ・ラジオの市政広報番組について

■ 評価結果 ■

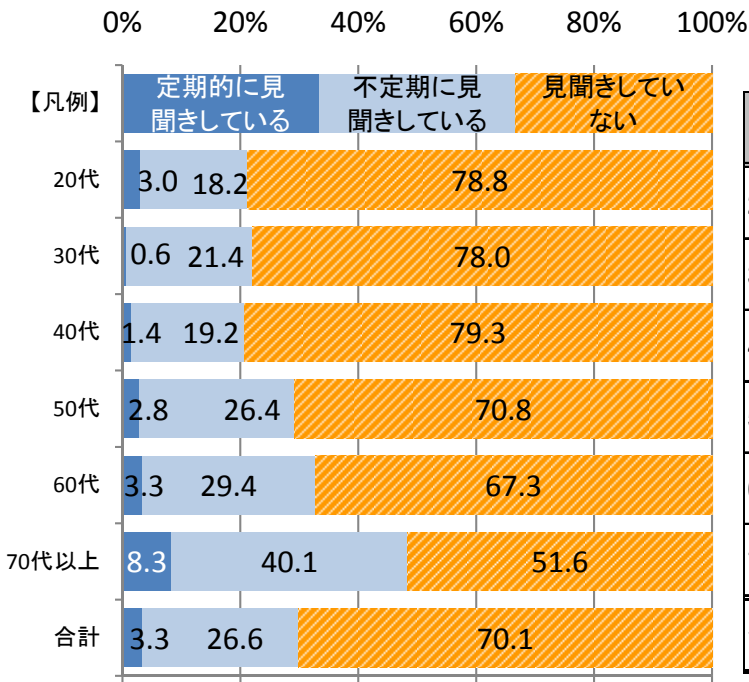
- ・「市政広報番組」を定期的に見ている人は約3%であり、見ていない人は約70%を占める。
- ・年代別に見ると、50～70代以上で閲覧している人が多い。
- ・「市政広報番組」を見たことがきっかけで、イベント等に参加したことがある人は約20%であった。

1) テレビ・ラジオの市政広報番組を見聞きしていますか

	回答数	割合(%)
定期的に見聞きしている	38	3.3
不定期に見聞きしている	308	26.7
見聞きしていない	808	70.0
合計	1154	100.0



【年代別の状況】

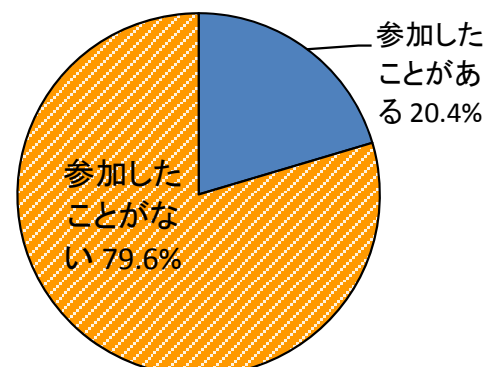


		定期的に見聞きしている	不定期に見聞きしている	見聞きしていない	合計
20代	回答数	3	18	78	99
	割合(%)	3.0	18.2	78.8	100.0
30代	回答数	1	36	131	168
	割合(%)	0.6	21.4	78.0	100.0
40代	回答数	3	40	165	208
	割合(%)	1.4	19.2	79.3	100.0
50代	回答数	6	57	153	216
	割合(%)	2.8	26.4	70.8	100.0
60代	回答数	9	79	181	269
	割合(%)	3.3	29.4	67.3	100.0
70代以上	回答数	16	77	99	192
	割合(%)	8.3	40.1	51.6	100.0
合計	回答数	38	307	807	1152
	割合(%)	3.3	26.6	70.1	100.0

2) 「テレビ・ラジオの市政広報番組」を定期的・不定期に見聞きしていると回答した方

テレビ・ラジオの市政広報番組を見聞きしたことがきっかけで、イベントや講座等に参加したことがありますか

	回答数	割合(%)
参加したことがある	68	20.4
参加したことはない	265	79.6
合計	333	100.0



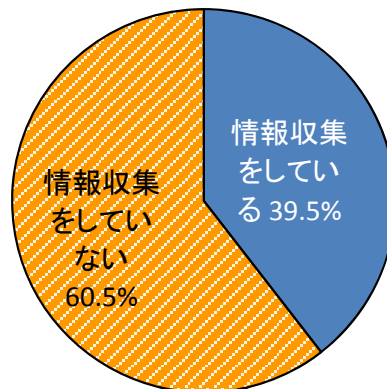
④ 松本市政への理解について

■ 評価結果 ■

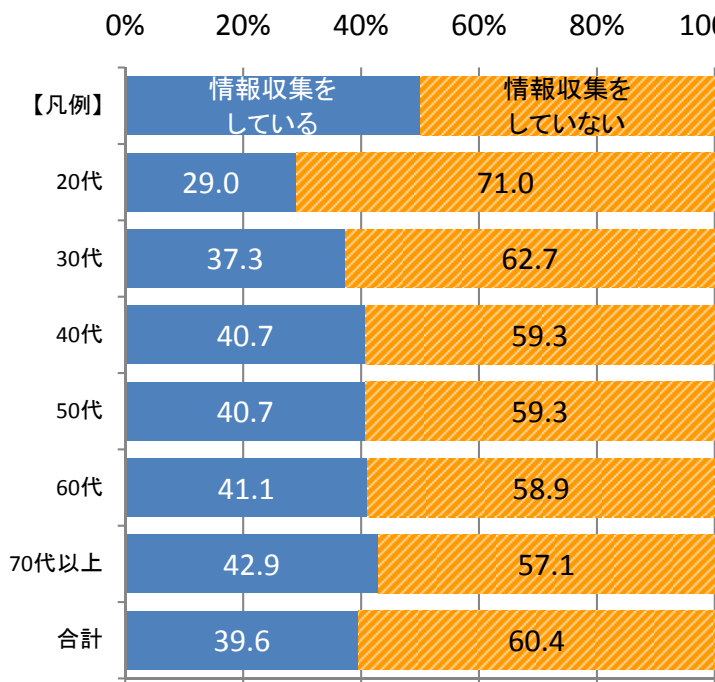
- ・松本市政を理解するために情報収集をしている人は約40%である。
- ・情報収集をするときに活用しているメディアは「広報まつもと」が最も多くなっている。

1) 松本市政を理解するために何らかの情報収集をしていますか

	回答数	割合(%)
情報収集をしている	452	39.5
情報収集をしていない	692	60.5
合計	1144	100.0



【年代別の状況】

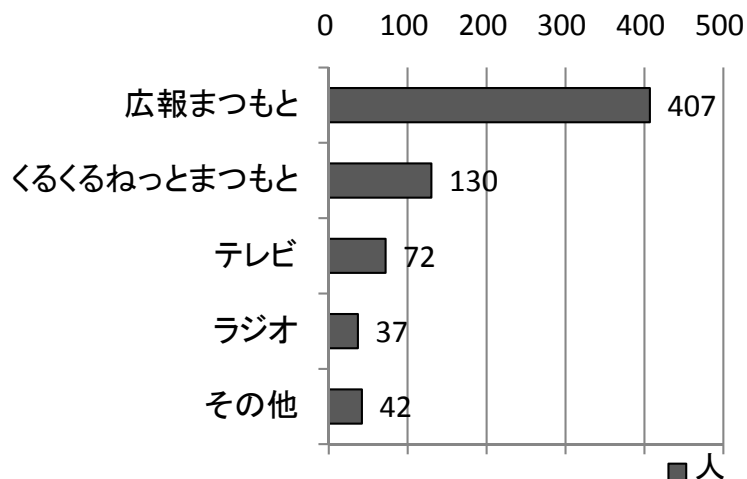


		情報収集をしている	情報収集をしていない	合計
20代	回答数	29	71	100
	割合(%)	29.0	71.0	100.0
30代	回答数	63	106	169
	割合(%)	37.3	62.7	100.0
40代	回答数	85	124	209
	割合(%)	40.7	59.3	100.0
50代	回答数	88	128	216
	割合(%)	40.7	59.3	100.0
60代	回答数	108	155	263
	割合(%)	41.1	58.9	100.0
70代以上	回答数	79	105	184
	割合(%)	42.9	57.1	100.0
合計	回答数	452	689	1141
	割合(%)	39.6	60.4	100.0

2) 情報収集をしていると回答した方

松本市政を理解するために役立っているもの

	回答数
広報まつもと	407
くるくるねっとまつもと	130
テレビ	72
ラジオ	37
その他	42



(9) 出産や子育てについて

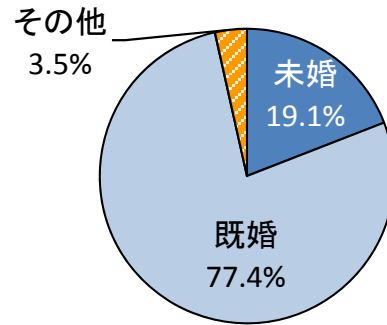
「出産や子育てについて」は今年度第2回調査のみ実施した項目である。

■ 評価結果 ■

- ・20代は男女ともに未婚率が約80%であるが、30代を超えると男女ともに既婚者の方が多くなっている。
- ・未婚の男性は全体の約25%、女性は約15%で、女性の方が10%ほど低くなっている。
- ・「その他」には離婚や同性愛などの理由が含まれる。

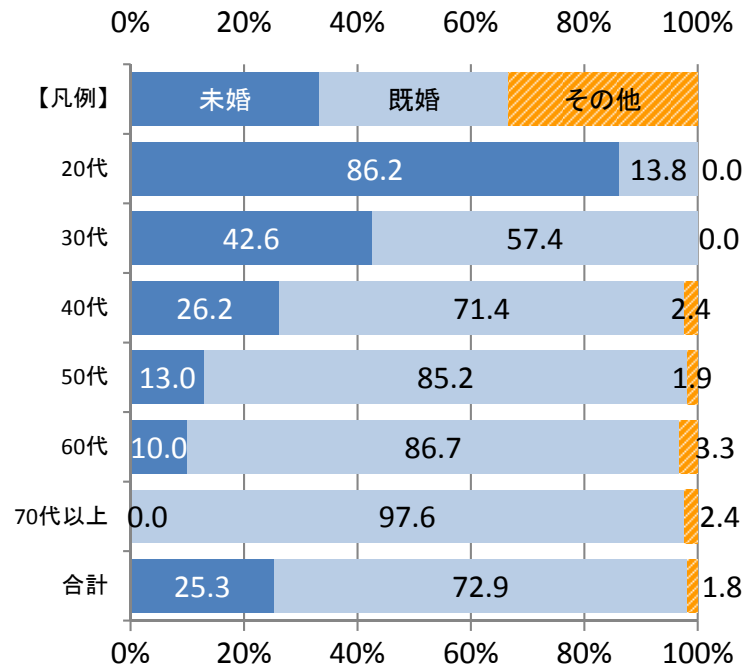
① あなたは未婚ですか？ 既婚ですか？

	回答数	割合(%)
未婚	125	19.1
既婚	506	77.4
その他	23	3.5
合計	654	100.0

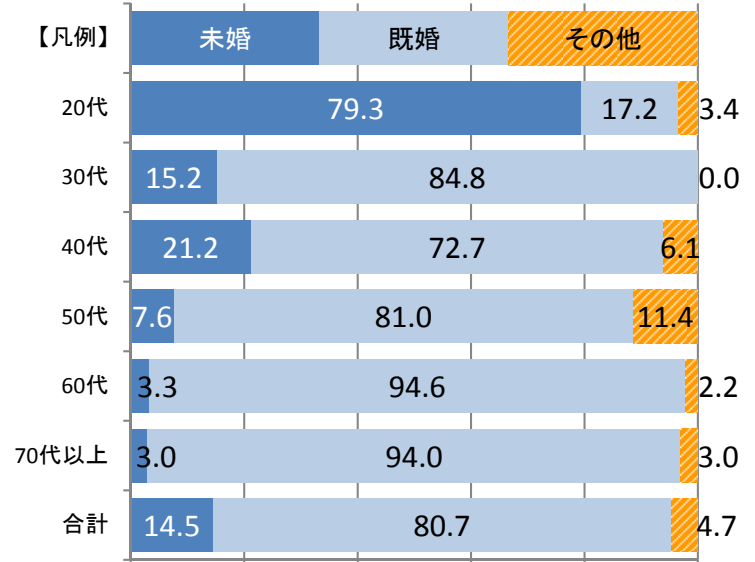


【性別・年代別の状況】

男性		未婚	既婚	その他	合計
20代	回答数	25	4	0	29
	割合(%)	86.2	13.8	0.0	100.0
30代	回答数	20	27	0	47
	割合(%)	42.6	57.4	0.0	100.0
40代	回答数	11	30	1	42
	割合(%)	26.2	71.4	2.4	100.0
50代	回答数	7	46	1	54
	割合(%)	13.0	85.2	1.9	100.0
60代	回答数	6	52	2	60
	割合(%)	10.0	86.7	3.3	100.0
70代以上	回答数	0	40	1	41
	割合(%)	0.0	97.6	2.4	100.0
合計	回答数	69	199	5	273
	割合(%)	25.3	72.9	1.8	100.0



女性		未婚	既婚	その他	合計
20代	回答数	23	5	1	29
	割合(%)	79.3	17.2	3.4	100.0
30代	回答数	7	39	0	46
	割合(%)	15.2	84.8	0.0	100.0
40代	回答数	14	48	4	66
	割合(%)	21.2	72.7	6.1	100.0
50代	回答数	6	64	9	79
	割合(%)	7.6	81.0	11.4	100.0
60代	回答数	3	87	2	92
	割合(%)	3.3	94.6	2.2	100.0
70代以上	回答数	2	63	2	67
	割合(%)	3.0	94.0	3.0	100.0
合計	回答数	55	306	18	379
	割合(%)	14.5	80.7	4.7	100.0



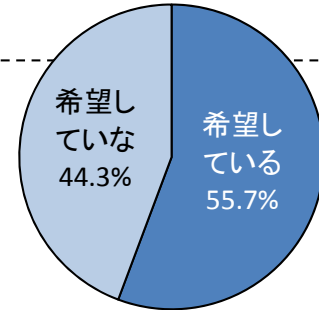
②「①未婚」と回答した人

②-1 結婚を希望されていますか？

■評価結果■

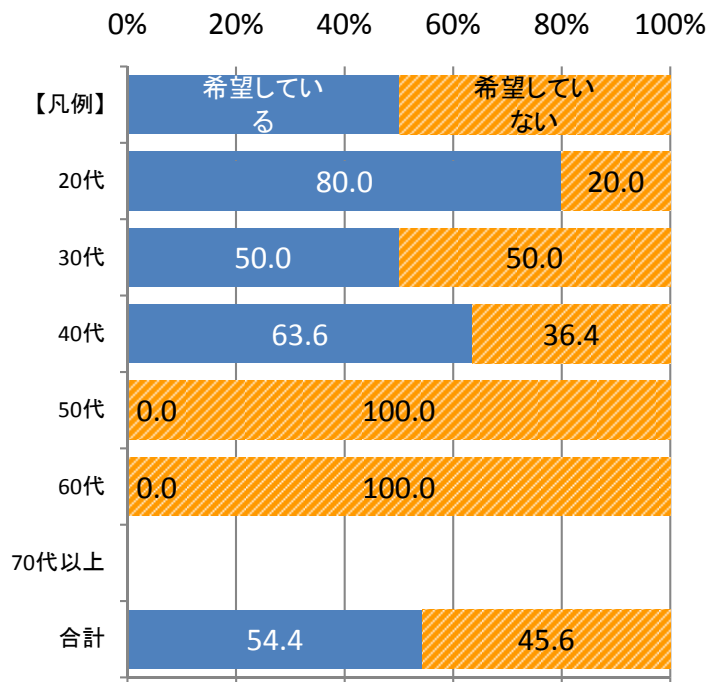
- ・未婚者のうち男女ともに半数以上が結婚を希望しているが、男女ともに20～40代に集中しており、若年層になるにつれて割合が高い傾向にある。
- ・男女間にはさほど差が見られない。

	回答数	割合(%)
希望している	68	55.7
希望していない	54	44.3
合計	122	100.0

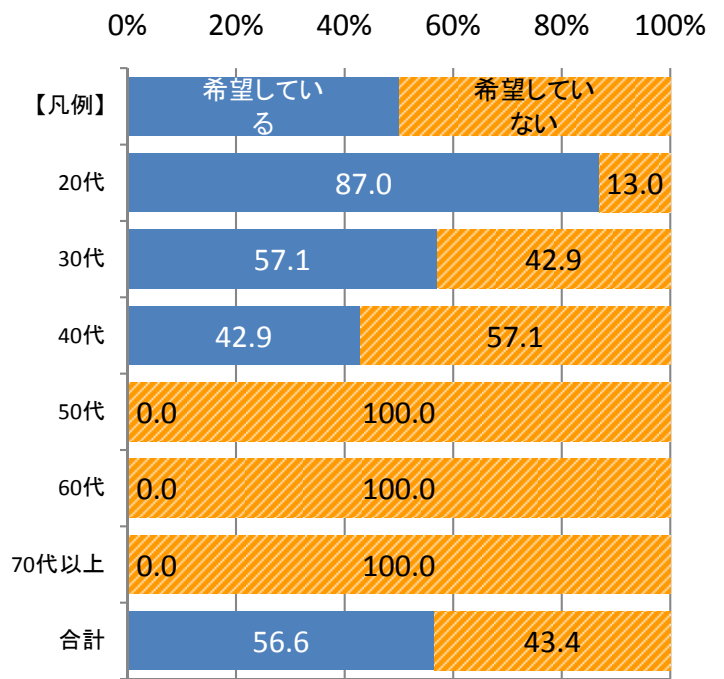


【性別・年代別の状況】

男性		希望している	希望していない	合計
20代	回答数	20	5	25
	割合(%)	80.0	20.0	100.0
30代	回答数	10	10	20
	割合(%)	50.0	50.0	100.0
40代	回答数	7	4	11
	割合(%)	63.6	36.4	100.0
50代	回答数	0	6	6
	割合(%)	0.0	100.0	100.0
60代	回答数	0	6	6
	割合(%)	0.0	100.0	100.0
70代以上	回答数	0	0	0
	割合(%)	0.0	0.0	0.0
合計	回答数	37	31	68
	割合(%)	54.4	45.6	100.0



女性		希望している	希望していない	合計
20代	回答数	20	3	23
	割合(%)	87.0	13.0	100.0
30代	回答数	4	3	7
	割合(%)	57.1	42.9	100.0
40代	回答数	6	8	14
	割合(%)	42.9	57.1	100.0
50代	回答数	0	5	5
	割合(%)	0.0	100.0	100.0
60代	回答数	0	3	3
	割合(%)	0.0	100.0	100.0
70代以上	回答数	0	1	1
	割合(%)	0.0	100.0	100.0
合計	回答数	30	23	53
	割合(%)	56.6	43.4	100.0

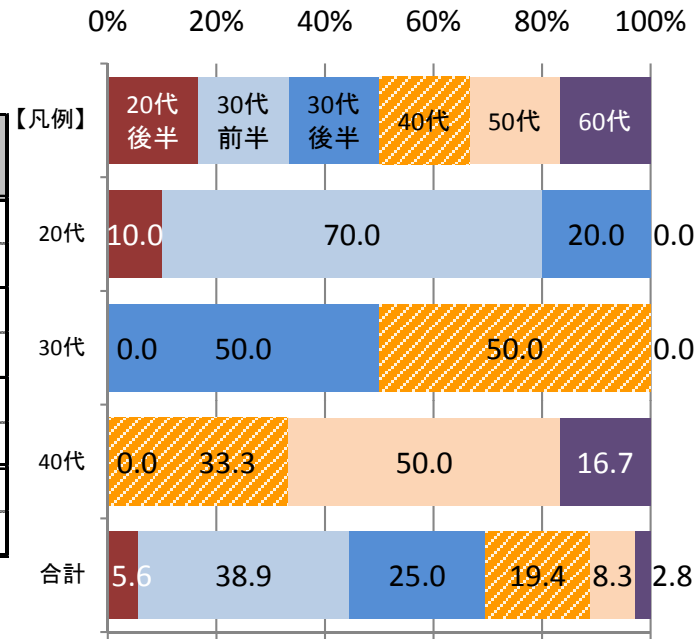


②-2 何歳までに結婚を希望されますか？

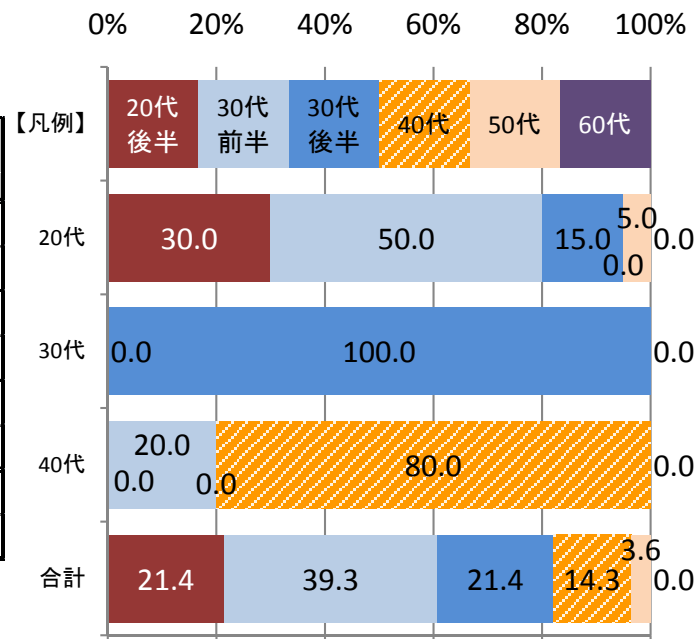
■ 評価結果 ■

・男性は現在の年代もしくは1つ上の年代での結婚を希望している場合がほとんどだが、女性は20代を除き現在の年代で結婚を希望している人がほとんどである。

男性		20代後半	30代前半	30代後半	40代	50代	60代	合計
20代	回答数	2	14	4	0	0	0	20
	割合%	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30代	回答数	0	0	5	5	0	0	10
	割合%	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
40代	回答数	0	0	0	2	3	1	6
	割合%	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	100.0
合計	回答数	2	14	9	7	3	1	36
	割合%	5.6	38.9	25.0	19.4	8.3	2.8	100.0



女性		20代後半	30代前半	30代後半	40代	50代	60代	合計
20代	回答数	6	10	3	0	1	0	20
	割合%	30.0	50.0	15.0	0.0	5.0	0.0	100.0
30代	回答数	0	0	3	0	0	0	3
	割合%	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40代	回答数	0	1	0	4	0	0	5
	割合%	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	100.0
合計	回答数	6	11	6	4	1	0	28
	割合%	21.4	39.3	21.4	14.3	3.6	0.0	100.0

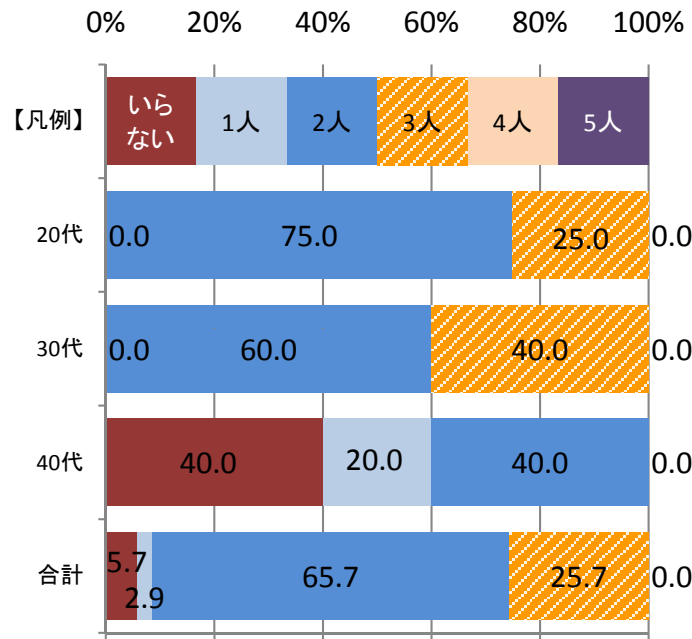


②-3 子どもは何人欲しいですか？

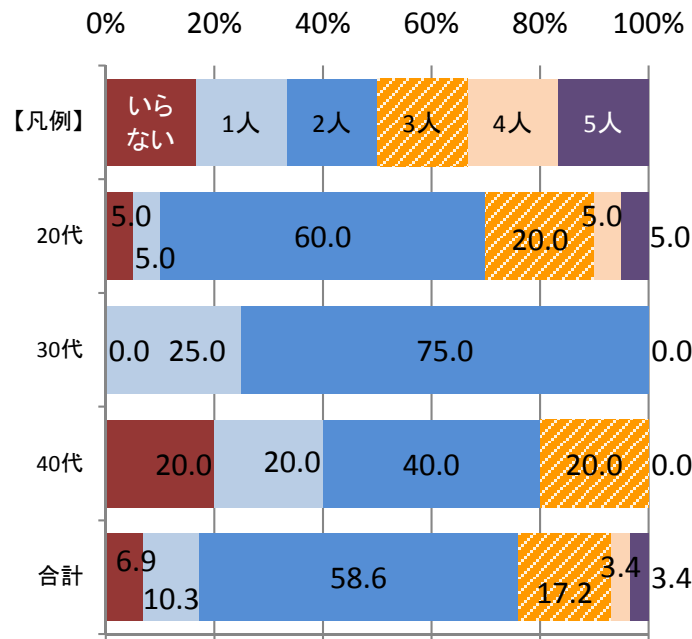
■ 評価結果 ■

- ・男女ともに年代が上がるにつれて子どもが「いない」と回答している層が増え、2人以上欲しいと回答する人の割合が下がっている。
- ・男女とも20代では平均2人以上を希望している。
- ・全体的に見ると、2人を希望する人が男女とも最も多かった。

男性		いない	1人	2人	3人	4人	5人	合計	平均
20代	回答数	0	0	15	5	0	0	20	2.25
	割合%	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	
30代	回答数	0	0	6	4	0	0	10	2.40
	割合%	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	100.0	
40代	回答数	2	1	2	0	0	0	5	1.00
	割合%	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
合計	回答数	2	1	23	9	0	0	35	2.11
	割合%	5.7	2.9	65.7	25.7	0.0	0.0	100.0	



女性		いない	1人	2人	3人	4人	5人	合計	平均
20代	回答数	1	1	12	4	1	1	20	2.30
	割合%	5.0	5.0	60.0	20.0	5.0	5.0	100.0	
30代	回答数	0	1	3	0	0	0	4	1.75
	割合%	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
40代	回答数	1	1	2	1	0	0	5	1.60
	割合%	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0	
合計	回答数	2	3	17	5	1	1	29	2.10
	割合%	6.9	10.3	58.6	17.2	3.4	3.4	100.0	



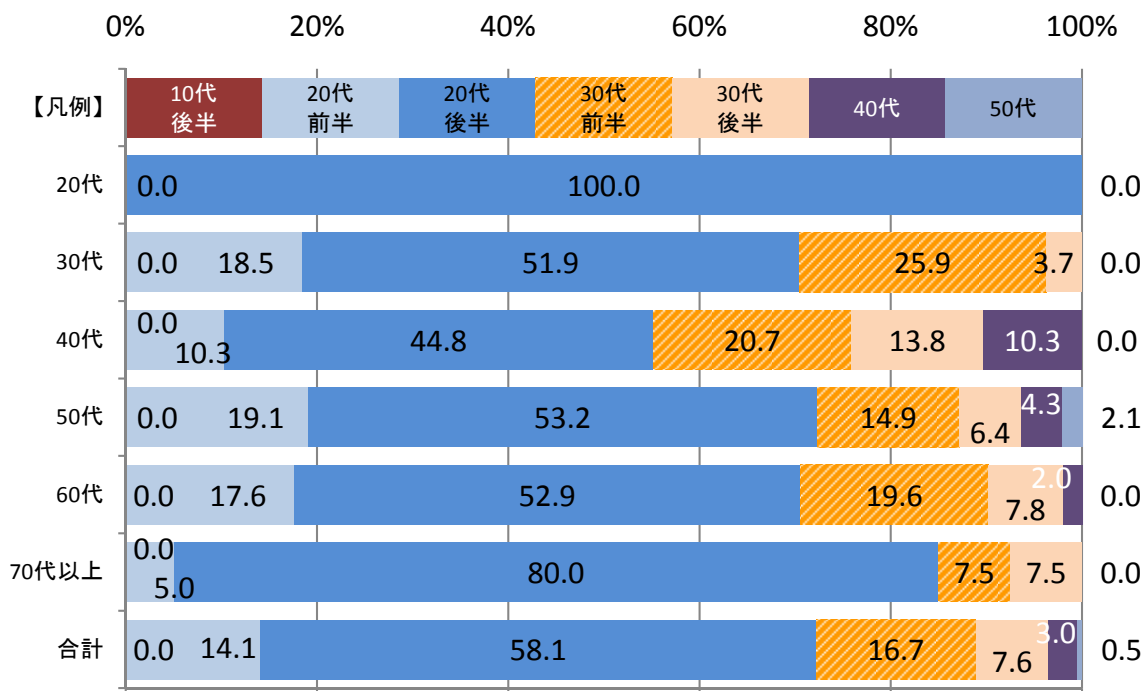
③「②既婚」「③その他」と回答した人

③-1 何歳で結婚されましたか？

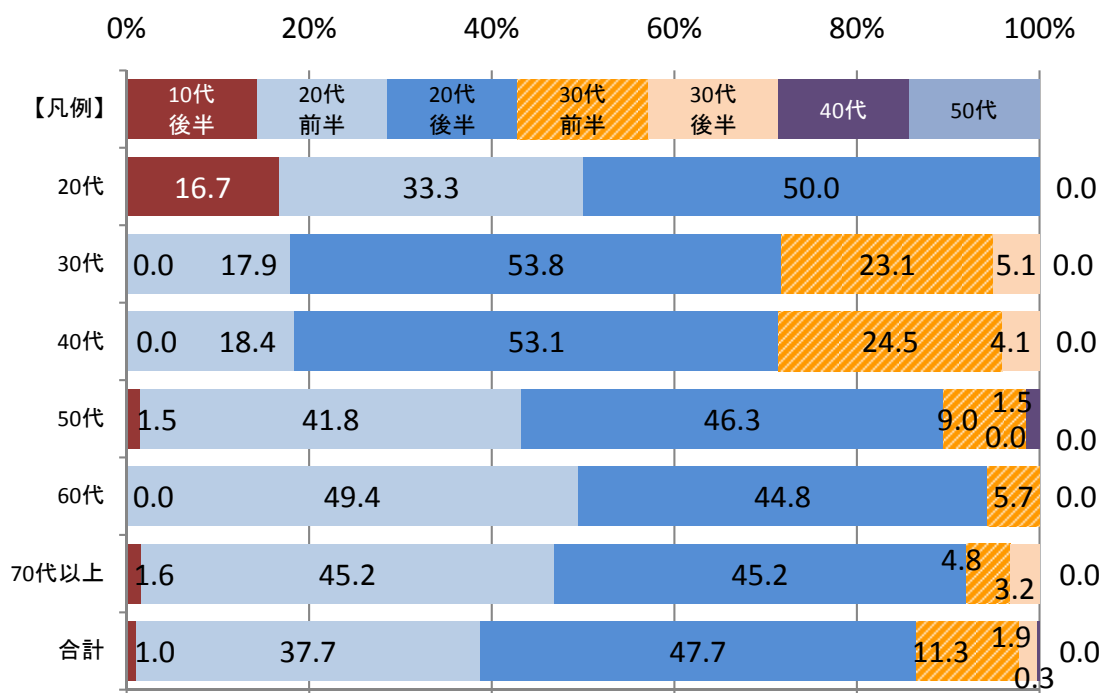
■評価結果■

- ・各年代とも男性より女性のほうが早く(若く)結婚していることがわかる。
- ・30歳までに結婚した人は男性が約70%、女性は80%以上となっている。
- ・回答方法が結婚年齢の記述のみだったため、同性愛の者が回答する方法がなかった。

男性		10代 後半	20代 前半	20代 後半	30代 前半	30代 後半	40代	50代	合計
20代	回答数	0	0	4	0	0	0	0	4
	割合%	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30代	回答数	0	5	14	7	1	0	0	27
	割合%	0.0	18.5	51.9	25.9	3.7	0.0	0.0	100.0
40代	回答数	0	3	13	6	4	3	0	29
	割合%	0.0	10.3	44.8	20.7	13.8	10.3	0.0	100.0
50代	回答数	0	9	25	7	3	2	1	47
	割合%	0.0	19.1	53.2	14.9	6.4	4.3	2.1	100.0
60代	回答数	0	9	27	10	4	1	0	51
	割合%	0.0	17.6	52.9	19.6	7.8	2.0	0.0	100.0
70代 以上	回答数	0	2	32	3	3	0	0	40
	割合%	0.0	5.0	80.0	7.5	7.5	0.0	0.0	100.0
合計	回答数	0	28	115	33	15	6	1	198
	割合%	0.0	14.1	58.1	16.7	7.6	3.0	0.5	100.0



女性		10代 後半	20代 前半	20代 後半	30代 前半	30代 後半	40代	50代	合計
20代	回答数	1	2	3	0	0	0	0	6
	割合%	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30代	回答数	0	7	21	9	2	0	0	39
	割合%	0.0	17.9	53.8	23.1	5.1	0.0	0.0	100.0
40代	回答数	0	9	26	12	2	0	0	49
	割合%	0.0	18.4	53.1	24.5	4.1	0.0	0.0	100.0
50代	回答数	1	28	31	6	0	1	0	67
	割合%	1.5	41.8	46.3	9.0	0.0	1.5	0.0	100.0
60代	回答数	0	43	39	5	0	0	0	87
	割合%	0.0	49.4	44.8	5.7	0.0	0.0	0.0	100.0
70代 以上	回答数	1	28	28	3	2	0	0	62
	割合%	1.6	45.2	45.2	4.8	3.2	0.0	0.0	100.0
合計	回答数	3	117	148	35	6	1	0	310
	割合%	1.0	37.7	47.7	11.3	1.9	0.3	0.0	100.0



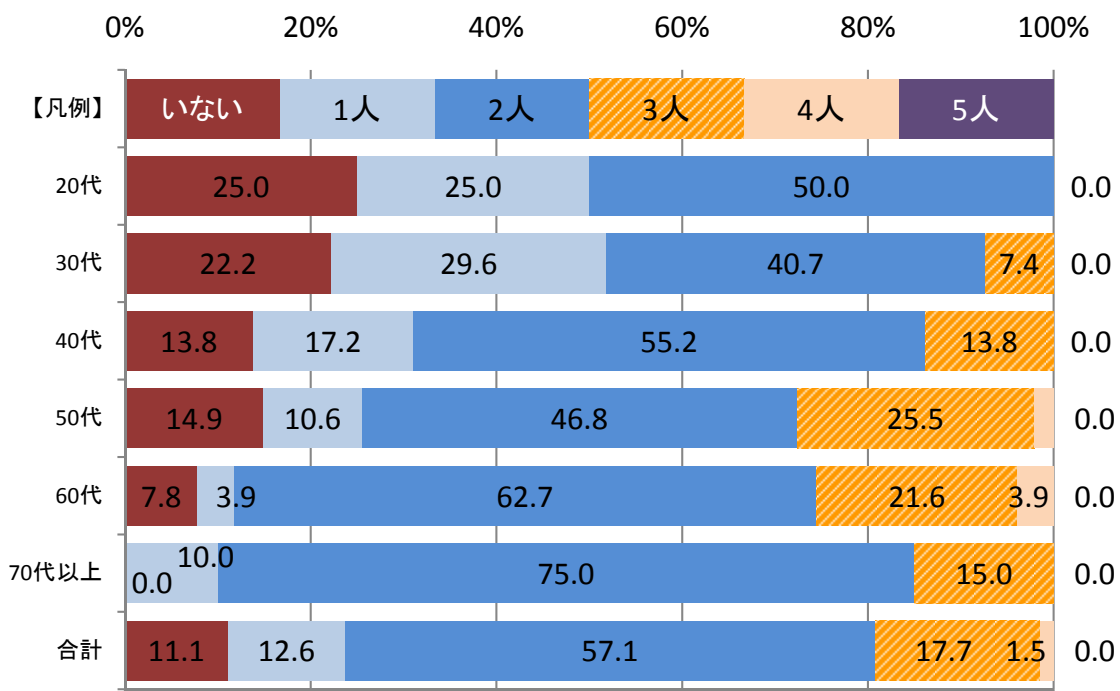
③-2 子どもは何人いらっしゃいますか？

■ 評価結果 ■

- ・男女ともに年代が上がるにつれて子どもがいない人の割合が小さくなり、子どもの数の平均は上がっていることがわかる。
- ・男性より女性のほうが「子どもがいない」の比率が小さい。

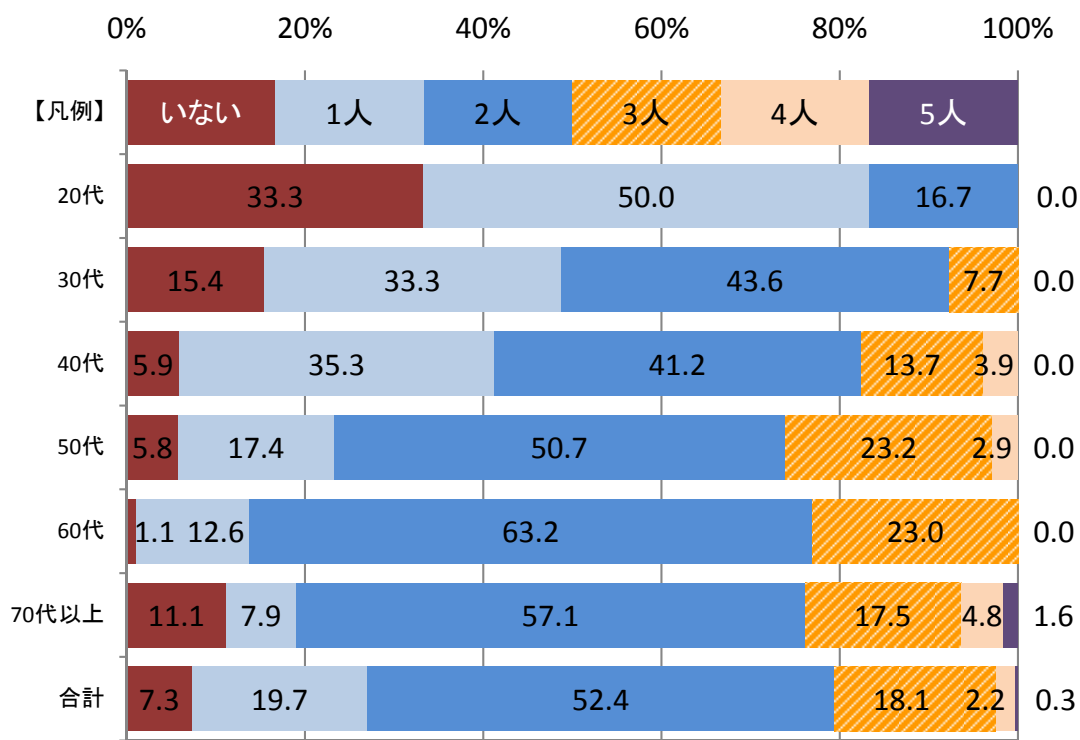
男性		いない	1人	2人	3人	4人	5人	合計	平均
20代	回答数	1	1	2	0	0	0	4	1.25
	割合%	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
30代	回答数	6	8	11	2	0	0	27	1.33
	割合%	22.2	29.6	40.7	7.4	0.0	0.0	100.0	
40代	回答数	4	5	16	4	0	0	29	1.69
	割合%	13.8	17.2	55.2	13.8	0.0	0.0	100.0	
50代	回答数	7	5	22	12	1	0	47	1.89
	割合%	14.9	10.6	46.8	25.5	2.1	0.0	100.0	
60代	回答数	4	2	32	11	2	0	51	2.10
	割合%	7.8	3.9	62.7	21.6	3.9	0.0	100.0	
70代以上	回答数	0	4	30	6	0	0	40	2.05
	割合%	0.0	10.0	75.0	15.0	0.0	0.0	100.0	
合計	回答数	22	25	113	35	3	0	198	1.86
	割合%	11.1	12.6	57.1	17.7	1.5	0.0	100.0	

※「平均」は(回答数×子どもの数)/回答数の合計で算出



女性		いない	1人	2人	3人	4人	5人	合計	平均
20代	回答数	2	3	1	0	0	0	6	0.83
	割合%	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
30代	回答数	6	13	17	3	0	0	39	1.44
	割合%	15.4	33.3	43.6	7.7	0.0	0.0	100.0	
40代	回答数	3	18	21	7	2	0	51	1.75
	割合%	5.9	35.3	41.2	13.7	3.9	0.0	100.0	
50代	回答数	4	12	35	16	2	0	69	2.00
	割合%	5.8	17.4	50.7	23.2	2.9	0.0	100.0	
60代	回答数	1	11	55	20	0	0	87	2.08
	割合%	1.1	12.6	63.2	23.0	0.0	0.0	100.0	
70代 以上	回答数	7	5	36	11	3	1	63	2.02
	割合%	11.1	7.9	57.1	17.5	4.8	1.6	100.0	
合計	回答数	23	62	165	57	7	1	315	1.89
	割合%	7.3	19.7	52.4	18.1	2.2	0.3	100.0	

※「平均」は(回答数×子どもの数)/回答数の合計で算出



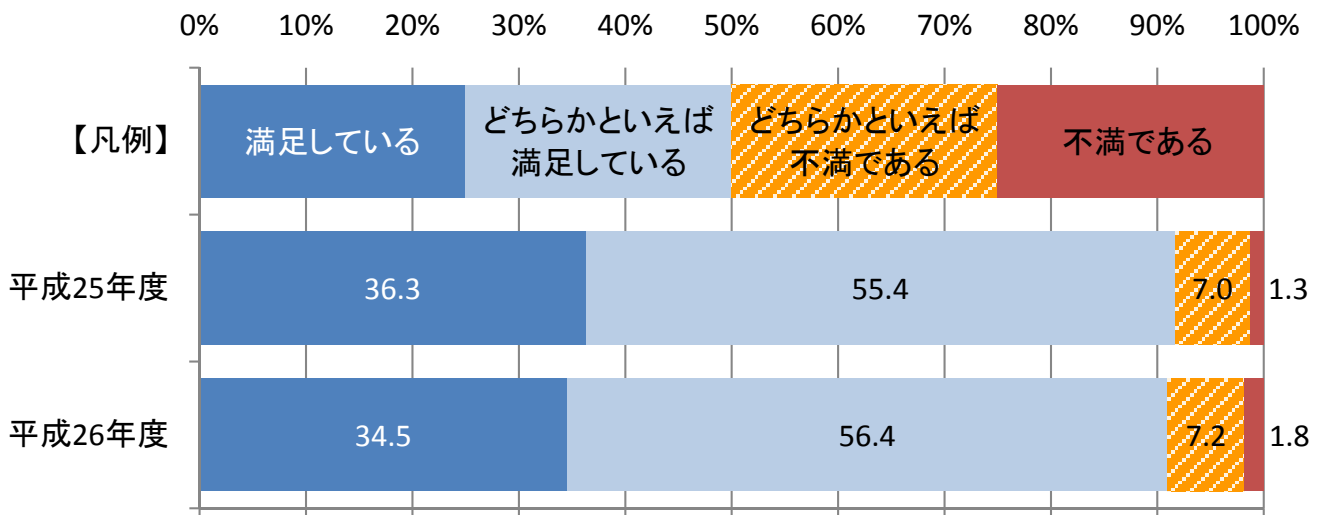
5. 総合的な満足度と居住継続意向に対する評価結果

(1) 松本市での暮らしに対する満足度

■ 評価結果 ■

- ・松本市での暮らしに関する満足度は平成25年度と同様、全体の90%強が肯定的な評価をしており、多くの市民が満足していることがわかる
- ・今年度の調査結果を年代別に見ると、30代で肯定的な評価が若干低くなっているが、全体的に年代が上がるにつれて評価が高くなっている。
- ・職業別には「アルバイト・パート」の「満足している」の割合が低くなっているが、全体的に約90%が肯定的な評価をしている。

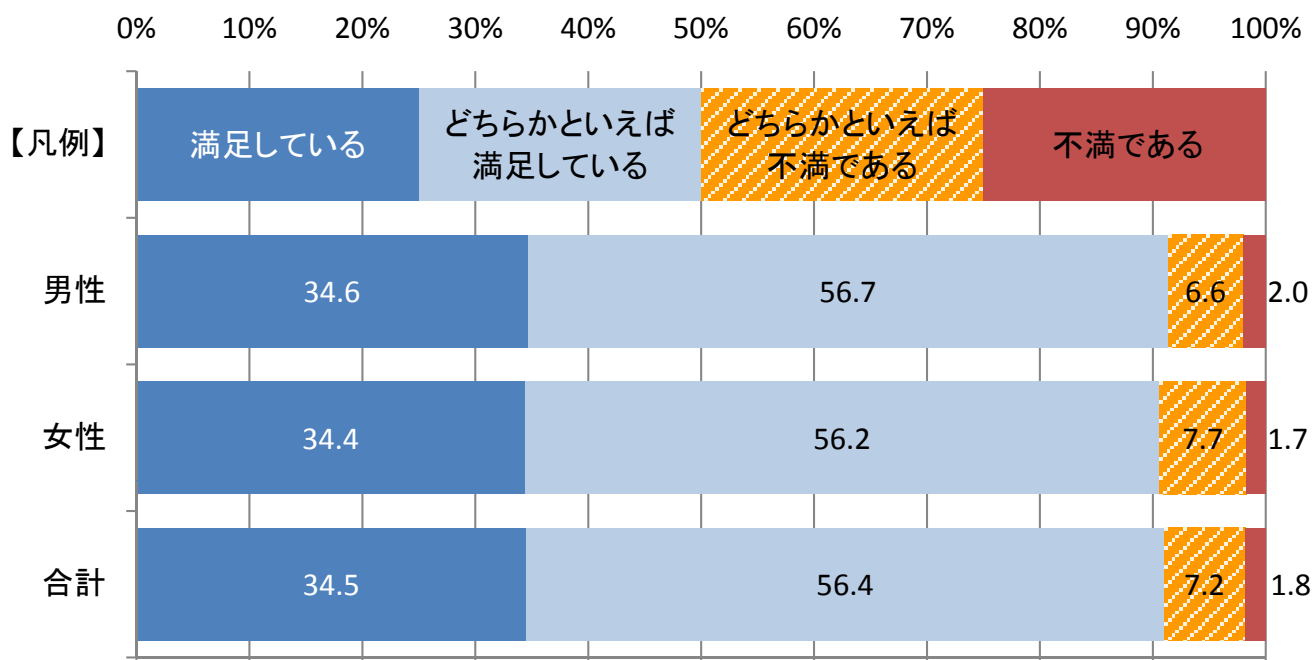
① 経年での比較



		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
平成25年度	回答数	673	1028	129	25	1855
	割合(%)	36.3	55.4	7.0	1.3	100.0
平成26年度	回答数	416	680	87	22	1205
	割合(%)	34.5	56.4	7.2	1.8	100.0

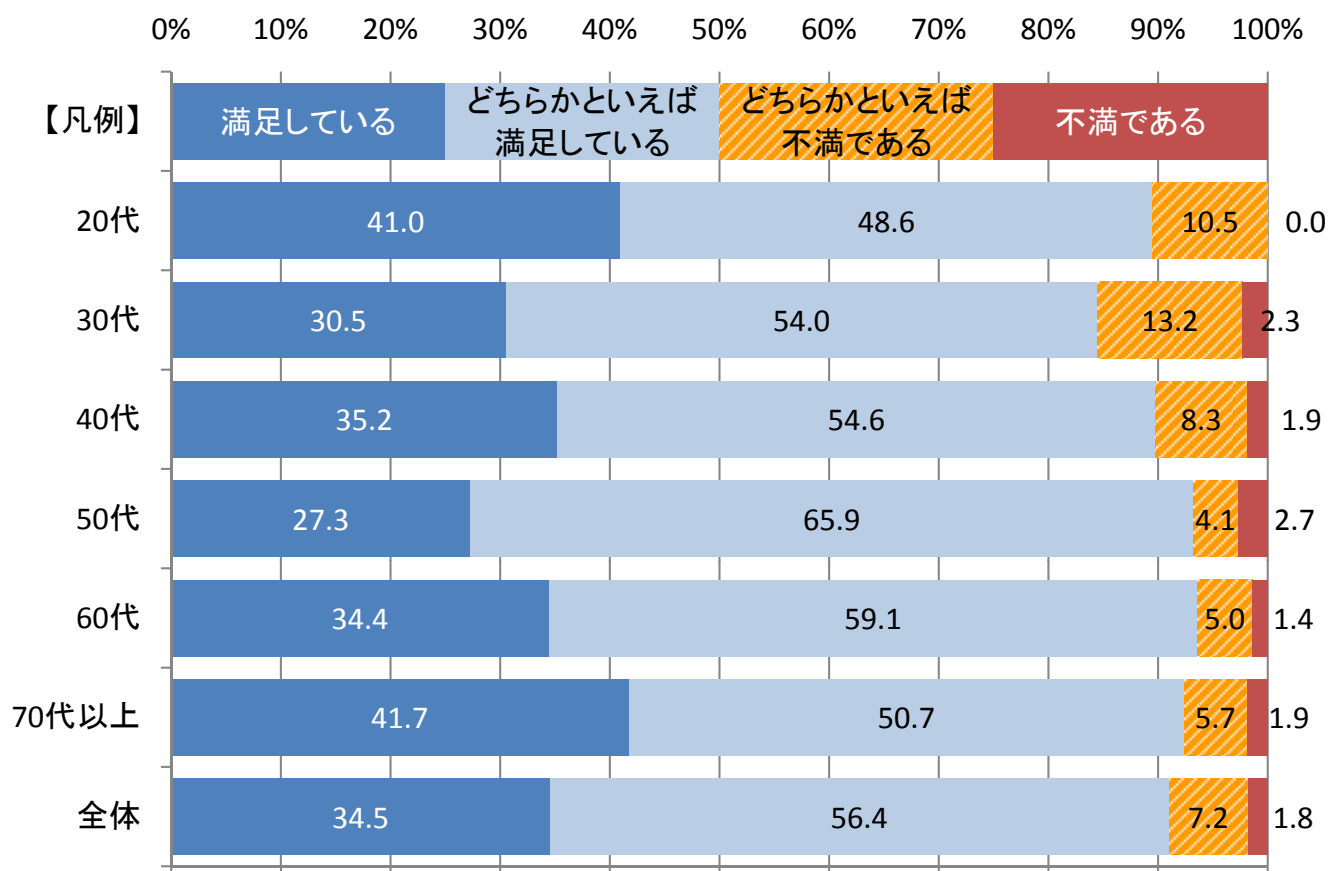
② 今年度調査結果

1) 性別別満足度



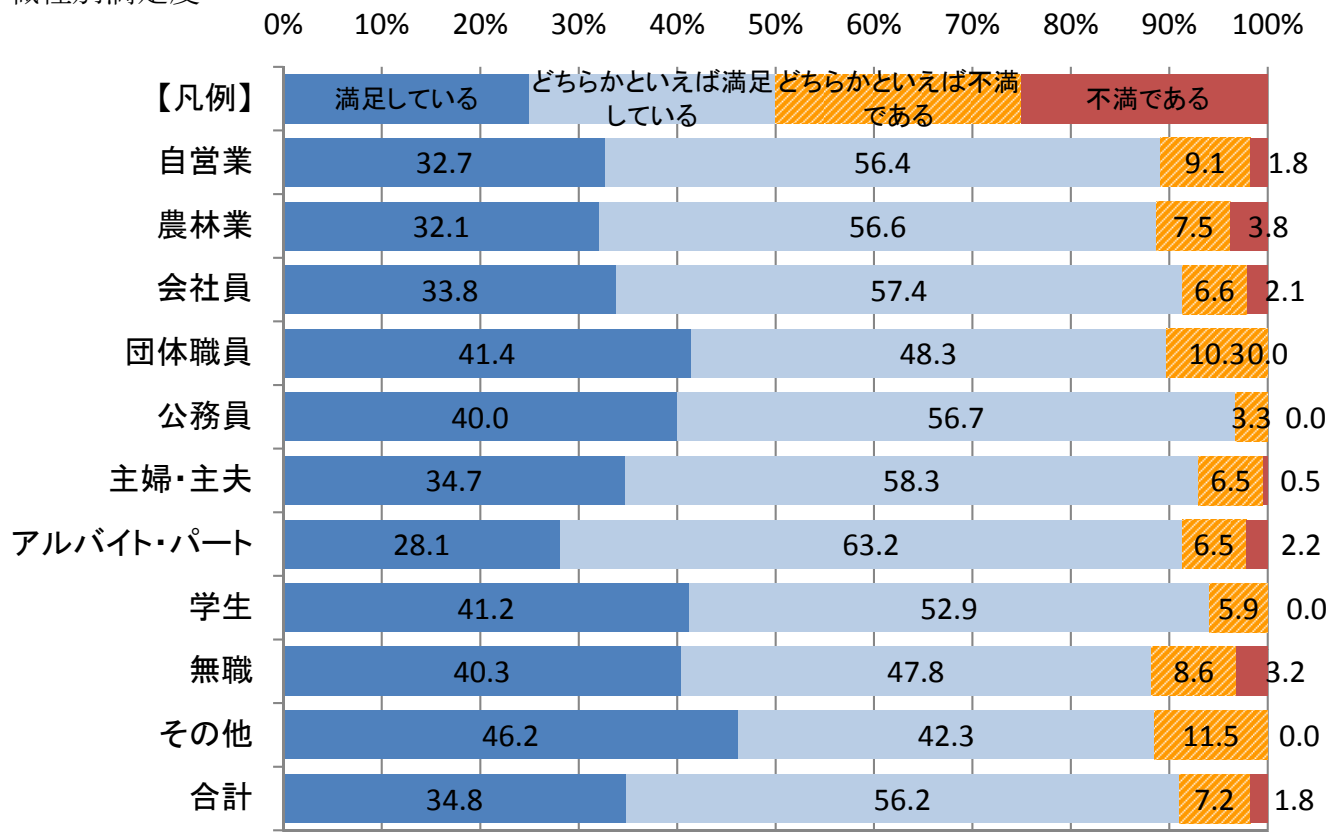
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
男性	回答数	188	308	36	11	543
	割合(%)	34.6	56.7	6.6	2.0	100.0
女性	回答数	228	372	51	11	662
	割合(%)	34.4	56.2	7.7	1.7	100.0
合計	回答数	416	680	87	22	1205
	割合(%)	34.5	56.4	7.2	1.8	100.0

2) 年代別満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
20代	回答数	43	51	11	0	105
	割合(%)	41.0	48.6	10.5	0.0	100.0
30代	回答数	53	94	23	4	174
	割合(%)	30.5	54.0	13.2	2.3	100.0
40代	回答数	76	118	18	4	216
	割合(%)	35.2	54.6	8.3	1.9	100.0
50代	回答数	60	145	9	6	220
	割合(%)	27.3	65.9	4.1	2.7	100.0
60代	回答数	96	165	14	4	279
	割合(%)	34.4	59.1	5.0	1.4	100.0
70代以上	回答数	88	107	12	4	211
	割合(%)	41.7	50.7	5.7	1.9	100.0
合計	回答数	416	680	87	22	1205
	割合(%)	34.5	56.4	7.2	1.8	100.0

3) 職種別満足度



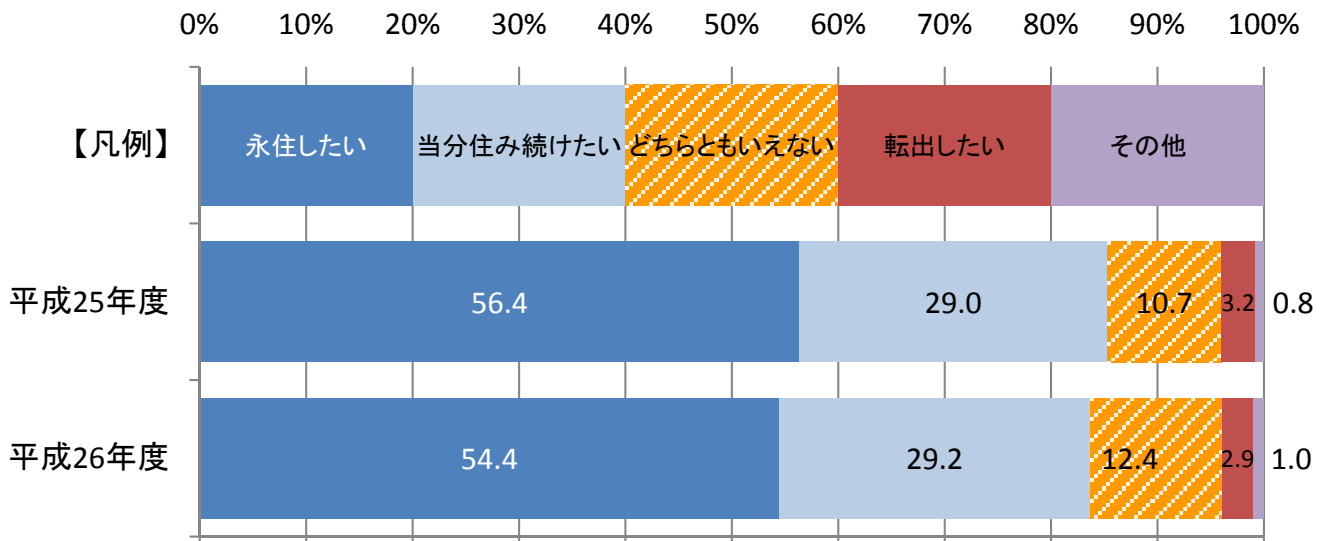
満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
自営業	回答数	36	62	10	2	110
	割合(%)	32.7	56.4	9.1	1.8	100.0
農林業	回答数	17	30	4	2	53
	割合(%)	32.1	56.6	7.5	3.8	100.0
会社員	回答数	112	190	22	7	331
	割合(%)	33.8	57.4	6.6	2.1	100.0
団体職員	回答数	12	14	3	0	29
	割合(%)	41.4	48.3	10.3	0.0	100.0
公務員	回答数	24	34	2	0	60
	割合(%)	40.0	56.7	3.3	0.0	100.0
主婦・主夫	回答数	69	116	13	1	199
	割合(%)	34.7	58.3	6.5	0.5	100.0
アルバイト・パート	回答数	52	117	12	4	185
	割合(%)	28.1	63.2	6.5	2.2	100.0
学生	回答数	7	9	1	0	17
	割合(%)	41.2	52.9	5.9	0.0	100.0
無職	回答数	75	89	16	6	186
	割合(%)	40.3	47.8	8.6	3.2	100.0
その他	回答数	12	11	3	0	26
	割合(%)	46.2	42.3	11.5	0.0	100.0
合計	回答数	416	672	86	22	1196
	割合(%)	34.8	56.2	7.2	1.8	100.0

(2) 松本市での将来的な居住継続意向

■ 評価結果 ■

- ・松本市での将来的な居住継続意向では、平成25年度と同様、全体の約85%が住み続けたいと回答しており、多くの市民が継続居住を希望していることがわかる。転居意向を示しているのは約3%であり、極めて少数と言える。
- ・今年度の調査結果を年代別に見ると、年代が上がるにつれて居住継続意向が高くなり、転居意向を示している比率が小さくなっていることがわかる。
- ・職業別には、「農林業」の居住継続意向の比率が高い。これはその土地が生業に結びついている事が大きいと考えられる。「無職」の比率も高いが、無職の多くは高齢者であるため、年代の違いによる影響と考えられる。「学生」では「どちらともいえない」の比率が高くなっているが、サンプル数が少ないことによるばらつきおよび就職による転居の可能性を考慮した回答であると考えられる。

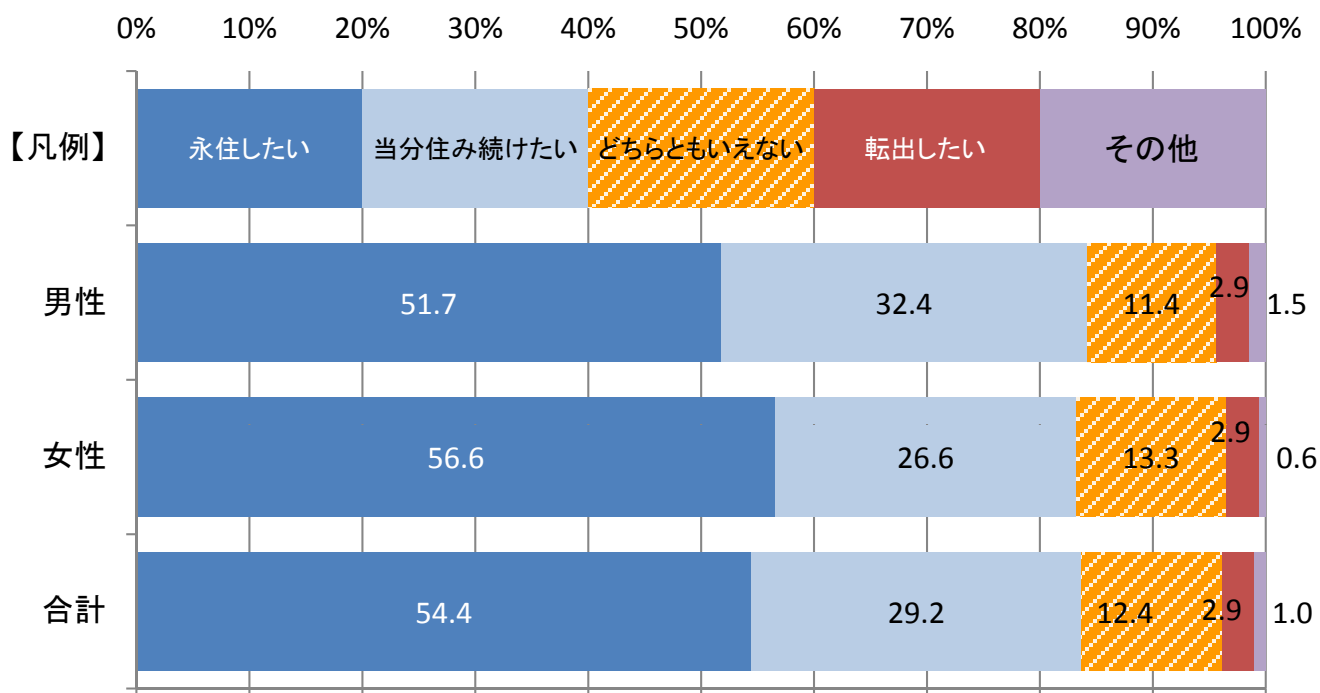
① 経年での比較



居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	合計
平成25年度	回答数	1052	540	199	59	14	1864
	割合(%)	56.4	29.0	10.7	3.2	0.8	100.0
平成26年度	回答数	656	352	150	35	12	1205
	割合(%)	54.4	29.2	12.4	2.9	1.0	100.0

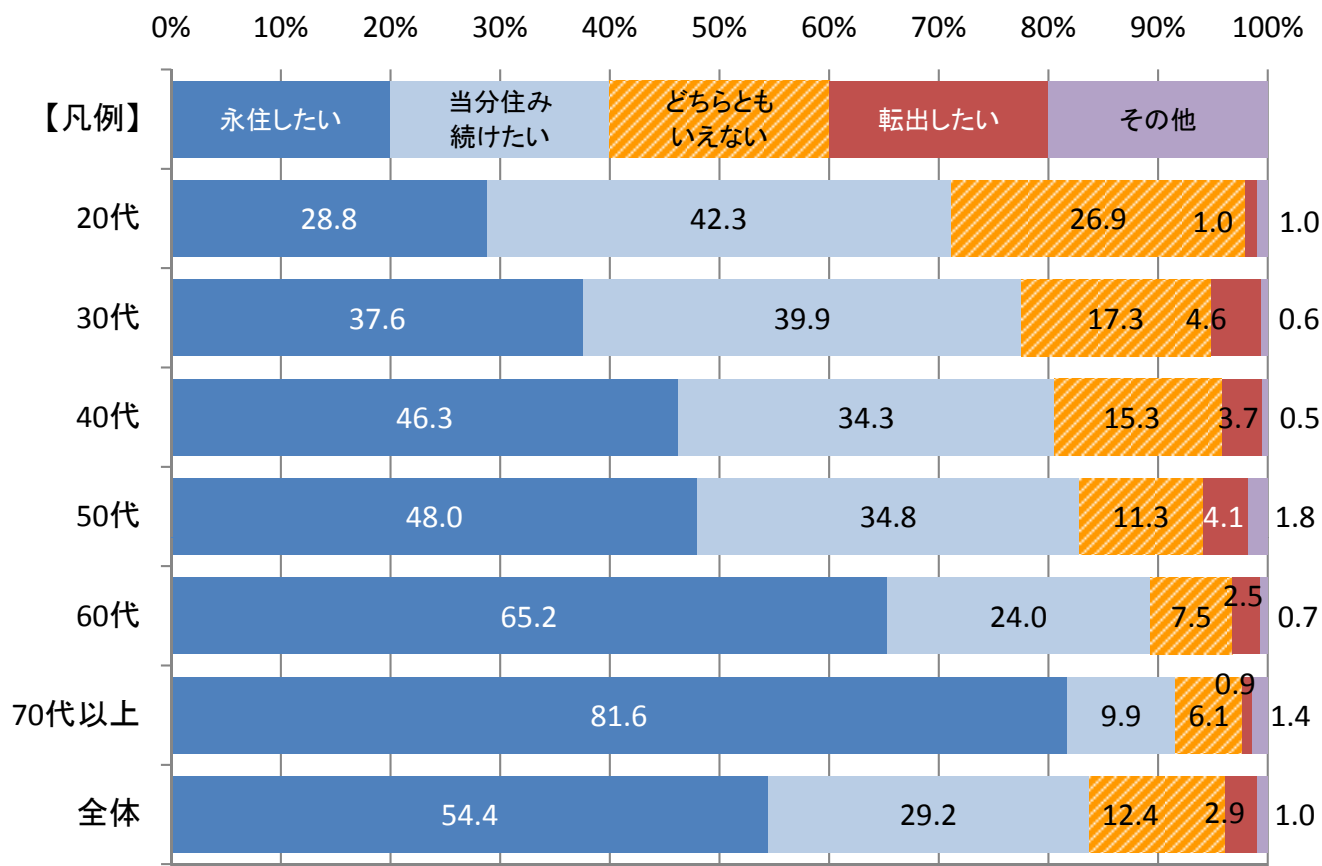
② 今年度調査結果

1) 性別別満足度



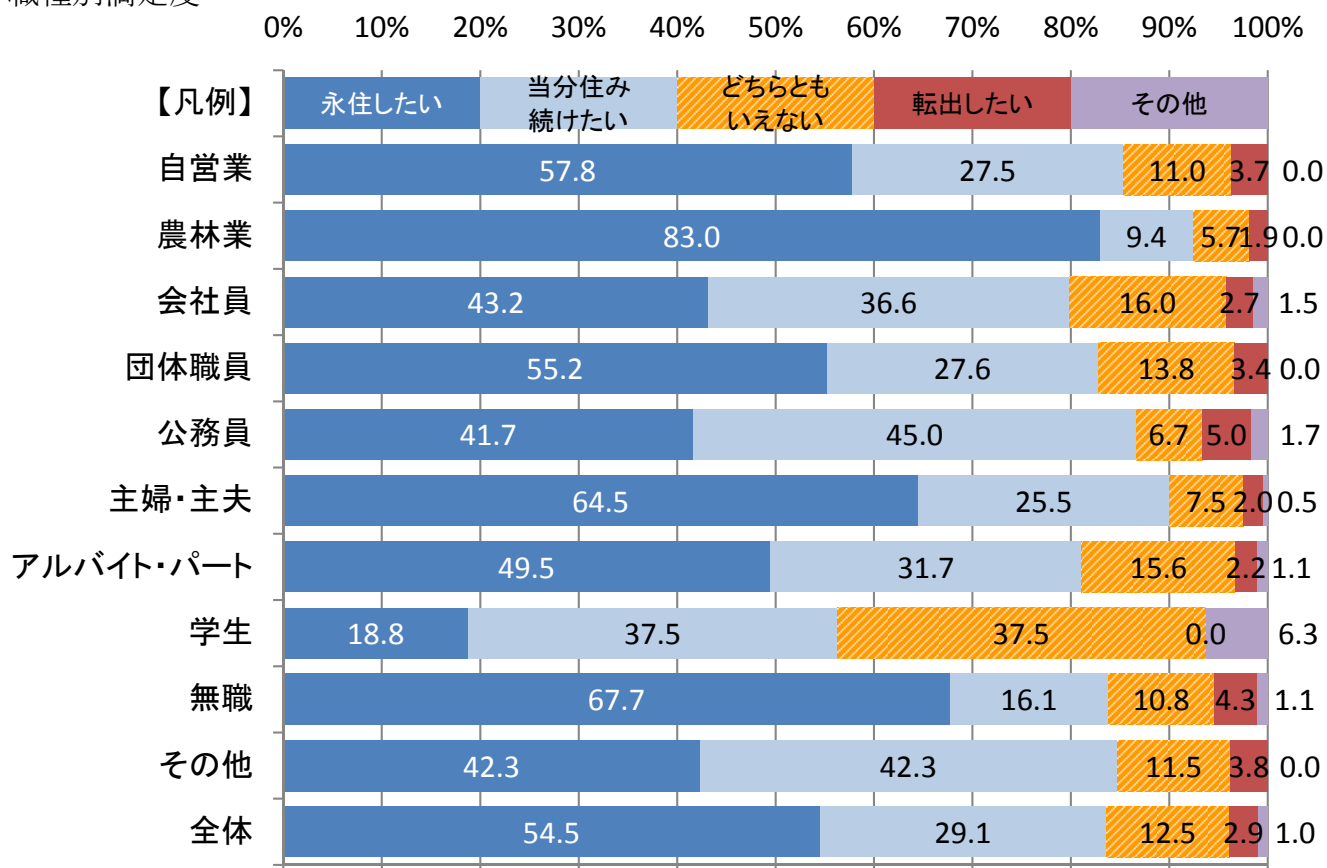
居住意向		永住したい	当分住み 続けたい	どちらとも いえない	転出したい	その他	合計
男性	回答数	281	176	62	16	8	543
	割合(%)	51.7	32.4	11.4	2.9	1.5	100.0
女性	回答数	375	176	88	19	4	662
	割合(%)	56.6	26.6	13.3	2.9	0.6	100.0
合計	回答数	656	352	150	35	12	1205
	割合(%)	54.4	29.2	12.4	2.9	1.0	100.0

2) 年代別満足度



居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	合計
20代	回答数	30	44	28	1	1	104
	割合(%)	28.8	42.3	26.9	1.0	1.0	100.0
30代	回答数	65	69	30	8	1	173
	割合(%)	37.6	39.9	17.3	4.6	0.6	100.0
40代	回答数	100	74	33	8	1	216
	割合(%)	46.3	34.3	15.3	3.7	0.5	100.0
50代	回答数	106	77	25	9	4	221
	割合(%)	48.0	34.8	11.3	4.1	1.8	100.0
60代	回答数	182	67	21	7	2	279
	割合(%)	65.2	24.0	7.5	2.5	0.7	100.0
70代以上	回答数	173	21	13	2	3	212
	割合(%)	81.6	9.9	6.1	0.9	1.4	100.0
合計	回答数	656	352	150	35	12	1205
	割合(%)	54.4	29.2	12.4	2.9	1.0	100.0

3) 職種別満足度



居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	合計
自営業	回答数	63	30	12	4	0	109
	割合(%)	57.8	27.5	11.0	3.7	0.0	100.0
農林業	回答数	44	5	3	1	0	53
	割合(%)	83.0	9.4	5.7	1.9	0.0	100.0
会社員	回答数	143	121	53	9	5	331
	割合(%)	43.2	36.6	16.0	2.7	1.5	100.0
団体職員	回答数	16	8	4	1	0	29
	割合(%)	55.2	27.6	13.8	3.4	0.0	100.0
公務員	回答数	25	27	4	3	1	60
	割合(%)	41.7	45.0	6.7	5.0	1.7	100.0
主婦・主夫	回答数	129	51	15	4	1	200
	割合(%)	64.5	25.5	7.5	2.0	0.5	100.0
アルバイト・パート	回答数	92	59	29	4	2	186
	割合(%)	49.5	31.7	15.6	2.2	1.1	100.0
学生	回答数	3	6	6	0	1	16
	割合(%)	18.8	37.5	37.5	0.0	6.3	100.0
無職	回答数	126	30	20	8	2	186
	割合(%)	67.7	16.1	10.8	4.3	1.1	100.0
その他	回答数	11	11	3	1	0	26
	割合(%)	42.3	42.3	11.5	3.8	0.0	100.0
合計	回答数	652	348	149	35	12	1196
	割合(%)	54.5	29.1	12.5	2.9	1.0	100.0